

健康福祉部

福祉計画課

課長 上條 昭一

事務事業評価票

事務事業名	地区福祉ひろば利用拡大事業
-------	---------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	地区福祉ひろば利用拡大事業費

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	05100000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち
基本施策(個別目標)	312	地域福祉活動の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
主な取組み		市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

< 事業の狙い >

事業計画年度	H26 ~
--------	-------

高齢者を中心とする市民が住み慣れた地域において、共に支え合う地域社会の実現に向け、住民参加による地域住民の健康、福祉、生きがいづくりの増進を図るため、福祉を中心とした地域づくりの拠点として地区福祉ひろば事業を実施している。
 利用者は、利用者及び支援者の高齢化などに伴い、微減傾向にあるため、新規利用や男性の利用拡大、新たな担い手の育成等を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 スマイル山雅健康教室
 「健康寿命延伸都市・松本」プロジェクト(企業連携)において、スマイル山雅健康教室を実施し、参加者の健康増進を図るとともに松本山雅FCの知名度を活かし、福祉ひろば利用者の拡大を図る。
 平成26年度から令和元年度まで毎年12館で実施
 (6年間で、全36館で2回実施)
 H26~H28 延べ1,021人参加 新規250人(24.5%) 男性254人(24.9%)
 H29~R01 延べ1,022人参加 新規158人(15.4%) 男性279人(27.3%)
 計 2,043人参加 新規408人(20.0%) 男性533人(26.1%)

2 生活総合機能改善機器(エルダーシステム)の設置
 令和元年度以降、順次、全福祉ひろばに機器を設置し、関係者に操作方法の研修会等を行い、活用を促すことで、地域の多様な担い手が、主体的に活動する環境が整い、「地域福祉の拠点」である福祉ひろばの「福祉の担い手づくり」の機能が強化される。
 (令和元年度)
 8地区(中央、鎌田、島内、新村、神林、寿、里山辺、今井)に設置

< 現状に対する認識 >

1 スマイル山雅健康教室
 「ふれあい健康教室」における参加者割合は、新規約3%、男性約15%であるため、利用者拡大に一定の効果があった。今後は、希望する地区での事業実施を行う。

2 生活総合機能改善機器
 多様な担い手が機器を活用できるよう、活用方法の好事例などを発信し、ひろば事業だけでなく、地域づくりセンター体制における様々な機会でも機器を活用したい。

< 指標の達成状況 >

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	地区福祉ひろば事業参加者数				
指標の設定理由	地区福祉ひろばの利用拡大を図るため				
目標値	288,000	291,000	294,000	297,000	300,000
実績値	278,248	273,612	269,000	244,403	
達成度	96.6%	94.0%	91.5%	82.3%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	276		276		276		3,205		0	
国・県										
利用者負担金										
その他							2,929			
一般財源	276		276		276		276			
人件費(千円)	527	人工	524	人工	525	人工	909	人工		人工
正規	385	0.05	380	0.05	377.5	0.05	760	0.1		
嘱託	143	0.05	145	0.05	147.5	0.05	149	0.05		
合計コスト +	803		800		801		4,114		0	
前年度比	-		99.6%		100.1%		513.6%		-	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	05100000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	台湾・高雄市交流事業
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け> <市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	312	地域福祉活動の推進	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	台湾・高雄市交流事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	H27 ~
--------	-------

平成27年度に台湾・高雄市と締結した「健康・福祉・教育分野の交流に関する覚書」に基づき、本市の健康寿命延伸施策を発信するとともに高雄市の健康福祉分野の施策について学ぶなどし、両市の交流を行うもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

平成27年度

- ・高雄市との覚書を締結(7月)
- ・高雄市を訪問し、福祉ひろば事業「ふれあい健康教室」の実践を通じた交流(11月)

平成28年度

- ・高雄市訪問団が世界健康首都会議で基調講演(11月)
- ・上記訪問団が福祉ひろば事業(出前ふれあい健康教室)で市民と交流

平成29年度

- ・市長を団長とする訪問団がチャーター便で訪問し、両市の健康施策について情報交換(5月)

平成30年度

- ・高雄市訪問団が来松し、世界健康首都会議で地域包括ケアシステムに関する医療と介護の連携をテーマに交流(11月)
- ・上記訪問団が、福祉ひろば事業(ふれあい健康教室)で市民と交流

令和元年度

- ・市長を団長とする訪問団が高雄市を訪問し、両市の医療・介護施策について情報交換(7月)
- ・高雄市訪問団が来松し、世界健康首都会議で情報交換(10月)
- ・松本市医師会、丸の内病院、相澤病院、松本市立病院と高雄市訪問団とが交流及び情報交換を実施

<現状に対する認識>

・少子高齢化社会が進展するなかで、お互いの共通する課題を解決するための意見交換が活発に行われ、医療・介護専門者の熱意を肌で感じる事ができたことは成果である。

・高雄市と本市では、社会保障制度の仕組みなど社会基盤に大きな違いはあるが、大学病院を核とした医療・介護施策の展開などは参考になり、保健医療行政の更なる推進の観点から、行政と医療機関、介護職、福祉専門職等との連携の重要性が再認識できた。交流が民間レベルでも更に深まるように支援をしていきたい。

<指標の達成状況>

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	高雄市訪問団が来松した際に交流した事業数				
指標の設定理由	交流から得られた情報等を本市の取り組み等につなげていくため				
目標値	1		1	3	3
実績値	1		1	4	
達成度	100.0%	-	100.0%	133.3%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	0	0	331	2,164	0
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源			331	2,164	
人件費(千円)	77	人工 607	人工 1510	人工 1520	人工
正規	77	0.01	607	0.08	1510
嘱託	0		0		0
合計コスト +	77	607	1,841	3,684	0
前年度比	-	789.6%	303.2%	200.1%	-

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	0510000
-----	-------	----	-------	-----	---------

事務事業名	負担金(福祉計画課)
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

<事業の狙い>

事業計画年度

~

松塩安筑老人福祉施設組合、松塩筑木曽老人福祉施設組合の施設建設に係る組合償還債への負担金拠出により「施設建設を通じた高齢者の住まいの安定的な確保」を通じて高齢者福祉の向上を図るものです。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

松塩安筑老人福祉施設組合、松塩筑木曽老人福祉施設組合の施設建設にかかる組合償還債の負担金

- 松塩安筑老人福祉施設組合
 養護老人ホーム温心寮建設分(H21年11月移転改築)
 【施設概要】
 延床面積 5,820.55㎡、定員 110人(入所100人、短期10人)
 組合構成 松本市、塩尻市、安曇野市、東筑摩郡
 総事業費 1,943,839千円
 負担金内容 均等割 20%、人口割 80%
 令和元年度負担金 24,468千円

- 松塩筑木曽老人福祉施設組合
 デイサービスセンター建設費分
 (デイサービスセンター Joyful岡田建設分(建設・土地))
 令和元年度負担金 16,342千円
 建設事業長期償還分(特別養護老人ホーム 岡田の里、ちくまの)
 組合が特養建設の際に借入した組合償還の負担分
 ・「用地分」は所在市町村が負担
 ・「併設施設分」は関係市町村で按分
 令和元年度負担金 16,689千円

<現状に対する認識>

施設組合構成市村として、負担する必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	75,447	69,374	69,429	57,499	57,520
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	75,447	69,374	69,429	57,499	57,520
人件費(千円)	769	759	755	760	
人工	0.1	0.1	0.1	0.1	
正規	769	759	755	760	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	76,216	70,133	70,184	58,259	58,289
前年度比	-	92.0%	100.1%	83.0%	-

事務事業評価票

事務事業名	地区福祉ひろば整備事業
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	地区福祉ひろば整備事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度 H30 ~

35地区36施設の地区福祉ひろば施設について、20年30年先を見据えた長期的視点をもって、施設の維持・統合等を進めるもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- これまでの経過
平成7年度から順次、各地区に福祉ひろばの整備を進め、平成17年度で旧市内29地区に整備が完了しました。平成20年度には、本郷地区に2館目のひろば(本郷地区南郷福祉ひろば)を整備しました。
平成23年に合併地区を含め、市内35地区に36施設の整備が完了しました。
- 2館目建設又は増築の条件
地区内の人口・高齢者人口がともに市内全地区平均の2倍以上の地区については、面積等の条件を定め、2館目の施設整備又は可能な範囲での増築を検討することとしています。
- 平成30年度事業
和田地区公民館の大規模改修にあわせて、和田地区福祉ひろばの外壁、屋根、照明設備等の改修工事を行いました。
- 令和元年度事業
2館目建設の条件を満たす鎌田地区について、福祉ひろばを増築(55㎡)しました。

< 現状に対する認識 >

・開設から20年を経過し、施設の老朽化が進んでいるため、施設の維持管理が必要です。
・単年度に複数の施設を建設していることから、設備の修繕箇所が重なります。
・公共施設再配置計画を踏まえ、地域づくりセンター・地区公民館と併設していない施設の場合、公民館の大規模改修等に併せて集約を検討していく必要があります。
・2館目建設の条件を満たしている芳川地区から村井駅舎の改築に合わせた福祉ひろば2館目建設の要望があるため、調整していく必要があります。

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	05100000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつくまち
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち
基本施策(個別目標)	312	地域福祉活動の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
主な取組み			市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
松本版総合戦略			成熟型社会の都市基盤づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価 A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	地区福祉ひろば事業参加者数				
指標の設定理由	地区福祉ひろばを拠点とした地域福祉活動を推進するため				
目標値	288,000	291,000	294,000	297,000	300,000
実績値	278,248	273,612	267,552	244,403	
達成度	96.6%	94.0%	91.0%	82.3%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	0	0	5,047	39,244	0					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源			5,047	39,244						
人件費(千円)	0	人工	0	人工	755	人工	760	人工		人工
正規	0		0		755	0.1	760	0.1		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	0		0		5,802		40,004			0
前年度比	-		-		-		689.5%			-

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	05100000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	地域福祉活動推進事業
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつくまち	市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち	市長公約	主な取り組み		地域づくりの担い手の育成
基本施策(個別目標)	312	地域福祉活動の推進	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
			松本版総合戦略			成熟型社会の都市基盤づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	地域福祉活動推進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H30 ~

地域における社会福祉の増進を図るため、健康づくり・居場所づくり活動や外出支援・家事支援活動などの地域福祉活動を行う任意の団体に対して、交付金等を交付するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1	地域福祉活動を行う団体に対して交付金等を交付
	75団体、86件の活動に交付金等を交付
	健康づくり・居場所づくり事業 49件
	外出支援事業 5件
	家事支援事業 4件
	基盤整備事業 9件
	福祉ひろば送迎ボランティア事業 17件
	周知啓発事業 2件
2	団体の活動を把握
	団体の活動を見学するなどして、活動の効果や課題を把握し、必要に応じて支援をする。

<現状に対する認識>

- ・団体の活動により、身近な場所における居場所づくりや外出するきっかけづくり、新たな担い手育成などが促進された。
- ・団体の活動内容の把握を通じ、好事例を広く発信するなどに取組む必要がある。
- ・持続可能な団体の活動につなげていく支援が必要

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	交付金等を活用して活動する団体数				
指標の設定理由	地域福祉活動の担い手育成を目的とするため				
目標値	0	0	40	70	80
実績値	0	0	64	75	
達成度	-	-	160.0%	107.1%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	0	0	5,558	3,631	0					
国・県										
利用者負担金										
その他			5,558	3,631						
一般財源										
人件費(千円)	0	人工	0	人工	3,775	人工	3,800	人工		人工
正規	0		0		3,775	0.5	3,800	0.5		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	0	0	9,333	7,431	0					
前年度比	-	-	-	79.6%	-					

事務事業評価票

事務事業名	社会参加による健康づくり・介護予防事業
-------	---------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	高齢者の生きがいと健康づくり推進事業

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	05100000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち
基本施策(個別目標)	113	ソーシャルキャピタルを活かした健康づくり

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
主な取組み			町会との協働による支えあえる地域づくり
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
松本版総合戦略			健康・医療産業の創出・育成

< 事業の狙い >

事業計画年度 H28 ~

地域づくりによる介護予防の研究を目的とする、日本老年学的評価研究(JAGES)プロジェクトに参加し、市内の要介護認定を受けていない高齢者に対し、調査を行う。
調査結果を分析し、介護保険データとの関連性、他自治体との比較や市内地区間の比較などを行い、本市の健康づくり・介護予防事業の評価・再構築のデータとして活用するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 「健康とくらしの調査」実施(平成28年度、令和元年度)
65歳以上で要介護認定を受けていない高齢者7,000人に対して健康状態、生活習慣、要介護リスク、社会関係等の質問を行い、地域づくりによる健康づくりの可能性について調査
(平成28年度) 回答数 4,481件、回答率 69.7%
(令和元年度) 回答数 5,357件、回答率 77.1%
- 調査結果の分析、共有等(平成29年度～令和元年度)
調査結果を庁内で共有するための研修会実施(各年度)
調査結果報告会実施(平成29年度)
各地区で調査結果を分析し、住民と共有(35地区)
結果活用の事業実施(15地区)
庁内関係課から関連する追加情報を収集し、地区別に整理(平成30年度)
地区診断書の作成(35地区)(令和元年度)

< 現状に対する認識 >

・2016年の調査結果は、地域づくり関係課を中心に庁内で一定程度共有することができ、「スポーツの会」への参加を、「うつ」「物忘れ」対策としても立案するなど、施策へ反映することができた。
・2016年から2019年への変化を市レベルと地区レベルで確認した上で、現在の方針(「うつ」「物忘れ」対策としての「スポーツの会」参加)について、具体的な手法や重点地区の設定、修正を行い、それらを地区住民と共有することで、行政と住民が一体となって、地域での介護予防を進めることができる。

< 指標の達成状況 >

総合評価 A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	調査結果の分析を行った地区				
指標の設定理由	地域の特色に応じた取組みにつなげるため				
目標値	0	14	16	35	35
実績値	0	14	21	35	
達成度	-	100.0%	131.3%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	0		110		108		8,085		0	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源			110		108		8,085			
人件費(千円)	2,307	人工	1,952	人工	1,657.5	人工	4,098	人工		人工
正規	2,307	0.3	1,518	0.2	1,510	0.2	3,800	0.5		
嘱託	0	0	434	0.15	147.5	0.05	298	0.1		
合計コスト +	2,307		2,062		1,766		12,183		0	
前年度比	-		89.4%		85.6%		690.1%		-	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	05100000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	地区福祉ひろば管理運営事業
-------	---------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつくまち	市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち		主な取組み		
基本施策(個別目標)	312	地域福祉活動の推進		5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
				松本版総合戦略		成熟型社会の都市基盤づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	地区福祉ひろば管理運営事業費

<事業の狙い>	事業計画年度	H7	~
高齢者を中心とする市民が住み慣れた地域において、共に支え合う地域社会の実現に向け、住民参加による、地域住民の健康、福祉、生きがいの増進を図るため、福祉を中心とした地域づくりの拠点として地区福祉ひろば事業に取り組む。			

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1	地区福祉ひろばの管理運営 地区福祉ひろば36館の職員を任用、施設の維持管理を実施
2	地区福祉ひろば事業の推進 地区福祉ひろば事業は、35地区ごとに地区住民で構成する「地区福祉ひろば事業推進協議会」に業務委託 各地区では、住民主体により「ふれあい健康教室」や「サロン事業」などをはじめとする「通いの場づくり」や地区ボランティア活動支援をはじめとする「関係づくり」に取り組んでいる。
3	連携体制 地域づくりセンター体制の中で、福祉課題を通じた地域づくりを、地域づくりセンター、地区公民館と一体となって進める。

<現状に対する認識>

・開設後約20年が経過し、施設の老朽化が進んでいるため、施設の維持管理が必要 ・公共施設再配置計画を踏まえ、併設施設の改修計画に応じるとともに、地区公民館と併設していない施設の場合、そのあり方を公民館の大規模改修等に合わせ検討する必要がある。 ・施設利用者及び支援者の高齢化に伴い、参加者数は微減しているが、今後も、利用者拡大、担い手育成及び町会での事業展開を図る必要がある。
--

<指標の達成状況>	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	地区福祉ひろば事業参加者数				
指標の設定理由	地区福祉ひろばを拠点とした地域福祉活動を推進するため				
目標値	288,000	291,000	294,000	297,000	300,000
実績値	278,248	273,612	267,552	244,403	
達成度	96.6%	94.0%	91.0%	82.3%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	75,030	73,390	83,350	87,403	0
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	75,030	73,390	83,350	87,403	
人件費(千円)	149,175	130,545	131,248	108,102	
正規	34,605	14,801	14,723	19,000	
嘱託	114,570	115,745	116,525	89,102	
合計コスト +	224,205	203,935	214,598	195,505	0
前年度比	-	91.0%	105.2%	91.1%	-

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	0510000
-----	-------	----	-------	-----	---------

事務事業名	北部福祉複合施設管理
-------	------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	312	地域福祉活動の推進	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	北部福祉複合施設管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

北部保健センター・城東公民館・北部デイサービスなど、福祉複合施設として地域福祉の拠点である。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

施設利用者の利便性、安全性を考慮した施設の維持管理を社会福祉法人松本市社会福祉協議会に業務委託している。

< 現状に対する認識 >

北部福祉複合施設は、開館から約20年が経過し、施設及び設備等に経年劣化が見られ、修繕工事が必要となっている。北部保健センター・城東公民館・北部デイサービスなどの複合施設として地域福祉の拠点であることから、計画的な修繕工事を実施し、施設の長寿命化を図る必要がある。

総合評価

< 指標の達成状況 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	17,867		18,704		18,608		19,583		20,578	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	17,867		18,704		18,608		19,583		20,578	
人件費(千円)	2,592	人工	2,566	人工	2,560	人工	2,578	人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,265	0.3	2,280	0.3		
嘱託	285	0.1	289	0.1	295	0.1	298	0.1		
合計コスト +	20,459		21,270		21,168		22,161		20,578	
前年度比	-		104.0%		99.5%		104.7%		-	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	0510000
-----	-------	----	-------	-----	---------

事務事業名	南部福祉複合施設
-------	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	312	地域福祉活動の推進	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	南部福祉複合施設管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

南部保健センター・あるぷキッズ支援室・松南地区福祉ひろばなど、福祉複合施設として地域福祉の拠点である。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

施設利用者の利便性、安全性を考慮し、福祉計画課で管理を行っている。

< 現状に対する認識 >

南部福祉複合施設は、Caféポリジ、松本圏域障害者総合相談支援センターWISH、南ふれあいホーム、松南地区福祉ひろば、南部保健センター、あるぷキッズ支援室などがあり、障害福祉や児童福祉、地域福祉等の拠点施設であることから、施設利用者の利便性及び安全性を考慮した施設の維持管理が必要である。

総合評価

< 指標の達成状況 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	8,645		9,693		10,538		10,580		9,890	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	8,645		9,693		10,538		10,580		9,890	
人件費(千円)	3,162	人工	3,144	人工	3,150	人工	3,174	人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,265	0.3	2,280	0.3		
嘱託	855	0.3	867	0.3	885	0.3	894	0.3		
合計コスト +	11,807		12,837		13,688		13,754		9,890	
前年度比	-		108.7%		106.6%		100.5%		-	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	05100000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	総合社会福祉センター
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け> <市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	312	地域福祉活動の推進	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	

<事業の狙い>

事業計画年度

~

南部児童センター、心身障害者福祉センター、障害者相談支援センター、南部老人福祉センター、心身障害児通園施設「しいのみ学園」など、福祉複合施設として地域福祉の拠点である。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 施設利用者の利便性、安全性を考慮した施設の管理運営
 管理者 松本市社会福祉協議会
 管理方法 指定管理(特命)
- 大規模改修による施設の長寿命化
 昭和58年の開館から30年以上が経過し、経年劣化の激しい設備の改修を実施。
 R2年度から4階会議室の利用を再開。
 工事期間
 平成29年度～令和元年度
 事業内容
 ア 改修機械設備工事
 トイレ改修、衛生器具更新、給排水配管更新、受水槽更新
 イ 改修電気設備工事
 各階既設照明更新(LED化)、電気幹線改修、電灯動力盤更新、防災設備更新

<現状に対する認識>

総合社会福祉センターは障害、児童、高齢福祉や地域福祉の拠点的施設として、昭和58年に開設。築35年以上経過し、老朽化が著しい設備の改修工事を実施。冷暖房設備の更新、トイレの洋式化、照明のLED化等、施設の快適性向上と長寿命化を図った。今後は、躯体の長寿命化について検討。また、施設管理の令和3年度からの指定管理者は公募での選定を予定。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	75,130		201,734		143,748		294,972		49,730	
国・県										
利用者負担金										
その他	11,770		161,150		99,000		237,670			
一般財源	63,360		40,584		44,748		57,302		49,730	
人件費(千円)	2,592	人工	2,566	人工	2,560	人工	2,578	人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,265	0.3	2,280	0.3		
嘱託	285	0.1	289	0.1	295	0.1	298	0.1		
合計コスト +	77,722		204,300		146,308		297,550		52,322	
前年度比	-		262.9%		71.6%		203.4%		-	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	05100000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	地域福祉計画推進事業
-------	------------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち
基本施策(個別目標)	312	地域福祉活動の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	3	地域社会における支え合いを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
主な取組み		地域づくりの担い手の育成
5つの重点目標	4	暮しと生活の基盤づくり
松本版総合戦略		成熟型社会の都市基盤づくり

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	地域福祉計画推進事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度	H18 ~
--------	-------

第3期松本市地域福祉計画・地域福祉活動計画に基づき、次の重点目標を中心に各地区で実施されている地域福祉活動を進めます。
 ・地域の担い手づくり
 ・地域の見守り体制づくり・相談体制の充実
 ・地域で見えづらい課題に気づき合う

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 第3期地域福祉計画・地域福祉活動計画
 地域福祉計画は、社会福祉法第107条に基づき、地域福祉を総合的に推進することを目的として市町村が策定する計画
 平成28年度から令和2年度までを計画期間とする第3期計画の推進に取り組んでいる。第3期計画は、松本市社会福祉協議会の地域福祉活動計画と一体的に策定し、地域住民が主体となった地域福祉推進の取組みを市と社会福祉協議会が支えていくことを目的としている。

2 避難行動要支援者プランの推進
 平常時の見守りや災害時の避難支援をより実効性のあるものとするため、平成31年3月に「松本市避難行動要支援者名簿に関する条例」を制定
 令和2年度からの名簿情報提供に向け、元年度は名簿情報の外部提供に対する意向確認などの順議作業を実施した。
 避難行動要支援者名簿掲載者 15,388名
 外部提供対象者 13,064名(R2.4.1現在)

また、災害時における福祉避難所の設置運営に関する協定の拡充をするとともに福祉避難所開設運営訓練を実施
 (福祉避難所) 28法人70事業所と協定締結
 (開設運営訓練) 松本市総合防災訓練(9月)時に協定先事業所で実施

< 現状に対する認識 >

1 第3期地域福祉計画
 地域福祉活動を推進するために、活動の担い手の育成・支援に取り組む必要がある。また、社会福祉法の改正を踏まえ、地域共生社会の実現に向けた第4期計画の策定に取り組む。

2 避難行動要支援者プラン
 関係課及び社協等と連携し、各地区・町会の実態に応じた避難支援体制づくりを進めるほか、福祉事業所等とも連携して、福祉避難所体制の充実を図る。

< 指標の達成状況 >

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	地域住民による支え合いが行われていると思う市民の割合				
指標の設定理由	第10次基本計画による施策の成果目標				
目標値	60.0%	61.0%	62.0%	63.0%	65.0%
実績値	55.3%		57.9%		
達成度	92.2%	-	93.4%	-	-
成果指標(指標名)	避難行動要支援者のうち平常から名簿情報を提供できる割合				
指標の設定理由	平常時からの見守り体制を構築するため				
目標値	40.0%	40.0%	40.0%	80.0%	80.0%
実績値	52.3%	49.7%	45.0%	73.3%	
達成度	130.8%	124.3%	112.5%	91.6%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	7,540		5,744		2,105		4,420		0	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	7,540		5,744		2,105		4,420			
人件費(千円)	28,340	人工	28,010	人工	27,310	人工	29,431	人工		人工
正規	26,915	3.5	26,565	3.5	26,425	3.5	26,600	3.5		
嘱託	1,425	0.5	1,445	0.5	885	0.3	2,831	0.95		
合計コスト +	35,880		33,754		29,415		33,851		0	
前年度比	-		94.1%		87.1%		115.1%		-	

障害福祉課

課長 武井 義正

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	補助金(遺族会)
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

<事業の狙い>

事業計画年度

~

遺族会が戦没者遺族及び戦傷病者の援護の相談に応じ、必要な助言・指導を実施することへの支援。また、全国戦没者追悼式・県戦没者追悼式等への参加及び各地区で行われる追悼式を実施するための活動支援をするもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 遺族会の活動
各地区町会連合会、奉賛会、地区遺族会共催による戦没者慰霊追悼式の実施。
令和元年 12地区
戦没者遺族に対する受給要件の拡大を国に要望、遺族の交流・親睦及び国・県戦没者追悼式への参列。
2 活動費
会員数 × 550円
3 内容
会員登録数による活動費

<現状に対する認識>

補助金交付により、従来通りの事業が維持できており、戦没者遺族の福祉向上等に寄与しているため、今後も事業の継続を図る。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	遺族会会員数				
指標の設定理由	遺族会活動状況が把握できるため				
目標値	1000	950	950	950	950
実績値	1040	944	833	518	
達成度	104.0%	99.4%	87.7%	54.5%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	675		589		572		518		458	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	675		589		572		518			
人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工	2,265	人工	2,280	人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,265	0.3	2,280	0.3		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	2,982		2,866		2,837		2,798		458	
前年度比	-		96.1%		99.0%		98.6%		-	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	自立支援福祉事業
-------	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取組み
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	自立支援福祉事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

障害者・児(以下「障害者」という。)が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、障害者総合支援法及び児童福祉法に基づく自立支援給付サービスを提供し、障害者の福祉の向上及び増進を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスの提供

- 障害福祉サービス
 - 介護給付
居宅介護 重度訪問介護 行動援護 重度障害者等包括支援
同行援護 生活介護 療養介護 短期入所 施設入所支援
 - 訓練等給付
自立訓練 就労移行支援 就労継続支援 共同生活援助
就労定着支援 自立生活援助
 - 相談支援
計画相談支援 地域移行支援 地域定着支援
- 自立支援医療
障害者に対して、その心身の障害の状態の軽減を図り、自立した日常生活または社会生活を営むために必要な医療
- 補装具費支給
障害者等の身体機能を補完し、又は代替し、かつ長期間にわたり継続して使用される、厚生労働省で定める義肢、装具、車いすその他のもの。

< 現状に対する認識 >

精神障害者数は増加傾向がみられるほか、障害者の抱える課題も多様化している。高齢化も進んできているため、障害の状態や生活状況に応じた個別支援の更なる充実に努める。
障害者が地域で安心して暮らせる(地域移行)ための支援として、市内にグループホームを整備する。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	グループホーム数				
指標の設定理由	地域における設置状況を把握できるため				
目標値	32	33	34	35	36
実績値	31	34	38	44	
達成度	96.9%	103.0%	111.8%	125.7%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	3,556,764	3,692,470	3,923,580	4,396,920	4,172,280					
国・県	2,667,572	2,769,352	2,942,680	3,297,690	4,167,600					
利用者負担金										
その他										
一般財源	889,192	923,118	980,900	1,099,230	4,680					
人件費(千円)	47,000	人工	46,620	人工	46,600	人工	46,940	人工		人工
正規	38,450	5	37,950	5	37,750	5	38,000	5		
嘱託	8,550	3	8,670	3	8,850	3	8,940	3		
合計コスト +	3,603,764	3,739,090	3,970,180	4,443,860	4,172,280					
前年度比	-	103.8%	106.2%	111.9%	-					

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	障害者地域生活支援事業
-------	-------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	障害者地域生活支援事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H28 ~ H32

障害者の福祉の増進を図るとともに、障害の有無に関わらず市民が相互に人格と個性を尊重し、安心して暮らすことができる地域社会の実現に寄与するため、各種事業を実施するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 理解促進研修・啓発事業
障害者等の自立した日常生活及び社会生活に関する理解を深めるための研修及び啓発を行う事業(委託により障害者週間イベントの実施)
- 自発的活動支援事業
障害者等、障害者等の家族、地域住民等により自発的に行われる障害者等が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるようにするための活動に対する支援を行う事業
社会福祉法人信濃友愛会への委託による本人活動支援事業の実施
- 相談支援事業
福祉サービスの利用援助、各種支援施策に関する助言、指導等の総合的専門的な相談支援の実施
松本障害保健福祉圏域構成市村による委託により実施(Wish、ボイス、あるふ)
- 意思疎通支援事業
意思疎通を図ることに支障がある障害者等とその他の者の意思疎通を仲介するもの
手話通訳者派遣1,115件、要約筆記者派遣242件、手話通訳者設置1名
- 日常生活用具給付等事業
日常生活上の便宜を図るため、要件を満たす重度障害者に用具を給付するもの。
給付件数 5,143件 等

< 現状に対する認識 >

障害者の社会参加の促進、生活圏の拡大に大きく寄与しており、障害者が地域で生活するうえで必要不可欠な事業である。
制度の大枠は国の実施要綱で定められているものの、細部については地域の実情に応じて柔軟に実施ができることから、市町村間で格差も生じている。
近隣市村において、可能な範囲で事業内容の平準化を検討していく。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	日常生活用具給付事業給付件数				
指標の設定理由	地域における重度障害者(児)の生活状況が把握できるため				
目標値	4,622	4,758	4,898	5,042	5,190
実績値	5,194	5,134	5,061	5,143	
達成度	112.4%	107.9%	103.3%	102.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	319,986	320,111	310,278	306,636	329,840
国・県	122,124	119,264	109,099	105,687	181,350
利用者負担金					
その他					
一般財源	197,862	200,847	201,179	200,949	148,490
人件費(千円)	9,115	9,035	9,025	9,090	
正規	7,690	7,590	7,550	7,600	
嘱託	1,425	1,445	1,475	1,490	
合計コスト +	329,101	329,146	319,303	315,726	329,840
前年度比	-	100.0%	97.0%	98.9%	-

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	障害者地域生活支援事業
-------	-------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	障害者地域生活支援事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H28～R2

障害者の福祉の増進を図るとともに、障害の有無に関わらず市民が相互に人格と個性を尊重し、安心して暮らすことができる地域社会の実現に寄与するため、各種事業を実施するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 理解促進研修・啓発事業
障害者等の自立した日常生活及び社会生活に関する理解を深めるための研修及び啓発を行う事業
・委託による障害者週間イベント(研修会等)の実施
- 自発的活動支援事業
障害者等が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるようにするための活動に対する支援を行う事業
・社会福祉法人信濃友愛会への委託による本人活動支援事業の実施
- 相談支援事業
福祉サービスの利用援助、各種支援施策に関する助言、指導等の総合的専門的相談支援の実施
・松本障害保健福祉圏域構成8市村による委託事業(障害者総合相談支援センターWish、ボイス、あるぷ)
- 意思疎通支援事業
意思疎通を図ることに支障がある障害者等とその他の者の意思疎通を仲介するもの
・手話通訳者派遣1,115件、要約筆記者派遣242件、手話通訳者設置1名
- 日常生活用具給付等事業
日常生活上の便宜を図るため、要件を満たす重度障害者に用具を給付するもの。
・給付件数 5,143件 等

< 現状に対する認識 >

障害者の社会参加の促進、生活圏の拡大に大きく寄与しており、障害者が地域で生活するうえで必要不可欠な事業である。
制度の大枠は国の実施要綱で定められているが、細部については地域の実情に応じて柔軟に実施ができることから、近隣市村で構成している松本保健福祉圏域自立支援協議会で検討し、可能な範囲で事業内容を平準化している。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	日常生活用具給付事業給付件数				
指標の設定理由	地域における重度障害者(児)の生活状況が把握できるため				
目標値	4,622	4,758	4,898	5,042	5,190
実績値	5,194	5,134	5,061	5,143	
達成度	112.4%	107.9%	103.3%	102.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	319,986		320,111		310,278		306,636		329,840	
国・県	122,124		119,264		109,099		105,687		181,350	
利用者負担金										
その他										
一般財源	197,862		200,847		201,179		200,949		148,490	
人件費(千円)	9,115	人工	9,035	人工	9,025	人工	9,090	人工		人工
正規	7,690	1	7,590	1	7,550	1	7,600	1		
嘱託	1,425	0.5	1,445	0.5	1,475	0.5	1,490	0.5		
合計コスト +	329,101		329,146		319,303		315,726		329,840	
前年度比	-		100.0%		97.0%		98.9%		-	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	障害者地域生活支援事業
-------	-------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	障害者地域生活支援事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H28～R2

障害者の福祉の増進を図るとともに、障害の有無に関わらず市民が相互に人格と個性を尊重し、安心して暮らすことができる地域社会の実現に寄与するため、各種事業を実施するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

6 成年後見支援センター事業
 認知症、精神・知的障害等により判断能力が低下した市民の権利擁護を目的に、松本市社会福祉協議会が設置する「松本市成年後見支援センター」の運営費を構成市村(2市5村)が補助するもの
 (構成市町村:松本市、安曇野市、山形村、生坂村、筑北村、麻績村、朝日村)

< 現状に対する認識 >

障害者の社会参加の促進、生活圏の拡大に大きく寄与しており、障害者が地域で生活するうえで必要不可欠な事業である。
 制度の大枠は国の実施要綱で定められているが、細部については地域の実情に応じて柔軟に実施ができることから、近隣市村で構成している松本保健福祉圏域自立支援協議会で検討し、可能な範囲で事業内容を平準化している。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)					
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源					
人件費(千円)					
人工					
正規					
嘱託					
合計コスト +					
前年度比					

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	福祉手当給付事業
-------	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	福祉手当給付事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

日常生活に特別の介護を必要とする重度障害者や心身に障害を持っている方を対象に経済的負担の軽減及び福祉の増進を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 特別障害者手当 20歳以上で、日常生活に常時特別の介護を要する在宅の重度障害者(1級程度の障害重複か同程度以上の者) 実績(令和元年度) 受給者数(延べ) 3,481件 給付額 94,535,780円
2 福祉手当(経過措置) 昭和61年3月31日現在において20歳以上の福祉手当受給者で障害基礎年金、特別障害者手当の支給を受けられない者 実績(令和元年度) 受給者数(延べ) 24件 給付額 354,400円
3 心身障害者福祉手当 20歳以上の在宅障害者で、身障手帳1級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1・2級の者 実績(令和元年度) 受給者数 3,865件 給付額 127,545,000円

< 現状に対する認識 >

・特別障害者手当、福祉手当 重い障害が重複する在宅の障害者は限られている。一方、介護が必要な寝たきりの高齢者の申請は増加。死亡・施設入所・長期入院により資格を喪失する者もいるため、増減の変化はほとんどみられない。
・心身障害者福祉手当 障害者手帳の増加に伴い、手当の支給が増加傾向。特に精神保健福祉手帳の増加が著しい。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	心身障害者福祉手当受給者数				
指標の設定理由	障害者手帳交付数を把握し経済的負担を軽減するため				
目標値	3,700	3,700	3,700	3,700	3,700
実績値	3,556	3,670	3,786	3,865	
達成度	96.1%	99.2%	102.3%	104.5%	
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	216,286	217,466	218,178	222,770	212,070
国・県	74,204	72,930	69,950	71,330	67,760
利用者負担金					
その他					
一般財源	142,082	144,536	148,228	151,440	144,310
人件費(千円)	9,115	9,035	9,025	9,090	
正規	7,690	7,590	7,550	7,600	
嘱託	1,425	1,445	1,475	1,490	
合計コスト +	225,401	226,501	227,203	231,860	212,070
前年度比	-	100.5%	100.3%	102.0%	-

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	身体障害者福祉事業
-------	-----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取組み
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	身体障害者福祉費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H28～H32

身体障害者の社会参加促進や、障害者本人、介護者の心身及び経済的な負担軽減のため、各種事業を実施するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 重度心身障害者(児)タクシー利用料金助成事業
重度の障害者(児)に対して1乗車700円割引のタクシー券(年間24枚、人工透析患者は48枚)を交付するもの
- 2 重度心身障害者(児)自動車燃料費助成事業
重度の障害者(児)に対して、自動車の燃料費(月額1,400円、年額16,800円を限度)を助成するもの
- 3 心身障害者(児)タイムケア事業
障害者(児)が家庭において一時的に介護できない場合等に、事前に登録した介護者が支援するもの
- 4 障害者理美容料金助成事業
常時臥床し、外出困難な重度障害者に対し、理美容料金を助成するもの(1枚1,000円の助成券、年18枚交付)
- 5 身体障害者補助犬飼育費助成事業
身体障害者補助犬使用者に対し、飼育管理費を助成するもの(月3,000円)
- 6 障害者にやさしい住宅改良促進事業
身体障害者が居住する住宅の居室、トイレ、浴室等を改修する場合に補助金を交付するもの
- 7 身体障害者デイサービス事業
身体障害者の日中活動の支援を目的として心身障害者福祉センター(市社協指定管理)、北部デイサービスセンターの運営に対し、委託、補助を行うもの等

< 現状に対する認識 >

身体障害者の社会参加の促進、生活圏の拡大及び介護者の負担軽減に大きく寄与しており、身体障害者が地域で生活するうえで必要不可欠な事業である。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	タクシー券使用枚数				
指標の設定理由	重度障害者(児)の外出機会の状況が把握できるため				
目標値	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000
実績値	15,438	15,371	14,771	13,628	
達成度	90.8%	90.4%	86.9%	80.2%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	49,601	48,276	48,890	47,345	48,840
国・県	7,563	8,037	4,994	4,578	5,630
利用者負担金					
その他					
一般財源	42,038	40,239	43,896	42,767	43,210
人件費(千円)	10,540	10,480	10,500	10,580	
正規	7,690	7,590	7,550	7,600	
嘱託	2,850	2,890	2,950	2,980	
合計コスト +	60,141	58,756	59,390	57,925	48,840
前年度比	-	97.7%	101.1%	97.5%	-

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	知的障害者福祉事業
-------	-----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	知的障害者福祉費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H28～H32

障害者及び家族の身体的、経済的な負担を軽減するための事業

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 心身障害者扶養共済掛金補助金
県の「心身障害者扶養共済制度」加入者のうち、低所得世帯に掛金の30%の額を補助する。
令和元年度実績 6人
- 通所・通園等推進事業
心身障害児者施設に入所・通所している保護者の自動車利用に対し、交通費を補助する。
令和元年度実績 14人
- 障害者・児施設訪問看護サービス
施設等に通所(園)する医療的ケアを必要とする障害者・児に対する訪問看護師の経費を補助する。
令和元年度利用者実績 0人

< 現状に対する認識 >

心身障害者扶養共済は親亡き後の障害者の経済的支援の一つとして有効なものであるが、新規加入者の数が減少しているため周知に努め増加を図る。

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	補助事業利用者(心身障害者扶養共済掛金補助金)				
指標の設定理由	心身障害者扶養共済制度自体の利用者数の成果が確認できる				
目標値	12	15	20	25	25
実績値	8	9	7	6	
達成度	66.7%	60.0%	35.0%	24.0%	-
成果指標(指標名)	補助事業利用者(通所・通園等推進事業)				
指標の設定理由	通所・通園推進事業の利用者数の成果が確認できる				
目標値	15	18	20	25	25
実績値	14	14	14	14	
達成度	93.3%	77.8%	70.0%	56.0%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	1,936	586	591	474	1,770					
国・県	19	24	35	29	60					
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,917	562	556	445	1,710					
人件費(千円)	7,690	人工	7,590	人工	7,550	人工	7,600	人工		人工
正規	7,690	1	7,590	1	7,550	1	7,600	1		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計コスト +	9,626	8,176	8,141	8,074	1,770					
前年度比	-	84.9%	99.6%	99.2%	-					

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	障害者虐待防止事業
-------	-----------

<第10次基本計画の位置付け> <市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	市長公約	主な取り組み
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	障害者虐待防止事業費

<事業の狙い> 事業計画年度 H28～H32

障害者虐待の発生防止、発生してしまった時に早期発見・早期対応ができるネットワークの構築を行う。また虐待が発生し障害者の身体・生命に危険を及ぼす危険がある場合に障害者を保護できる居室を確保する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 虐待防止ネットワーク協議会開催
障害者、高齢者の虐待防止に関係する機関・団体を構成メンバーにした協議会を開催し、周知啓発、早期発見、早期対応に向けた体制づくりと連携強化を行う。
- 虐待防止・早期発見のための周知啓発
虐待防止ネットワーク協議会構成団体及び市民の方への周知啓発を実施。
- 障害者虐待防止短期入所事業
障害者虐待により、障害者を緊急に保護分離しなければいけない時に、受入先として指定短期入所施設の居室が確保できない場合に、代替施設を利用するもの。
- 在宅強度行動障害者等短期入所利用支援事業
家族の介護負担の増加が虐待発生の要因の一つであるため、虐待を未然に防ぐために、短期入所施設が障害者を受入れやすくなるように支援体制を整備するもの。

<現状に対する認識>

障害者虐待に該当する行為であっても、虐待であるとの認識が無のまま支援が行われていることもあり、さらなる周知啓発が必要である。あわせて受入れをしてくれる事業所が増える環境整備に努める必要がある。

<指標の達成状況> 総合評価 A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	障害者福祉制度のあらし等配布による障害者虐待防止の周知啓発数				
指標の設定理由	直接、障害者に障害者虐待について周知ができ効果を得ているため。				
目標値	1,800	1,850	1,900	1,950	2,000
実績値	1,500	1,750	1,600	1,600	
達成度	83.3%	94.6%	84.2%	82.1%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	113		177		128		206		380	
国・県			88		63		102		170	
利用者負担金										
その他										
一般財源	113		89		65		104		210	
人件費(千円)	9,115	人工	9,035	人工	7,550	人工	7,600	人工		人工
正規	7,690	1	7,590	1	7,550	1	7,600	1		
嘱託	1,425	0.5	1,445	0.5	0		0			
合計コスト +	9,228		9,212		7,678		7,806		380	
前年度比	-		99.8%		83.3%		101.7%		-	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	補助金(障害福祉課)
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

<事業の狙い>

事業計画年度

~

障害者等に余暇活動の場の提供や余暇の過ごし方に関する相談支援を行い、または重度障害者の外出を支援し、障害者の余暇の充実及び社会参加の促進を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

障害者等が行うスポーツ、レクリエーション(ハイキング、キャンプ、オリエンテーリング等)、趣味の活動(料理、音楽、絵画、陶芸、カラオケ等)、旅行等の余暇活動の場を提供する事業に対し補助するもの。

補助額 1団体あたり100,000円(上限額。1団体につき3年を限度とする。)

R1実績 延べ参加者数 1,512人(うち障害者1,143人)

<現状に対する認識>

障害者の余暇活動の場の確保のため、必要不可欠な事業であるが、1団体3年限りという制限のある補助金であることから、本補助金交付終了後の継続した事業実施に対する支援策の検討が必要。

<指標の達成状況>

総合評価

D

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	余暇活動支援事業参加者数				
指標の設定理由	重度障害者(児)の社会参加、外出機会の状況を把握するため				
目標値	50	50	50	50	50
実績値	47	18	14	1,143	
達成度	94.0%	36.0%	28.0%	2286.0%	0.0%
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	420		420		100		100		100	
国・県	50		50		50		50		50	
利用者負担金										
その他										
一般財源	370		370		50		50		50	
人件費(千円)	3,845	人工	3,795	人工	3,775	人工	3,800	人工		人工
正規	3,845	0.5	3,795	0.5	3,775	0.5	3,800	0.5		
嘱託	0	0	0		0		0			
合計コスト +	4,265		4,215		3,875		3,900		100	
前年度比	-		98.8%		91.9%		100.6%		-	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	福祉医療費給付事業
-------	-----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取組み
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	障害者支援医療扶助費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

障害者の医療費自己負担分について給付を行い、障害者の健康保持と福祉の増進を図るものです。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 助成対象	身体障害者手帳 1~4級
	療育手帳 A1、A2、B1
	精神保健福祉手帳 1~2級
2 助成内容	1ヵ月1医療機関あたり受給者負担金(500円)を医療費自己負担額から差し引いた額を給付します。
3 実績(R元年度)	
	給付件数 255,200件
	給付額 821,380,576円

< 現状に対する認識 >

障害者の方が地域で安心して暮らせる為には、安心して医療機関を受診できる環境を整えることが重要です。
本事業は、障害者の方が医療機関を受診する際の負担を軽減するものであり、継続した実施が必要です。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	福祉医療費受給者証交付件数				
指標の設定理由	障害者手帳交付数と比較することにより、交付対象の妥当性を検証できるため				
目標値	9,900	9,950	10,000	10,050	10,100
実績値	9,809	9,780	9,809	9,857	
達成度	99.1%	98.3%	98.1%	98.1%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	775,791	792,593	812,212	834,810	832,220
国・県	253,590	257,929	273,540	291,606	295,290
利用者負担金					
その他					
一般財源	522,201	534,664	538,672	543,204	536,930
人件費(千円)	21,080	16,260	16,400	21,160	
人工					
正規	15,380	7,590	7,550	15,200	
嘱託	5,700	8,670	8,850	5,960	
合計コスト +	796,871	808,853	828,612	855,970	832,220
前年度比	-	101.5%	102.4%	103.3%	-

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	補助金(知的障害者育成会等補助事業)(児童福祉総務費)
-------	-----------------------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

<事業の狙い>

事業計画年度

H28～H32

障害者の社会参加促進や介護者支援のために活動する団体に対して事業に係る運営費の一部を助成するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 松本市知的障害者育成会補助金
会員数150名。令和元年度、社会参加促進の機会の場の開催及び知的障害者の福祉向上のための活動(レクリエーション等交流事業の実施や、行政との懇談会の開催(年1回))を実施。
- 心身障害児・者激励行事補助金
松本市社会福祉協議会が実施し、市は経費の一部を助成。外出機会が少ない障害児者とその家族が参加者間での交流や情報交換、心身のリフレッシュを図っている。
令和元年度は当事者及びその家族の方34名が参加。

<現状に対する認識>

松本市知的障害者育成会は会員数の増加がなかなか困難であるが、知的障害者福祉の向上のための活動を積極的に行っており、本市の知的障害者福祉の増進に寄与しているため協力して会員の増加に努める。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	松本市知的障害者育成会会員数				
指標の設定理由	会への所属が社会参加のきっかけとなり、介護者の孤立化も予防できる。				
目標値	250	255	260	265	265
実績値	204	200	150	150	
達成度	81.6%	78.4%	57.7%	56.6%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	350		350		350		350		350	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	350		350		350		350		350	
人件費(千円)	7,690	人工	7,590	人工	7,550	人工	7,600	人工		人工
正規	7,690	1	7,590	1	7,550	1	7,600	1		
嘱託	0	0	0		0		0			
合計コスト +	8,040		7,940		7,900		7,950		350	
前年度比	-		98.8%		99.5%		100.6%		-	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	補助金(特定疾患患者見舞金給付事業)(保健衛生総務費)
-------	-----------------------------

<第10次基本計画の位置付け> <市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

<事業の狙い>	事業計画年度	~
特定疾患患者の経済的、精神的負担の軽減と福祉の増進を図るため、申請に基づき1年度に1回見舞金として給付するもの。		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 対象要件	特定医療費(指定難病)受給者証、ウイルス肝炎医療費受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証の交付を受けている方または、別表に定める疾患(30病種)と診断された方で、本市に1年以上居住する方。(毎年度申請が必要)
2 内容	特定疾患患者見舞金として1人年額12,000円を給付。 実績(令和元年度) 給付件数 1,279件 給付額 15,348,000円

<現状に対する認識>

原因及び治療法が確立されていない疾病、いわゆる難病患者及びその家族の経済的、精神的負担の軽減を図るために継続した実施が必要。
--

<指標の達成状況>	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	特定疾患患者見舞金申請件数				
指標の設定理由	経済的負担の状況が把握できるため				
目標値	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300
実績値	1,224	1,235	1,233	1,279	
達成度	94.2%	95.0%	94.8%	98.4%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	14,688	14,820	14,796	15,348	15,384
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	14,688	14,820	14,796	15,348	15,384
人件費(千円)	7,690	7,590	7,550	6,780	
正規	7,690	7,590	7,550	3,800	
嘱託	0	0	0	2,980	
合計コスト +	22,378	22,410	22,346	22,128	15,384
前年度比	-	100.1%	99.7%	99.0%	-

生活保護課

課長 青木 美伸

事務事業評価票

事務事業名	中国残留邦人生活支援事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	中国残留邦人生活支援事業費

< 事業の狙い >	事業計画年度	H20 ~
中国残留邦人等本人とその配偶者の生活の安定を目的として、生活、医療、住宅、介護支援などを行ったり、地域で安心して暮らせる環境づくりを行い、社会的な自立を促すもの		

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 中国残留邦人生活支援給付金の支給 中国残留邦人等本人とその配偶者の、老後の生活を安定させることを目的とした給付金を支給した。 R元年度 実績 39,547千円 (支給対象者 14世帯20人)
2 支援・相談員の配置 中国語に堪能な支援・相談員を配置し、中国残留邦人等からの日常生活の相談を受けるとともに、医療機関での通訳にあたった。 医療通訳 28人 250件、 相談・訪問 27人 86件
3 中国残留邦人等生活支援事業 中国残留邦人等が地域の日本語教室や交流事業に気軽に参加できる仕組みをつくり、地域の一員として普通の暮らしを営んでいくことを目的とした事業を、民間団体に委託し実施した。 委託先: ナルク信州まつもとだいら 委託内容: 日本語教室や農作業活動・スポーツ交流事業等の開催及び参加者の送迎、会報の制作・配布 委託金額: 2,423千円 開催実績: 87回 1,035人(延べ参加人数)

< 現状に対する認識 >

対象者には日本語が話せない高齢者が多いことから、中国語に堪能な支援・相談員の配置を継続し、日常生活の相談に応じる等きめ細かな支援を行っていく必要がある。
--

部局名	健康福祉部	課名	生活保護課	課CD	05210000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	46,797	33,985	36,566	43,771	45,190					
国・県	35,389	26,990	28,661	34,208	30,560					
利用者負担金										
その他	21	0	138	5	0					
一般財源	11,387	6,995	8,248	9,558	14,630					
人件費(千円)	1,538	人工	1,518	人工	1,510	人工	1,520	人工	1,538	人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,510	0.2	1,520	0.2	1,538	0.2
嘱託	0		0		0		0		0	
合計コスト +	48,335	35,503	38,076	45,291	46,728					
前年度比	-	73.5%	107.2%	118.9%	-					

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	生活保護課	課CD	05210000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	事務管理(法外援護)
-------	------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	事務管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

行旅病人や行旅死亡人に対し、必要な支援を行うもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 低所得者援護(行旅人旅費)
市外最寄りの駅までの旅費、食事代として500円を支給した。
(R元年度実績 4件)
- ボーダーライン援護
窮迫等で短期の医療を受け、所持金がないため医療費の支払いが困難なホームレス等に対して、その医療費を支給する。
身元不明の行き倒れ(行旅死亡人)の死亡診断書料を支払う。
(R元年度実績 なし)

< 現状に対する認識 >

「行旅病人及び行旅死亡人取扱法」に基づいた法定受託事務であるため、継続して実施する必要がある。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	38		2		1		2		150	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	38		2		1		2		150	
人件費(千円)	385	人工	380	人工	378	人工	380	人工		人工
正規	385	0.05	380	0.05	378	0.05	380	0.05		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	423		382		379		382		150	
前年度比	-		90.3%		99.2%		100.9%		-	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	生活保護課	課CD	05210000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	四賀社会就労センター管理
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け> <市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	四賀社会就労センター管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

~

社会福祉法第2条第2項第7号に規定される授産施設
 身体的精神的理由や世帯の事情により就業能力の限られている者に対し、就労又は技能の習得のために必要な機会及び便宜を提供し、自立助長を図ることを目的としている。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 運営形態
直営
- 2 授産施設の管理
一般企業から仕事を受注し、利用者の就労及び技能習得のために必要な機会を提供するための施設の維持管理を行った。
- 3 設備の更新
作業場の照明器具を蛍光灯からLEDに更新した。 669千円

施設の老朽化が進んでいる。
 また、高齢の利用者が多く、利用者の過半数が70歳を超えているため、利用者の減少が見込まれることから、今後施設のあり方について検討が必要である。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	3,003	2,180	3,090	2,774	2,900
国・県	4,454	4,815	5,235	4,430	4,568
利用者負担金	0	0	0	0	0
その他	11	11	11	11	11
一般財源	-1,462	-2,646	-2,156	-1,667	-1,679
人件費(千円)	6,854	6,919	7,033	7,100	
正規	1,154	1,139	1,133	1,140	
嘱託	5,700	5,780	5,900	5,960	
合計コスト +	9,857	9,099	10,123	9,874	9,754
前年度比	-	92.3%	111.3%	97.5%	-

事務事業評価票

事務事業名	四賀社会就労センター事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	四賀社会就労センター事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

社会福祉法第2条第2項第7号に規定される授産施設
 身体的精神的理由や世帯の事情により就業能力の限られている者に対して、就労又は技能の習得のために必要な機会及び便宜を提供し、自立助長を図ることを目的としている。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 運営形態
直営
- 2 授産施設の運営管理
一般企業から仕事を受注し、利用者の就労及び技能習得のために必要な機会を提供し、自立助長を図った。
 【R1実績】利用者数:15人(うち認定者7人、認定外利用者8人)
 取引企業数:8社
 事業収入:6,739,867円
- 3 仕事の確保
所長、指導員で企業と連絡・調整しながら、適切な仕事量の確保に努めた。

< 現状に対する認識 >

高齢の利用者が多く、利用者の過半数が70歳を超えているため、利用者の減少が見込まれることから、今後施設のあり方について検討が必要である。

部局名	健康福祉部	課名	生活保護課	課CD	05210000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	7,650		7,842		7,641		6,765		7,420	
国・県										
利用者負担金	111		101		112		106		110	
その他	7,498		7,495		7,613		6,739		7,500	
一般財源	41		246		-84		-80		-190	
人件費(千円)	5,700	人工	5,780	人工	5,900	人工	5,960	人工		人工
正規	0	0	0	0	0	0	0	0		
嘱託	5,700	2	5,780	2	5,900	2	5,960	2		
合計コスト +	13,350		13,622		13,541		12,725		7,420	
前年度比	-		102.0%		99.4%		94.0%		-	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	生活保護課	課CD	05210000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	奈川社会就労センター管理
-------	--------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	奈川社会就労センター管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

社会福祉法第2条第2項第7号に規定される授産施設
 身体的精神的理由や世帯の事情により就業能力の限られている者に対し、就労又は技能の習得のために必要な機会及び便宜を提供し、自立助長を図ることを目的としている。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 運営形態	平成26年度から指定管理者制度を導入した。 【指定管理者】 社会福祉法人松本市社会福祉協議会 【指定期間】 平成31年4月1日～令和6年3月31日 【管理経費】 利用料金制(委託料併用) 【R1委託料】 19,390千円
2 授産施設の運営管理	一般企業から仕事を受注し、利用者の就労及び技能習得のために必要な機会を提供し、自立助長を図った。 【R1実績】 利用者数:13人(うち認定者5人、認定外利用者8人) 取引企業数:6社 事業収入:13,714,352円
3 その他	平成30年9月の台風による倒木で被害を受けた奈川社会就労センター本所の屋根の復旧工事(3,780千円)を実施した。 令和元年5月に発生した奈川地区黒川渡の岩盤崩落事故による市道通行止めの影響により、奈川社会就労センター本所での作業を、奈川社会就労センター寄合渡分場に仮移転するため、分場の作業場を改修(6,908千円)した。

< 現状に対する認識 >

当該施設は就労先に限られる過疎地区での雇用の受け皿となっており、現に利用中の被保護者の自立助長には施設の存続が不可欠である。しかしながら、高齢化による利用者の減少や施設の老朽化等により、経営の効率化を図る必要有り。
 奈川社会就労センター(鉄骨造) 築後29年経過
 奈川社会就労センター寄合渡分場(木造) 築後35年経過

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	17,842	16,950	17,893	31,563	19,720
国・県	3,497	3,528	3,835	4,430	3,614
利用者負担金					
その他					
一般財源	14,345	13,422	14,058	27,133	16,106
人件費(千円)	769	759	755	760	
正規	769	759	755	760	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	18,611	17,709	18,648	32,323	20,489
前年度比	-	95.2%	105.3%	173.3%	-

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	生活保護課	課CD	05210000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	生活保護
-------	------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取組み
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	生活保護費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

生活に困窮する市民(原則)に対し、その困窮の程度に応じ、必要な保護を行い、その最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 被保護世帯への相談、支援
 個々の実情に即した相談支援を重視し、関係機関及び民生委員等の協力を求め、社会資源の活用を図り、適正な保護の実施と支援に努めた。
 【面接相談】 延540件(案件数 408件)
 【申請】 258件
 【開始】 217件
- 就労支援プログラムの活用
 自立支援のための就労支援プログラムを策定し、就労支援員2名が公共職業安定所や関係機関等との連携による実情に応じた継続的できめ細やかな就労支援を行い、被保護者世帯の自立を支援した。
 【就労開始人数】 86人(うち、就労により廃止 22件)
- 生活保護支援基金の貸付け
 生活保護に該当すると見込まれる者に対して、申請に基づき生活保護費支給までのつなぎ資金として、条例に定めた範囲内で生活資金や住宅資金を貸し付ける基金を運用して貸し付けを行った。
 【基金現在額】 2,424,295円
 【貸付実績】 85件 3,606,244円

< 現状に対する認識 >

堅調な雇用情勢のもと、保護人員・保護世帯数ともに横ばいの状況で推移してきましたが、新型コロナウイルスの影響による雇用情勢の悪化に伴い、保護申請件数の増加が見込まれます。
 急激な高齢化の進展により、高齢者世帯が全体の半数を超え、その9割が単身世帯のため、民生・児童委員や高齢者福祉関係者等との連携による見守りや健康管理を中心とした支援を行っていく必要がある。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	3,338,341	3,319,551	3,205,206	3,331,151	3,128,860
国・県	2,468,415	2,625,383	2,456,566	2,550,255	2,453,640
利用者負担金					
その他	32,582	45,215	47,040	44,269	41,620
一般財源	837,344	648,953	701,600	736,627	633,600
人件費(千円)	220,885	218,475	222,375	223,900	
正規	203,785	201,135	207,625	209,000	
嘱託	17,100	17,340	14,750	14,900	
合計コスト +	3,559,226	3,538,026	3,427,581	3,555,051	3,357,435
前年度比	-	99.4%	96.9%	103.7%	-

高齡福祉課

課長 三代澤 昌秀

事務事業評価票

事務事業名	敬老地区行事等支援事業 (敬老祝金支給事業)
-------	---------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	敬老地区行事等支援事業費

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	市長公約	主な取り組み
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

< 事業の狙い >

事業計画年度

S48~

長年にわたり社会の発展に寄与してきた高齢者に感謝し、市民が高齢者の福祉に関心と理解を深めるとともに、高齢者自らの生活の向上に努める意欲を高めることを狙いとする。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

敬老祝金給付事業	
1 実施内容	
(1) 77歳の対象者へは無料写真撮影券を送付	
(2) 祝金の対象者へは地区民生委員に記念品の配布を依頼する。	
2 対象及び金額等	
77歳(喜寿) 松本市写真師会ボランティアによる無料写真撮影券の配布	
88歳(米寿)	12,000円及び祝状
99歳(白寿)	13,000円及び祝状
100歳	25,000円、祝状及び記念品
101歳以上	25,000円
3 元年度実施実績	
77歳	560人 (対象者 2,655人のうち)
88歳	1,520人 支給額 18,240千円
99歳	164人 支給額 2,132千円
100歳	110人 支給額 2,750千円
101歳以上	157人 支給額 3,925千円
4 根拠法令等	
松本市敬老祝金条例	

< 現状に対する認識 >

長年社会に尽くしてきた高齢者に市として敬意を表すことができている。しかし、限りある財源を有効に使用し、対象者の増加に対応する持続可能な制度とするため、県内他都市の状況等を鑑み給付内容の見直しを実施する。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	25,191		25,508		26,531		28,044		30,880	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	25,191		25,508		26,531		28,044		30,880	
人件費(千円)	1,205	人工	1,635	人工	1,725	人工	2,138	人工		人工
正規	879	0.11	1,459	0.19	1,535	0.20	1,900	0.25		
嘱託	326	0.11	177	0.06	190	0.07	238	0.08		
合計コスト +	26,396		27,143		28,256		30,182		30,880	
前年度比	-		102.8%		104.1%		106.8%		-	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	敬老地区行事等支援事業 (敬老の日地区行事補助)
-------	-----------------------------

< 第10次基本計画の位置付け > < 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	敬老地区行事等支援事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

S43~

長年にわたり社会に尽くしてきた老人を敬愛し地域社会で長寿を祝う事業を支援する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

敬老の日地区行事補助

- 実施内容
各地区の社協支会が行う敬老の日の地区行事に係る経費の一部を補助する
- 交付先
松本市社会福祉協議会
- 補助金算出額
6月1日現在の75歳以上高齢者数 × @1,000円を上限
- 元年度実績
38,471千円
- 根拠条例等
松本市老人及び心身障害者福祉事業補助金交付要綱

< 現状に対する認識 >

長年にわたり社会に尽くしてきた老人を敬愛し地域社会で長寿を祝う事業を支援できている。昨年度、対象者の増加と行事のあり方の見直しを行い、2年度から単価を700円に変更した。今後の行事のあり方について、補助金交付先等と継続して協議を行う。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	地区敬老行事実施率(%)				
指標の設定理由	事業の達成度を図ることができるため				
目標値	-	70	70	70	70
実績値	-	69	70	75	
達成度	-	98.6%	100.0%	107.1%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	36,122		36,983		37,836		38,471		27,094	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	36,122		36,983		37,836		38,471		27,094	
人件費(千円)	1,728	人工	2,371	人工	2,460	人工	2,912	人工		人工
正規	1,261	0.16	2,115	0.28	2,190	0.28	2,584	0.34		
嘱託	467	0.16	256	0.09	271	0.09	328	0.11		
合計コスト +	37,850		39,354		40,296		41,383		27,094	
前年度比	-		104.0%		102.4%		102.7%		-	

事務事業評価票

事務事業名	敬老地区行事等支援事業 (ひとり暮らし老人等給食サービス事業)
-------	------------------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	敬老地区行事等支援事業費

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
主な取組み			町会との協働による支えあえる地域づくり
5つの重点目標	1	健康とくすなづくり	
松本版総合戦略			

< 事業の狙い >

事業計画年度

S63~

ひとり暮らし高齢者等の孤独感の解消や、高齢者相互間の交流促進、地域支え合いによる高齢者福祉の向上を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

ひとり暮らし老人等給食サービス事業

- 内容
ひとり暮らし高齢者等を対象に地域住民との交流を深めることを目的に開催される会食又は配食の事業費の一部を補助するもの。
- 交付先
松本市社会福祉協議会
- 補助対象食数算出根拠
(4月1日現在ひとり暮らし老人の総数 + 支会数 × サービス実施者10人) × 3
- 元年度実績
延配食数19,183食のうち14,373食 7,186千円(1食単価500円)
- 根拠条例等
松本市老人及び心身障害者福祉事業補助金交付要綱

< 現状に対する認識 >

ひとり暮らし高齢者等の孤独感の解消や、高齢者相互の交流促進、地域支え合いによる高齢者福祉の向上がみられている。今後とも、実施主体となる松本市社会福祉協議会に更なる事業の充実、活性化を依頼する。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	ひとり暮らし老人等給食サービス配食数(食)				
指標の設定理由	目標配食数((H27のひとり暮らし高齢者数 × 毎年の伸率2%) × 2回の配食数)				
目標値	14,680	14,974	15,274	15,580	15,892
実績値	14,196	14,878	14,775	14,373	
達成度	96.7%	99.4%	96.7%	92.3%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	6,988		7,439		7,387		7,186		7,540	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	6,988		7,439		7,387		7,186		7,540	
人件費(千円)	334	人工	477	人工	480	人工	516	人工		人工
正規	244	0.03	425	0.06	428	0.06	456	0.06		
嘱託	90	0.03	52	0.02	53	0.02	60	0.02		
合計コスト +	7,322		7,916		7,867		7,702		7,540	
前年度比	-		108.1%		99.4%		97.9%		-	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	高齢者社会参加支援事業 (高齢者就業機会確保事業)
-------	------------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	高齢者社会参加支援事業費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	市長公約	主な取り組み
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

< 事業の狙い >

事業計画年度

高齢社会を迎え、地域社会や産業の担い手不足が懸念される中、高齢者の就業促進を通し高齢者自らの健康、生きがいの充実や社会参画を実現し、活力ある地域社会の実現を目指す。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

高齢者就業機会確保事業
 1 内容
 高齢者等の雇用の安定等に関する法律(昭和40年法律第68号)に基づき運営費の一部を補助
 2 補助金交付先
 松本地域シルバー人材センター
 3 元年度交付実績
 18,995千円
 4 その他
 シルバー人材センターは、同事業で国の補助を受けており、その条件として、地方公共団体が応分の補助を行う事が前提とされており、実績額は松本市・山形村で按分した松本市負担分

< 現状に対する認識 >

生涯現役社会実現のための施策が実施できている。
 今後ともシルバー人材センターの活動を支援する。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	就業実人数(人)				
指標の設定理由	就業機会の確保(平成27年の就業人数から毎年0.5%の増加見込)				
目標値	1,413	1,420	1,427	1,434	1,441
実績値	1,371	1,371	1,452	1,431	
達成度	97.0%	96.5%	101.8%	99.8%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	16,458		18,387		18,922		19,027		20,020	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	16,458		18,387		18,922		19,027		20,020	
人件費(千円)	760	人工	1,140	人工	1,179	人工	1,471	人工		人工
正規	554	0.07	1,020	0.13	1,056	0.14	1,292	0.17		
嘱託	205	0.07	119	0.04	124	0.04	179	0.06		
合計コスト +	17,218		19,527		20,101		20,498		20,020	
前年度比	-		113.4%		102.9%		102.0%		-	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	高齢者社会参加支援事業 (高齢者生きがい対策事業・老人クラブ育成事業)
-------	--

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	高齢者社会参加支援事業費

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	1 健康ときずなづくり
			松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

高齢者の健康増進と協調精神を養うとともに、地域の仲間とのふれあいの機会を持ち、また、これまでに培った経験、能力を活かし地域社会に貢献するとともに、自分自身の生きがいづくりに寄与することで、高齢者福祉の向上を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

高齢者生きがい対策事業・老人クラブ育成事業

1 内容

松本市高齢者クラブ連合会を実施主体に実施される、高齢者の生きがいづくり、健康づくりを目的とした各種事業に係る経費への補助及び、町会単位等の各単位クラブへの活動助成をするもの。

2 補助金交付先

松本市高齢者クラブ連合会、単位高齢者クラブ

3 元年度交付実績

6,950千円

4 根拠条例等

松本市老人及び心身障害者福祉事業補助金交付要綱

< 現状に対する認識 >

高齢者の生きがいづくり、地域づくりの場としてクラブ活動に有効な支援ができています。近年、補助金交付対象クラブ数が減少してきているので、広報活動等を通じて周知に努めていきたい。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	単位高齢者クラブ数(クラブ)				
指標の設定理由	生きがいづくりの推進(前年の補助実績数を目標値とする)				
目標値	181	170	170	160	160
実績値	168	160	152	146	
達成度	92.8%	94.1%	89.4%	91.3%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	8,662		7,948		7,265		7,060		7,050	
国・県	3,566		3,550		3,337		3,190		3,470	
利用者負担金										
その他										
一般財源	5,096		4,398		3,928		3,870		3,580	
人件費(千円)	400	人工	493	人工	453	人工	516	人工		人工
正規	292	0.04	441	0.06	405	0.05	456	0.06		
嘱託	108	0.04	52	0.02	47	0.02	60	0.02		
合計コスト +	9,062		8,441		7,718		7,576		7,050	
前年度比	-		93.1%		91.4%		98.2%		-	

事務事業評価票

事務事業名	高齢者福祉入浴事業
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	高齢者福祉入浴事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

市内公衆浴場等の入浴料金の一部を助成することにより、入浴を通じて高齢者の健康増進及び交流促進を支援するもの

< 事業の実施内容及び活動指標 (実績値) >

【事業の概要】

- 対象者 各年度4月1日現在、70歳以上の高齢者
- 対象施設 市内公衆浴場組合加盟の浴場、松茸山荘別館、梓水苑
- 利用方法 対象施設を1回100円で利用できる入浴券の交付
年間一人30枚
- 助成内容 入浴券1枚につき、300円(上限)助成
- 根拠法令 松本市高齢者福祉入浴助成事業実施要綱

【元年度交付実績】

- 交付対象者 50,597人
- 交付者数 9,128人
- 利用枚数 113,472枚
- 交付率 18.04%
- 平均使用枚数 12.43枚

< 現状に対する認識 >

対象施設が市域の東側に偏っており、制度を利用できる者が限られるため、交付率は18%、交付者一人当たりの平均利用枚数は13枚と利用率です。

このことから、令和3年度以降の事業のあり方を高齢者福祉全体の中で検討します。

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	#REF!
-----	-------	----	-------	-----	-------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	#REF!	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	#REF!	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	221	#REF!	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	入浴券交付率				
指標の設定理由	必要とする利用者を計れるため				
目標値	18.00%	18.02%	18.04%	18.06%	18.08%
実績値	18.02%	18.37%	18.22%	18.04%	
達成度	100.1%	101.9%	101.0%	99.9%	-
成果指標(指標名)	平均利用枚数				
指標の設定理由	利用率を直接的に把握できるため				
目標値	13.00枚	13.00枚	13.00枚	13.00枚	13.00枚
実績値	13.24枚	12.92枚	12.98枚	12.43枚	
達成度	101.8%	99.4%	99.8%	95.6%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	35,813		34,919		35,504		34,297		36,620	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	35,813		34,919		35,504		34,297		36,620	
人件費(千円)	1,792	人工	2,129	人工	2,333	人工	2,578	人工		人工
正規	1,307	0.17	1,898	0.25	2,076	0.27	2,280	0.3		
嘱託	485	0.17	232	0.08	257	0.09	298	0.1		
合計コスト +	37,605		37,048		37,837		36,875		36,620	
前年度比	-		98.5%		102.1%		97.5%		-	

事務事業評価票

事務事業名	福祉100円バス助成事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	福祉100円バス助成事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

高齢者等の交通手段の確保、外出支援等により、日常生活利便の向上、社会活動参加の促進により、高齢者等の生きがいづくり、健康づくりを図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

市内に居住する70歳以上の高齢者及び障害者を対象に市内のバス等を利用する場合に、その料金の一部を助成するもの

利用料金のうち100円を利用者が負担し、残りの料金については、事業者と市で負担するもの

【負担割合】

- 市内バス路線及び上高地線電車
平成26年度まで 市5割 事業者5割
平成27年度 市6割 事業者4割
平成28年度から 市7割 事業者3割
- 西部コミュニティバス
市5割、事業者5割
- 地域バス(ほしみ線、中山線、入山辺線、浅間・大村線)
市5割、事業者5割

【元年度実績】

- 利用者数 571,890人
アルピコ交通 536,735人
西部コミュニティ 18,673人
地域バス 16,482人

- バス券新規発行者 2,094人

【根拠法令】

松本市福祉100円バス助成事業実施要綱

< 現状に対する認識 >

主なバス運行事業者のアルピコ交通(株)は、事業者負担分が実質的な減収になるとして、負担割合の見直しを求めている。

市は、事業を福祉政策としてだけでなく、利用促進策としても捉えていることも踏まえたうえで、負担割合について協議していきたい。

乗降客数の把握は、アルピコ交通のカウントに頼るしかなく検証方法の検討が必要である。

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	市長公約	主な取り組み	市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	1	健康とぎすなづくり
			松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	年間利用者数(人)				
指標の設定理由	高齢者の外出支援状況を直接的に表すため				
目標値	設定なし	622,000人	622,000人	622,000人	622,000人
実績値	621,223人	590,437人	581,400人	571,890人	
達成度	-	94.9%	93.5%	91.9%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	73,111		66,297		65,064		74,691		76,870	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	73,111		66,297		65,064		74,691		76,870	
人件費(千円)	3,584	人工	4,182	人工	4,224	人工	5,672	人工		人工
正規	2,615	0.34	3,719	0.49	3,768	0.49	5,016	0.66		
嘱託	969	0.34	463	0.16	456	0.16	656	0.22		
合計コスト +	76,695		70,479		69,288		80,363		76,870	
前年度比	-		91.9%		98.3%		116.0%		-	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	老人福祉センター管理運営事業
-------	----------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	老人福祉センター管理運営事業

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

地域の高齢者に対して健康の増進、教養の向上及びレクリエーション実施を支援し、高齢者の日常生活に必要な能力回復、向上を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 南部老人福祉センター管理運営
施設及び管理運営に関して指定管理者と締結した協定に基づき、事業を実施したものの利用の許可業務
施設及び設備の維持管理業務
老人福祉法の規定により行う業務

ア 各種講座
イ サークル支援
ウ 福祉入浴
エ プラチナ大学 他

利用実績
ア プラチナセンター延利用人数 15,801人
イ プラチナ大学入学者数 73人

根拠法令
老人福祉法
松本市総合社会福祉センター条例
松本市総合社会福祉センター条例施行規則

< 現状に対する認識 >

高齢者の利用も多く、健康の増進、教養の向上及びレクリエーション実施に寄与している施設と考えている。
講座内容やプラチナ大学のカリキュラムを精査して支援を充実させたい。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	利用者数				
指標の設定理由	利用状況により必要性が直接的に計れるため				
目標値	12,000人	12,500人	12,600人	12,700人	12,800人
実績値	13,661人	15,487人	14,494人	15,801人	
達成度	113.8%	123.9%	115.0%	124.4%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	29,258		8,077		8,832		8,231		7,550	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	29,258		8,077		8,832		8,231		7,550	
人件費(千円)	1,476	人工	513	人工	518	人工	592	人工		人工
正規	1,077	0.14	455	0.06	461	0.06	532	0.07		
嘱託	399	0.14	58	0.02	57	0.02	60	0.02		
合計コスト +	30,734		8,590		9,350		8,823		7,550	
前年度比	-		28.0%		108.8%		94.4%		-	

事務事業評価票

事務事業名	公的介護施設等整備事業
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	公的介護施設等整備事業費

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け > < 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取り組み
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標
			松本版総合戦略

< 事業の狙い >

事業計画年度	12~
--------	-----

介護保険事業計画に基づき施設整備をするにあたり、事業者である社会福祉法人等に対し、県補助金を活用して、施設整備費や施設開設に必要な諸経費の助成を行い、新規事業への参入を補助することで、市の事業計画を推進するものです。また、耐震改修等の防災補強改修を必要とする施設等に対して、国の補助金を活用して助成をし、利用者の安全確保等を行うものです。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 地域密着型サービス等整備助成事業
新設される事業所の建設費に対して補助金を交付します。
株式会社 北アルプスの風 32,000千円(平成30年度繰越分)
(ホットハウスしまうちの家)
- 施設開設準備経費等支援事業
新設される事業所の開設に当たっての準備経費(備品購入費等)に対して補助金を交付します。
株式会社 北アルプスの風 14,814千円
(ホットハウスしまうちの家)
社会福祉法人 北アルプスの風 24,331千円
(地域密着型特別養護老人ホームリーベにいむら)
- 高齢者施設等の安全対策強化事業
既存施設の防災等安全対策に対して補助金を交付します。
合同会社 三沢介護院 375千円
(デイサービスあがた)

地域密着型特別養護老人ホームリーベにいむらの施設整備に係る補助金の交付は、工期の延長により次年度へ繰り越されました。

国及び県の補助制度を利用して、介護保険事業計画に基づいた施設整備や施設利用者の安全確保のための施設改修等を行います。
今後の国県等の事業内容の変更に注意しながら、当該事業を進めます。

< 指標の達成状況 >

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	地域密着型サービス施設整備				
指標の設定理由	施設整備数				
目標値	45	47	48	50	53
実績値	45	46	47	47	
達成度	100.0%	97.9%	97.9%	94.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	150,419	163,604	4,711	71,520	94,520
国・県	150,419	163,604	4,711	71,395	94,520
利用者負担金					
その他					
一般財源				125	
人件費(千円)	750	749	23	409.8	
正規	667	692	23	380	
嘱託	82	57	0	30	
合計コスト +	151,169	164,353	4,734	71,930	94,520
前年度比	-	108.7%	2.9%	1519.4%	-

事務事業評価票

事務事業名	松風園管理運営事業
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	松風園管理運営事業費

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	市長公約	主な取り組み
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

< 事業の狙い > 事業計画年度 S55 ~

居住環境や家庭の問題などにより、自宅において生活することが困難な高齢者の権利擁護をするものです。
施設、整備等の耐用年数経過による老朽化に伴い、改修及び設備の更新を行い、利用者の安全確保、サービス環境を整える必要があります。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

養護老人ホームに入所措置をとり、その者の生活維持にかかる経費を施設に支払うものです。国で決められた単価により計上し、支出しています。
施設の維持管理は指定管理納付金を財源とし、施設の改修、更新を計画的に進めるものです。

- 建設年度
昭和55年度(建築経過年数38年)
- 管理運営
指定管理・利用料金制委託料併用方式
- 定員
入所100名(うち松本市96:他市4) 短期入所4名
- 内容
家庭の問題等により自宅において生活困難な高齢者の権利擁護及び、利用者のサービス向上のための施設・設備の改修等
- 修繕等実績

(1) 平成29年度 空調設備入替工事等	総額 7,595,640円
(2) 平成30年度 テーブル型冷蔵庫の更新等	総額 4,309,200円
(3) 令和元年度 特殊浴槽更新等	総額 9,986,000円

< 現状に対する認識 >

施設設備の維持管理は納付金の範囲内で実施できており、今後の維持管理計画に基づき、事業費の平準化等を図りながら、事業を展開していくものです。

< 指標の達成状況 > 総合評価 A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	174,763		175,305		174,131		174,596		174,970	
国・県										
利用者負担金	38,260		41,519		44,438		44,288		40,820	
その他	12,664		16,052		12,763		17,142		7,640	
一般財源	123,839		117,734		116,930		113,166		126,510	
人件費(千円)	871	人工	964	人工	931	人工	896	人工		人工
正規	775	0.1	865	0.11	846	0.11	836	0.11		
嘱託	96	0.0	99	0.03	86	0.03	60	0.02		
合計コスト +	175,634		176,269		175,062		175,492		174,970	
前年度比	-		100.4%		99.3%		100.2%		-	

事務事業評価票

事務事業名	城山介護老人保健施設管理運営事業
-------	------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	城山介護老人保健施設管理運営事業費

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約 主な取り組み
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標
			松本版総合戦略

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

< 事業の狙い >

事業計画年度

H10

介護を必要とする高齢者の方への看護・介護サービスや機能訓練などにより、心身の自立と在宅復帰の援助をする施設である保健・医療・福祉サービス機能を備えた介護保険施設の維持管理をするものです。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

平成28年度までは特別会計を設置し、指定管理者委託料制度により、本市からは委託料と施設整備費(工事費)及び建設費の市債償還費を支出していました。

平成29年度からは、指定管理者利用料金独立採算制を採用し、本課からの支出は、指定管理者との協定に基づき、30万円以上の修繕や各種工事請負費となりました。

	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
執行額	99,359	108,649	147,299	150,289	163,699	179,099	187,569
全事業費	208,249						
進捗率	47.7%	52.2%	70.7%	72.2%	78.6%	86.0%	90.1%

【平成31年度実績内訳】

(単位:円)

		R1 (H31)
工事請負費	高圧受電設備改修工事	1,815,000
	屋根防水改修工事	7,992,000
	本館給湯ボイラー熱交換器更新工事	1,298,000
委託料	南側桜支障枝除去剪定	319,000
合計		11,424,000

< 現状に対する認識 >

介護老人保健施設は、在宅復帰を目指す施設であり、国は介護保険制度において在宅介護を推奨していることから、重要な役割を担っています。平成29年度から指定管理者利用料金独立採算制度に移行し、事業を継続していくものです。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	松本市城山介護老人保健施設維持管理計画進捗状況(累計)				
指標の設定理由					
目標値	208,249	208,249	208,249	208,249	208,249
実績値	59,298	94,119	99,359	108,649	147,299
達成度	28.5%	45.2%	47.7%	52.2%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	692,564	34,821	5,918	11,424	38,650					
国・県										
利用者負担金										
その他			5,918	11,424	38,650					
一般財源	692,564	34,821								
人件費(千円)	3,370	人工	154	人工	23	人工	76	人工		人工
正規	2,999	0.39	154	0.02	23	0.003	76	0.01		
嘱託	371	0.13	0	0	0	0	0	0		
合計コスト +	695,934	34,975	5,941	11,500	38,650					
前年度比	-	5.0%	17.0%	193.6%	-					

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	老人福祉施設措置事業
-------	------------

< 第10次基本計画の位置付け > < 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	老人福祉施設措置費

< 事業の狙い >

事業計画年度

居住環境や虐待等家庭の問題などにより自宅において生活することが困難な高齢者の権利擁護をするものです。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

養護老人ホームに入所措置をとり、その者の生活維持にかかる経費を施設に支払うものです。国の基準を基に決められた単価により計上し、支出しています。

措置人員 (単位:人)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
委託分	95	104	108

委託分...岡谷和楽荘、聖母寮、寿和寮、木曾寮、鹿島荘、普携寺香風園、光の園、温心寮、安曇寮

数値は各年度3月31日現在

木曾寮は平成30年度途中まで入所者がいたが、令和元年度以降入所者なし

< 現状に対する認識 >

介護認定・障害認定の有無等、入所者の身体的な状況により措置費の増減が生じますが、入所者数は増加傾向にあるため、状況を注視し予算要求等に反映していきます。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	181,392		191,306		206,315		222,464		230,340	
国・県										
利用者負担金	47,441		50,532		54,580		57,470		56,500	
その他										
一般財源	133,951		140,774		151,735		164,994		173,840	
人件費(千円)	904	人工	1,014	人工	1,114	人工	1,124	人工		人工
正規	804	0.10	929	0.12	1,000	0.13	1,064	0.14		
嘱託	99	0.03	86	0.03	114	0.04	60	0.02		
合計コスト +	182,296		192,320		207,429		223,588		230,340	
前年度比	-		105.5%		107.9%		107.8%		-	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	高齢者緊急通報装置設置事業
-------	---------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	高齢者緊急通報装置設置事業費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
主な取組み		地域での見守りや支援の拡充で孤立を防止
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

< 事業の狙い >

事業計画年度

H3~

突発的な災害、事故、急病等の緊急事態等に際し、機敏に行動することが困難と思われるひとり暮らし高齢者、重度の身体障害者等に対して救急、救助活動の充実させて福祉の増進を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

高齢者緊急通報装置設置事業

- 対象者
 - ア 65歳以上のひとり暮らし高齢者
 - イ 重度の身体障害者
 - ウ ねたきり老人夫婦等の者 等
- 利用要件等
装置利用者は、原則として業者から確認要請を受けたとき利用者宅に
出向き、救助が可能な者を協力員として確保する。
- 利用料
月額 600円 ただし、市町村民税非課税世帯と生活保護世帯は無償とする
- 元年度実績
緊急通報件数 209件のうち、救急搬送17件(うち死亡4件)及び救急搬送
以外の体調不良等の訴え23件
- 根拠条例等
松本市ひとり暮らし老人等緊急通報装置設置事業実施要綱
松本市ひとり暮らし老人及び心身障害者日常生活用具の貸与に関する
規程

< 現状に対する認識 >

近隣住民の協力を得て事業を展開しており、ひとり暮らし高齢者や身体障害者等の安心・安全に寄与している。今後ともセーフティネットの一つとして事業の周知をすすめる。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	高齢者緊急通報装置設置台数				
指標の設定理由	見守り体制の強化(目標設置台数)				
目標値	500	500	500	500	500
実績値	463	459	434	431	
達成度	92.6%	91.8%	86.8%	86.2%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	9,448	11,107	9,054	8,780	9,130					
国・県										
利用者負担金	1,737	1,768	1,754	1,716	1,740					
その他										
一般財源	7,711	9,339	7,300	7,064	7,390					
人件費(千円)	422	人工	518	人工	518	人工	697	人工		人工
正規	308	0.04	461	0.06	461	0.06	608	0.08		
嘱託	114	0.04	57	0.02	57	0.02	89	0.03		
合計コスト +	9,870	11,625	9,572	9,477	9,130					
前年度比	-	117.8%	82.3%	99.0%	-					

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名 高齢者お薬相談支援事業

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	在宅介護24時間あんしん支援事業費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取り組み
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標
			松本版総合戦略

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

< 事業の狙い >

事業計画年度

松本市薬剤師会へ委託、36地区の福祉ひろばを利用し、高齢者の服薬についての指導や相談を行ない、正しい知識を習得し、介護予防に努めるもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

松本市薬剤師会へ業務委託(事業名:松本市お薬なんでも講座)
松本薬剤師会が、業務委託契約により、市内の福祉ひろばにて実施
高齢者の、安全・安心な服用を通じて介護予防に努めている。

	H29	H30	R1
開催箇所	30	31	23
参加者数(人)	1,052	1,075	834

< 現状に対する認識 >

事業の継続について、薬剤師会とも協議しながら今後の事業展開を検討します。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	松本市お薬なんでも講座参加者数(人)				
指標の設定理由					
目標値	850	900	950	1,000	1,050
実績値	1,151	1,052	1,075	834	
達成度	135.4%	116.9%	113.2%	83.4%	
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	414		414		414		270		270	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	414		420		414		270		270	
人件費(千円)	0	人工	0	人工	2	人工	2	人工		人工
正規	0	0.0003	0	0.0002	2	0.0002	2	0.0002		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計コスト +	414		414		416		272		270	
前年度比	-		100.0%		100.4%		65.3%		-	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	公共交通空白地有償運送事業
-------	---------------

< 第10次基本計画の位置付け > < 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	在宅介護24時間あんしん支援事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

12~

交通機関空白の過疎地における移動手段確保のため道路運送法の許可を得て運送事業を行うNPO団体等に、事業実績に基づいて補助金を支払い、その活動を支援するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

四賀・安曇・奈川地区に居住する、65歳以上の高齢者または障害者手帳の交付を受けている者等の通院等に係る送迎を行った際、その走行距離に応じて送迎を行ったNPO団体等に補助金支出

公共交通空白地有償運送実績

	H29	H30	R1
件数	2,154	2,467	2,507
補助金額(円)	5,188,200	5,726,600	5,518,400

< 現状に対する認識 >

交通機関空白の過疎地における 要介護認定者等の移動手段確保のため、引き続き助成を行います。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	5,077		5,188		5,726		5,518		5,730	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	5,077		5,188		5,726		5,518		5,730	
人件費(千円)	23	人工	25	人工	25	人工	23	人工		人工
正規	23	0.003	25	0.003	25	0.003	23	0.003		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計コスト +	5,100		5,213		5,751		5,541		5,730	
前年度比	-		102.2%		110.3%		96.4%		-	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	寝台タクシー利用料金助成事業
-------	----------------

< 第10次基本計画の位置付け > < 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	在宅介護24時間あんしん支援事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

12~

寝台タクシーの利用料を助成することで、低所得の要介護認定者の通院や施設利用時の負担軽減をはかるもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

要介護3以上の住民税非課税世帯で、通常車両への乗車が不可能な者に対して、年間6枚の寝台タクシーの利用券を助成

寝台タクシー利用料金助成実績

	H29	H30	R1
件数	56	61	56
補助金額(円)	174,680	178,510	153,615

< 現状に対する認識 >

低所得の要介護認定者等の移動手段確保のため、引き続き助成を行います。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	寝台タクシー利用者数				
指標の設定理由					
目標値	30	30	30	30	30
実績値	24	18	18	21	
達成度	80.0%	60.0%	60.0%	70.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	115		174		178		153		160	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	115		174		178		153		160	
人件費(千円)	1	人工	1	人工	1	人工	30	人工		人工
正規	1	0.0001	1	0.0001	1	0.0001	30	0.004		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計コスト +	116		175		179		183		160	
前年度比	-		151.3%		102.3%		102.6%		-	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名 緊急ショートステイ事業

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	在宅介護24時間あんしん支援事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

高齢者の自立支援や介護者の介護負担軽減を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

緊急ショートステイ事業
 介護者の急病などにより、一時的に在宅での生活が困難となった要介護高齢者を養護老人ホーム温心寮で短期間(概ね1週間)入所受け入れするもの
 ・対象者 要介護(要支援)認定者
 ・利用者負担 1日1,450円(食費別)

< 現状に対する認識 >

・事業に対する需要があり、引き続き事業を継続して高齢者の自立支援や介護負担軽減に寄与する。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	緊急ショートステイ延べ利用日数(日)				
指標の設定理由	在宅介護支援の指標となるため				
目標値	31	31	16	16	16
実績値	4	7	14	15	
達成度	12.9%	22.6%	87.5%	93.8%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	52		91		182		195		210	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	52		91		182		195		210	
人件費(千円)	53	人工	82	人工	187	人工	1,633	人工		人工
正規	39	0.01	57	0.01	134	0.02	1,216	0.16		
嘱託	14	0.01	25	0.01	54	0.02	417	0.14		
合計コスト +	105		173		369		1,828		210	
前年度比	-		164.7%		213.0%		494.8%		-	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	高齢者住宅等整備事業
-------	------------

< 第10次基本計画の位置付け > < 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	在宅介護24時間あんしん支援事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

高齢者の自立支援や介護者の介護負担軽減を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

高齢者住宅等整備事業
 高齢者の自立支援及び介護者の負担軽減を図るための住宅改修について、経費の一部を補助するもの
 ・対象者 前年所得税非課税世帯
 ・補助対象限度額 70万円
 ・自己負担額 補助対象額の1割

< 現状に対する認識 >

・事業に対する需要があり、引き続き事業を継続して高齢者の自立支援や介護負担軽減に寄与する。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	高齢者住宅等整備事業利用者数(人)				
指標の設定理由	在宅介護支援の指標となるため				
目標値	12	12	12	12	10
実績値	16	10	12	19	
達成度	133.3%	83.3%	100.0%	158.3%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	7,048		4,236		4,433		6,764		6,300	
国・県	3,524		2,118		2,217		3,382		3,150	
利用者負担金										
その他										
一般財源	3,524		2,118		2,217		3,382		3,150	
人件費(千円)	7,224	人工	3,838	人工	4,567	人工	5,792	人工		人工
正規	5,270	0.69	2,657	0.35	3,260	0.42	4,332	0.57		
嘱託	1,953	0.69	1,182	0.41	1,307	0.46	1,460	0.49		
合計コスト +	14,272		8,074		9,000		12,556		6,300	
前年度比	-		56.6%		111.5%		139.5%		-	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	高齢者訪問理美容料金助成事業
-------	----------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	在宅介護24時間あんしん支援事業費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	市長公約	主な取り組み
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

< 事業の狙い >

事業計画年度

高齢者の自立支援や介護者の介護負担軽減を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

高齢者訪問理美容料金助成事業
65歳以上で寝たきり等の高齢者が、自宅で訪問理美容を利用する場合に料金の一部を助成
・事業内容 1枚3,000円の助成券を最大年6枚交付
(~平成29年度)
1枚1,000円の助成券を最大年18枚交付
(平成30年度~)

< 現状に対する認識 >

・事業に対する需要があり、引き続き事業を継続して高齢者の自立支援や介護負担軽減に寄与する。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	訪問理美容料金助成券利用枚数(枚)				
指標の設定理由	在宅介護支援の指標となるため				
目標値	430	436	1,350	1,230	1,130
実績値	444	356	954	921	
達成度	103.3%	81.7%	70.7%	74.9%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	1,332		1,068		954		921		1,130	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,332		1,068		954		921		1,130	
人件費(千円)	1,365	人工	968	人工	983	人工	846	人工		人工
正規	996	0.13	670	0.09	702	0.09	608	0.08		
嘱託	369	0.13	298	0.1	281	0.1	238	0.08		
合計コスト +	2,697		2,036		1,937		1,767		1,130	
前年度比	-		75.5%		95.1%		91.3%		-	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	ナイトケア利用料金助成事業
-------	---------------

< 第10次基本計画の位置付け > < 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	在宅介護24時間あんしん支援事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

高齢者の自立支援や介護者の介護負担軽減を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

ナイトケア利用料金助成事業
 デイサービスセンター等の利用者が引き続きその施設へ宿泊する
 場合に、利用料金の一部を助成するもの
 ・対象者 要介護(要支援)認定者・事業対象者
 ・補助額 費用の7割(7,000円を上限)
 ・利用 年間12泊以内(1カ月3泊以内)

< 現状に対する認識 >

・事業に対する需要があり、引き続き事業を継続して高齢者の自立支援や介護負担軽減に寄与する。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	ナイトケア利用料金助成券延べ利用者数(人)				
指標の設定理由	在宅介護支援の指標となるため				
目標値	1,455	1,402	1,536	1,697	1,632
実績値	1,483	1,698	1,805	1,687	
達成度	101.9%	121.1%	117.5%	99.4%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	5,170		5,162		5,284		5,183		5,170	
国・県	2,585		2,581		2,642		2,592		2,585	
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,585		2,581		2,642		2,592		2,585	
人件費(千円)	5,299	人工	4,678	人工	5,443	人工	4,447	人工		人工
正規	3,866	0.5	3,238	0.42	3,885	0.51	3,344	0.44		
嘱託	1,433	0.5	1,440	0.51	1,558	0.55	1,103	0.37		
合計コスト +	10,469		9,840		10,727		9,630		5,170	
前年度比	-		94.0%		109.0%		89.8%		-	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	生活管理指導短期宿泊事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	在宅介護24時間あんしん支援事業費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取り組み
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標
			松本版総合戦略

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

< 事業の狙い >

事業計画年度

高齢者の自立支援や介護者の介護負担軽減を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

生活管理指導短期宿泊事業
 一時的に在宅生活が困難となった1人暮らし等の高齢者を、養護老人ホーム(松風園、温心寮)で短期間入所受入れするもの
 ・利用者負担 1日400円(食費別)

< 現状に対する認識 >

・事業に対する需要があり、引き続き事業を継続して高齢者の自立支援や介護負担軽減に寄与する。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	生活管理指導短期宿泊延べ利用日数(日)				
指標の設定理由	在宅介護支援の指標となるため				
目標値	1,583	1,829	2,056	2,011	1,750
実績値	2,636	1,566	1,855	2,064	
達成度	166.5%	85.6%	90.2%	102.6%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	10,051		5,995		7,030		7,822		7,030	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	10,051		5,995		7,030		7,822		7,030	
人件費(千円)	10,301	人工	5,432	人工	7,242	人工	6,685	人工		人工
正規	7,516	0.98	3,760	0.49	5,169	0.67	5,016	0.66		
嘱託	2,785	0.98	1,672	0.59	2,073	0.73	1,669	0.56		
合計コスト +	20,352		11,427		14,272		14,507		7,030	
前年度比	-		56.1%		124.9%		101.6%		-	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	介護保険利用者負担軽減事業
-------	---------------

< 第10次基本計画の位置付け > < 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	介護保険利用者負担軽減事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

低所得で生計が困難な方について、介護保険サービスの提供を行う社会福祉法人等が、その社会的な役割にかんがみ、利用者負担を軽減することにより、介護保険サービスの利用促進を図ることを目的とするもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 社会福祉法人等利用者負担軽減確認証の発行
申請受付及び審査に基づき確認証を発行し、確認証の提示を受けた各法人等は、確認証に記載された段階に応じて、介護サービス等の自己負担分を減免することで、低所得者の負担軽減を図っています。
- 2 各法人への補助金
国の制度に基づき、県費及び市費を財源として、上記1により利用者の自己負担分を軽減した法人に対して、補助金を支出します。

< 現状に対する認識 >

国の制度改正により、対象要件(所得要件)が厳格化されるなど、事業としては縮小傾向にあります。国県等の動向に注視し、今後の事業展開を図ります。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	13,495	13,568	10,987	11,254	12,800					
国・県	2,607	2,290	1,759	1,441	2,270					
利用者負担金										
その他										
一般財源	10,888	11,278	9,228	9,813	10,530					
人件費(千円)	60	人工	55	人工	54	人工	76	人工		人工
正規	60	0.008	55	0.007	54	0.007	76	0.01		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計コスト +	13,555	13,623	11,041	11,330	12,800					
前年度比	-	100.5%	81.0%	102.6%	-					

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	老人デイサービス事業
-------	------------

< 第10次基本計画の位置付け > < 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	老人デイサービス事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

29~33

施設、整備等の耐用年数経過による老朽化に伴い、改修及び設備の更新を行い、利用者の安全確保、サービス環境を整える必要があるもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

指定管理納付金を財源とし、施設の改修、更新を計画的に進めるもの

- 建設年度
平成5年度～平成11年度(建築経過年数:20～26年)
- 対象施設
11施設
- 管理運営
指定管理・利用料金制(独立採算方式)
- 事業内容
施設及び設備の改修工事等
- 維持管理実績
 - 平成29年度
北部デイ スプリンクラー設置工事等 総額 38,369,160円
 - 平成30年度
島内デイ ボイラ、ろ過装置更新工事等 総額 66,290,400円
 - 令和元年度
島内デイ 自動火災報知機受信機更新工事等 総額 15,657,000円

< 現状に対する認識 >

施設維持管理は納付金の範囲内で実施できており、今後の維持管理計画に基づき、事業費の平準化等を図りながら、事業を展開していくものです。
設置から20年以上経過している施設が多いため、老朽化や経年劣化による故障等の突発的な修繕や工事等が生じています。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	松本市老人デイサービスセンター事業進捗状況(年度)				
指標の設定理由	施設の老朽化が進んでいる中で緊急修繕を含めた適切な改修等が行われているか				
目標値(千円)	31,370	25,220	74,390	10,360	2,500
実績値(千円)	21,230	39,870	67,790	17,154	
達成度	67.7%	158.1%	91.1%	165.6%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	21,228	39,866	67,787	17,154	2,500					
国・県										
利用者負担金										
その他	17,604	38,369	66,290	12,149	1,000					
一般財源	3,624	1,497	1,497	5,005	1,500					
人件費(千円)	92	人工 153.8	人工 336.1	人工 76	人工					
正規	92	0.012	153.8	0.02	307.6	0.04	76	0.01		
嘱託	0	0	0	0	28.5	0.01	0	0		
合計コスト +	21,320	40,020	68,123	17,230	2,500					
前年度比	-	187.7%	170.2%	25.3%	-					

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	介護保険事業計画見直し事業
-------	---------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	介護保険事業計画見直し事業費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

H30 ~ R2

団塊の世代が後期高齢者となる2025年の介護需要を見据え、第7期介護保険事業計画において、地域包括ケアシステム・松本モデルや、認知症等の施策の充実を図り、第6期介護保険事業計画の取組みを更に推進するとともに、第8期介護保険事業計画の策定準備を進める。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 第7期介護保険事業計画における、令和元年度の各事業進捗状況管理
- 第8期介護保険事業計画策定に向けた高齢者等実態調査の実施
(高齢者等実態調査の概要)
調査対象者
ア 元気高齢者 1,000人
イ 居宅要介護・要支援認定者 3,000人
調査及び集計方法
国及び県により作成された、共通調査票を対象者へ郵送し、同封の封筒により返送してもらいます。また、集計は、県の委託業者により行います。
主な調査内容
ア 生活状況、身体状況、地域での活動等について
イ 介護予防又は介護について
ウ 高齢者施策について
- 松本市健康福祉21市民会議における高齢者専門員会の設置準備

< 現状に対する認識 >

第7期介護保険事業計画における平成30年度及び令和元年度の各事業実施状況を把握し、課題分析をする必要がある。また、その結果を踏まえ、計画最終年度の事業方針を決定するとともに、第8期介護保険事業計画の施策検討を行い、当該計画の策定準備を進める。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	第7期介護保険事業計画進捗状況報告による達成度(0~3段階)				
指標の設定理由	上記計画において目標を定めているため				
目標値	-	-	2(目標どおり)	2(目標どおり)	2(目標どおり)
実績値	-	-	1.9	2	
達成度	-	-	95.0%	100.0%	#VALUE!
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	1,225		1,401		502		1,310		1,510	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,225		1,401		502		1,310		1,510	
人件費(千円)	5	人工	7	人工	2	人工	8	人工		人工
正規	5	0.0007	7	0.0009	2	0.0003	8	0.001		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計コスト +	1,230		1,408		504		1,318		1,510	
前年度比	-		114.4%		35.8%		261.3%		-	

事務事業評価票

事務事業名	高齢者介護手当等給付事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	高齢者介護手当等給付事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

重度の要介護者を家庭で介護している者及び家族の福祉の増進を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

重度の要介護者(要介護3~5の方)を家庭で介護している介護者に介護手当を支給するもの(平成30年度まで、要介護3の方については市単で支給)

- 対象者
65歳以上の要介護者を、基準日(5月1日又は11月1日)または死亡において、1年間通算して180日以上または、前年の基準日から死亡日までの間に通算して90日以上180日未満在宅介護している者
- 支給額
年額 6万円
(死亡の場合、前年の基準日から死亡日までの間に通算して90日以上180日未満在宅介護している場合は3万円)
- 支給実績
令和元年度 要介護3 769人 45,180千円
要介護4 451人 26,250千円
要介護5 241人 13,860千円
計 1,461人 85,290千円
- 根拠法令
松本市高齢者介護手当条例
松本市高齢者介護手当条例施行規則

< 現状に対する認識 >

令和元年度に、国の補助金の支給要綱が改正されたのを受け、制度の見直しを行い市単事業として実施しています。

- 支給年額 10万円 6万円
(死亡の場合) 5万円 3万円

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	#REF!
-----	-------	----	-------	-----	-------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	87,997		82,119		81,600		85,635		89,130	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	87,997		82,119		81,600		85,635		89,130	
人件費(千円)	4,427	人工	5,647	人工	5,443	人工	6,521	人工		人工
正規	3,230	0.42	5,009	0.66	4,845	0.63	5,776	0.76		
嘱託	1,197	0.42	637	0.22	599	0.21	745	0.25		
合計コスト +	92,424		87,766		87,043		92,156		89,130	
前年度比	-		95.0%		99.2%		105.9%		-	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	高齢者介護手当等給付事業
-------	--------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取組み
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	介護保険
予算中事業名	家庭介護支援事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

介護サービスを利用していない重度の要介護者を家庭で介護している者及び家族の福祉の増進を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

重度の要介護者(要介護3~5の方)を家庭で介護している介護者に介護手当を支給するもの

1 対象者

65歳以上の要介護者(介護サービスを利用していない者)を、基準日(5月1日又は11月1日)または死亡において、1年間通算して180日以上または、前年の基準日から死亡日までの間に通算して90日以上180日未満在宅介護している者

2 支給額

年額 6万円

(死亡の場合、前年の基準日から死亡日までの間に通算して90日以上180日未満在宅介護している場合は3万円)

3 支給実績

令和元年度	要介護3	38人	2,250千円
	要介護4	13人	780千円
	要介護5	6人	360千円
	計	57人	3,390千円

4 根拠法令

地域支援事業実施要綱(厚労省)
松本市高齢者介護手当条例
松本市高齢者介護手当条例施行規則

< 現状に対する認識 >

令和元年度に、国の補助金の支給要綱が改正されたのを受け、制度の見直しを行い実施しています。

1 支給年額	10万円	6万円
(死亡の場合)	5万円	3万円

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	69,701		70,388		69,514		3,390		480	
国・県	40,775		41,177		40,665		1,950		270	
利用者負担金										
その他	15,334		15,485		15,294		770		110	
一般財源	13,592		13,726		13,555		670		100	
人件費(千円)	3,373	人工	4,439	人工	14,256	人工	258	人工		人工
正規	2,461	0.32	3,947	0.52	12,689	1.65	228	0.03		
嘱託	912	0.32	492	0.17	1,568	0.55	30	0.01		
合計コスト +	73,074		74,827		83,770		3,648		480	
前年度比	-		102.4%		112.0%		4.4%		-	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	認定調査事業
-------	--------

< 第10次基本計画の位置付け > < 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	介護保険
予算中事業名	認定調査費

< 事業の狙い >

事業計画年度

介護の必要な方や介護が必要となるおそれのある方が、要介護(要支援)認定を受けることにより、介護保険による在宅や施設の介護(予防)サービスを利用できるようになり、要介護(要支援)者の自立支援や介護者の負担軽減が図られる

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 事業の内容

認定調査員が自宅、病院、施設等を訪問して、要介護(要支援)者の心身の状況等を調査する。実施後、介護認定審査会での審査・判定を経て、要介護(要支援)認定を行ない、対象者に通知する。

2 実績

令和元年度 認定者数 9,711人

< 現状に対する認識 >

・高齢者人口の増加に伴い、引き続き同水準の申請件数が見込まれ、迅速かつ適切に要介護(要支援)認定を行ない、介護保険制度の安定運営を図る必要がある。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	認定申請から認定結果までの経過日数				
指標の設定理由	申請から認定まで速やかに行うことが安定したサービス利用につながる				
目標値	-	-	43.3(県平均)	43.3(前年度県平均)	44.2(前年度県平均)
実績値	-	-	43.2	44.2	
達成度	-	-	100.2%	98.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	92,096		87,434		95,287		83,973		93,860	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	92,096		87,434		95,287		83,973		93,860	
人件費(千円)	99,181	人工	85,025	人工	97,525	人工	112,412	人工		人工
正規	72,363	9.41	58,829	7.65	69,595	9.05	84,132	11.07		
嘱託	26,819	9.41	26,196	9.19	27,930	9.8	28,280	9.49		
合計コスト +	191,277		172,459		192,812		196,385		93,860	
前年度比	-		90.2%		111.8%		101.9%		-	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	介護保険給付
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	介護保険
予算中事業名	保険給付費(款)

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

< 事業の狙い >

事業計画年度

H12

介護保険制度に基づき、認定を受けた被保険者が利用する介護サービスへ保険給付を行うもの
介護保険料50%と公費(国・県・市)50%が財源

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

給付の対象となるサービス	
居宅(介護予防)サービス	地域密着型(介護予防)サービス
訪問介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護
訪問入浴介護	夜間対応型訪問介護
訪問看護	認知症対応型通所介護
訪問リハビリテーション	小規模多機能型居宅介護
居宅療養管理指導	地域密着型通所介護
通所介護	看護小規模多機能型居宅介護
通所リハビリテーション	認知症対応型共同生活介護
短期入所生活介護	地域密着型特定施設入居者生活介護
短期入所療養介護(老健)	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
短期入所療養介護(病院等)	施設サービス
福祉用具貸与	介護老人福祉施設
特定福祉用具購入費	介護老人保健施設
住宅改修費	介護療養型医療施設
介護予防支援・居宅介護支援	介護医療院
特定施設入所者生活介護	

< 現状に対する認識 >

高齢化社会の進展に比例して保険給付費が増大し、介護保険財政への圧迫が課題となっています。
介護給付へ至らないためにも、予防事業の充実が必要となっています。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	第7期介護保険事業計画に基づく計画値(単位:円)				
指標の設定理由	達成率が100%を超えると赤字となる				
目標値	20,412,660,000	20,429,970,000	20,085,570,000	20,665,690,000	21,299,310,000
実績値	19,494,883,669	19,574,891,581	19,644,862,422	20,071,398,141	
達成度	95.5%	95.8%	97.8%	97.1%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	19,494,883	19,574,891	19,644,862	20,071,398	21,299,310					
国・県・他	12,900,049	12,943,788	12,670,936	12,946,052	13,738,055					
利用者負担金										
その他(1号保険料)	4,158,083	4,184,725	4,518,318	4,616,422	4,898,841					
一般財源	2,436,750	2,446,378	2,455,608	2,508,925	2,662,414					
人件費(千円)	97,139	人工	107,770	人工	100,934	人工	101,845	人工		人工
正規	86,459	11.24	96,740	12.58	89,819	11.68	96,064	12.64		
嘱託	10,681	3.75	11,030	3.87	11,115	3.9	5,781	1.94		
合計コスト +	19,592,022	19,682,661	19,745,796	20,173,243	21,299,310					
前年度比	-	100.5%	100.3%	102.2%	-					

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	訪問型サービス事業
-------	-----------

< 第10次基本計画の位置付け > < 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	介護保険
予算中事業名	訪問型サービス事業

< 事業の狙い >

事業計画年度

住民等多様な主体が参画する市町村独自の多様なサービスを充実することで、地域の支え合い体制づくりを推進し、適切なサービスにより要支援者等に対する効果的な自立支援を可能とすることを旨とする。さらに、訪問型・通所型サービスのみを利用する場合は迅速なサービス利用も可能となった。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

現行の訪問型サービス(介護予防相当)に加えて、有資格者等による身体介護を伴わない緩和した基準によるサービス(訪問型サービスA)を実施
介護保険法によるもの

1 訪問型サービス指定状況	H29年度	H30年度	R元年度
・介護予防相当	56事業所	60事業所	65事業所
・サービスA	15事業所	23事業所	24事業所
2 訪問型サービス利用状況	H29年度	H30年度	R元年度
・介護予防相当	8,935人	8,805人	8,462人
・サービスA	437人	658人	585人

< 現状に対する認識 >

・平成28年度末から、地域支援事業へ移行した。
・サービス利用の希望があった方に対し、総合事業について十分な説明を行い、自立支援と予防的な視点で、地域活動をはじめとして効率的で適切なサービスが選択できるよう支援する。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	サービスA利用者数 延べ件数/年				
指標の設定理由	サービスの利用状況が直接的に分かるため				
目標値	80	450	460	470	480
実績値	67	437	658	585	
達成度	83.8%	97.1%	143.0%	124.5%	
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	79,395		168,167		167,487		161,609		170,530	
国・県	29,773		63,062		62,807		60,603		63,949	
利用者負担金										
その他	39,697		84,083		83,743		80,804		85,265	
一般財源	9,925		21,022		20,937		20,202		21,316	
人件費(千円)	12,373	人工	15,821	人工	14,644	人工	10,807	人工		人工
正規	10,920	1.42	13,534	1.76	12,535	1.63	10,032	1.32		
嘱託	1,454	0.51	2,287	0.80	2,109	0.74	775	0.26		
合計コスト +	91,768		183,988		182,131		172,416		170,530	
前年度比	-		200.5%		99.0%		94.7%		-	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	通所型サービス事業費
-------	------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	介護保険
予算中事業名	通所型サービス事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

住民等多様な主体が参画する市町村独自の多様なサービスを充実することで、地域の支え合い体制づくりを推進し、適切なサービスにより要支援者等に対する効果的な自立支援を可能とすることを旨とする。さらに、訪問型・通所型サービスのみを利用する場合は迅速なサービス利用も可能となった。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

現行の通所型サービス(介護予防相当)に加えて、人員等緩和した基準によるサービス(通所型サービスA)や6か月間の短期集中予防サービス(通所型サービスC)を実施
介護保険法によるもの

1 通所型サービス指定状況	H29年度	H30年度	R元年度
・介護予防相当	97事業所	99事業所	99事業所
・サービスA	12事業所	18事業所	18事業所
・サービスC	11事業所	9事業所	9事業所
2 通所型サービス利用状況	H29年度	H30年度	R元年度
・介護予防相当	20,460人	21,082人	20,610人
・サービスA	1,732人	2,161人	2,251人
・サービスC	100人	65人	50人

< 現状に対する認識 >

・平成28年度末から、地域支援事業へ移行した。
・サービス利用の希望があった方に対し、総合事業について十分な説明を行い、自立支援と予防的な視点で、地域活動をはじめとして効率的で適切なサービスが選択できるよう支援する。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	サービスA利用状況 述べ件数/年				
指標の設定理由	サービス利用状況が直接的に分かるため				
目標値	1,800	1,850	1,900	1,950	2,000
実績値	1,640	1,732	2,161	2,251	
達成度	91.1%	93.6%	113.7%	115.4%	
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	275,862	591,358	622,080	625,734	664,150					
国・県	103,448	221,759	233,280	234,650	249,056					
利用者負担金										
その他	137,931	295,679	311,040	312,867	332,075					
一般財源	34,483	73,920	77,760	78,217	83,019					
人件費(千円)	43,196	人工	55,715	人工	54,439	人工	41,800	人工		人工
正規	38,066	4.95	47,678	6.20	46,601	6.06	38,760	5.1		
嘱託	5,130	1.80	8,037	2.82	7,838	2.75	3,040	1.02		
合計コスト +	319,058	647,073	676,519	667,534	664,150					
前年度比	-	202.8%	104.6%	98.7%	-					

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	介護予防ケアマネジメント事業費
-------	-----------------

< 予算上の位置付け >

会計名	介護保険
予算中事業名	介護予防ケアマネジメント事業費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

高齢者が生きがいを持ち、自立して生活できることを支援するケアプランを作成する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

介護予防ケアマネジメントとは、被保険者が受けるサービスの種別によって、ケアマネジメントA、ケアマネジメントB、介護予防プランに分けられる。ケアマネジメントAおよびBは、平成28年度からの「介護予防・日常生活支援総合事業」から、新たに始まったサービス(訪問型・通所型)を含んだケアマネジメントである。このケアマネジメント数の推移は、ケアマネジャーが、高齢者の自立支援の観点に立ち、多様なサービスから選択をしているかどうかの指標となると考える。

(介護保険法による)

1 介護予防ケアマネジメント	H30年度	R元年度
・ケアマネジメントA(原則的マネジメント)	14,727件	11,515件
・ケアマネジメントB(簡略型)	1,166件	959件

< 現状に対する認識 >

介護予防ケアマネジメントAおよびBは減少傾向にある。その背景には、地域の「通いの場」や「生活支援サービス」等の増加に伴い、高齢者の利用が進んだことがあると考えられる。今後も、高齢者の自立支援に重点をおき、ケアマネジメントの質を高める研修や個別ケア会議、また、地域の活動をケアマネジャーに充分周知することが、必要であると考えられる。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	ケアマネジメントB 作成件数/年				
指標の設定理由	多様なサービスの利用状況が反映されるため				
目標値	1,500	1,500	1,500	1,200	1,200
実績値	1,350	1,192	1,166	959	
達成度	90.0%	79.5%	77.7%	79.9%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	38,077	64,564	61,580	64,212	67,330
国・県	14,278	24,211	23,092	24,079	25,249
利用者負担金					
その他	19,038	32,283	30,790	32,106	33,665
一般財源	4,761	8,070	7,698	8,027	8,416
人件費(千円)	5,942	6,007	5,384	4,250	
正規	5,229	5,152	4,614	3,952	
嘱託	713	855	770	298	
人工	0.68	0.67	0.6	0.52	
人工	0.25	0.30	0.27	0.1	
合計コスト +	44,019	70,571	66,964	68,462	67,330
前年度比	-	160.3%	94.9%	102.2%	-

事務事業評価票

事務事業名	介護予防普及啓発事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	介護保険
予算中事業名	介護予防普及啓発事業

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

介護予防への関心を高めるため、身近な地域で講座の開催やパンフレットの配布等により、市民に介護予防に関する知識や情報を提供する。
(介護保険法に定められた介護予防・日常生活支援総合事業一般介護予防事業)

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 介護予防講座の開催
地区介護予防講座
地区の実情に合わせ計画し、運動機能向上・口腔機能改善等、介護予防に関わる集団講話・集団実技
ア 介護予防講座 47回
医療機関や介護保険事業所の無料出前講座の活用や、リハビリテーション専門職を講師として依頼。
昨年度までのひざ痛予防教室は終了し、別会計の事業へ転換済み
イ 地域包括支援センターによる通いの場への参加・活動支援 1,244回
介護予防講座開催マニュアルの作成(地域包括支援センターへ配布)
- 高齢者の元気応援プロジェクト推進事業
一般介護予防事業に積極的に取組む事業所(団体)に認定証を発行するとともに、自主的な介護予防活動へ参加する市民を把握するもの
登録団体数 2
延参加者数 296人
- 「高齢者福祉のしおり」等の作成
(1) 高齢者福祉のしおりを作成し、介護保険制度、相談窓口、介護予防等について出前講座や窓口での周知
(2) 平成30年度健康自立度調査結果報告と、フレイル予防啓発チラシの作成と配布

< 現状に対する認識 >

住民が主体的に介護予防に取組めるように医療専門職(リハビリテーション専門職等)や地域包括支援センターが継続的に支援する方法を検討する必要がある。令和元年度から配置された地区生活支援員(第2層生活支援コーディネーター)の活動を通じ、町会サロン等の身近な場所での集りを活用し、介護予防に取組む体制を強化する。また、出前講座等の様々な機会を通じて、本市の高齢者福祉、介護保険制度の仕組み、介護予防について周知し、要介護状態になる前から相談先や制度への理解を促していく。

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	安定した暮らしを続けられるまち	市長公約	主な取り組み	市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
			松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	介護予防講座開催数(回)				
指標の設定理由	介護予防に関する知識の普及ができた回数				
目標値	118	118	83	35	35
実績値	158	113	201	47	
達成度	133.9%	95.8%	242.2%	134.3%	-
成果指標(指標名)	介護予防講座参加者数(人)				
指標の設定理由	介護予防に関する知識の普及ができた人数				
目標値	3,410	2,470	2,620		
実績値	3,113	2,205	4,788		
達成度	91.3%	89.3%	182.7%	-	-

目標値

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	2,366	1,994	1,384	482	1,020					
国・県	887	747	519	180	382					
利用者負担金										
その他	1,183	997	692	241	510					
一般財源	296	250	173	61	128					
人件費(千円)	20,850	人工	13,516	人工	77	人工	30	人工		人工
正規	19,225	2.5	11,233	1.48	77	0.01	30	0.004		
嘱託	1,625	0.57	2,283	0.79	0	0	0	0		
合計コスト +	23,216		15,510		1,461		512		1,020	
前年度比	-		66.8%		9.4%		35.1%		-	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	地域介護予防活動支援事業
-------	--------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	市長公約	主な取組み	地域ケア体制の整備で医療・介護不安の解消
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
			松本版総合戦略		

< 予算上の位置付け >

会計名	介護保険
予算中事業名	地域介護予防活動支援事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

住民主体の通いの場等の活動を地域の实情に応じて効果的かつ効率的に支援し、誰でも一緒に参加できる介護予防活動の地域展開を目指す。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

住民主体の介護予防活動に携わるボランティア等の、担い手の人材を育成するための講座を開催

1 送迎ボランティア立ち上げ研修

回数 2回

参加者 131名

内容 送迎ボランティア立ち上げする際に必要な法律の知識および事例発表

地区別人材育成講座の開催

開催地区 里山辺・中央・中山の3地区

参加者数 46名

内容 住民の助け合いを進めるために、傾聴を通じた助け合い等

< 現状に対する認識 >

平成28年度から実施していた高齢者サポーター養成講座は、3年間で終了した。令和元年度より、応募人数の減や地域の方から、第2層の生活支援コーディネーターの配置地区を中心とした、より身近な地区での人材育成講座や活動項目ごとの開催を行っている。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	高齢者サポーター養成講座修了者数(人)				
指標の設定理由	地域の支え手となる新たな高齢者サポーターの数を把握できるため				
目標値	90	90	50	50	50
実績値	87	93	30	0	
達成度	96.7%	103.3%	60.0%	0.0%	-
成果指標(指標名)	人材育成講座修了生数				
指標の設定理由	第7期の介護保険計画の目標値に対する指標				
目標値	50	50	50	50	50
実績値	87	93	30	177	
達成度	174.0%	186.0%	60.0%	354.0%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	32	33	66	89	190					
国・県	12	12	25	33	71					
利用者負担金										
その他	16	16	33	44	95					
一般財源	4	5	8	12	24					
人件費(千円)	5	人工	2	人工	5	人工	8	人工		人工
正規	5	0.0006	2	0.0003	5	0.0006	8	0.001		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計コスト +	37	35	71	97	190					
前年度比	-	96.4%	200.0%	136.8%	-					

事務事業評価票

事務事業名	総合相談事業
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	介護保険
予算中事業名	総合相談事業費

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
主な取組み		地域ケア体制の整備で医療・介護不安の解消
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
松本版総合戦略		

< 事業の狙い >

事業計画年度

地域の高齢者等の困りごとの相談に応じ、どのような支援が必要か把握し、関係機関及び制度の利用に繋ぐ等、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう支援を行う。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 地域包括支援センターの概要
高齢者等に関する様々な困りごとなどの身近な相談窓口として、保健・医療・福祉の専門職が相談を受け、必要なサービスにつなげる等 住み慣れた地域で健やかに安心した生活を続けられるように、高齢者等と家族の支援を行うもの。
松本市には12の地域包括支援センターがあり、全てのセンター運営を民間に委託。
- 地域包括支援センター介護予防支援事業(総合相談事業委託料)
相談件数 27,256件(前年度26,816件) 対前年比 101.6%
- 地域包括支援センター・地域密着型サービス運営協議会の運営
地域包括支援センターの活動実績・事業評価の報告
地域包括支援センターの運営方針・事業計画等の協議
地域密着型サービス事業予定者の審査
中央北地域包括支援センター運営事業予定者の審査
地域包括支援センターの取組状況の報告等

< 現状に対する認識 >

令和元年度から中央地域包括支援センターを委託化し、市は基幹包括支援センターとして、12カ所の地域包括支援センターへの支援体制をとっている。
今後も、困難事例や庁内関係課との調整など、基幹と各センターとの連携を図りながら、地域に住む高齢者等の困りごとなどの相談の場として更に充実するよう努める。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	地域包括支援センターへの相談件数				
指標の設定理由	地域包括支援センターは、高齢者の身近な相談窓口のため				
目標値	18,000	19,500	22,000	22,000	22,000
実績値	18,580	22,002	26,816	27,256	
達成度	103.2%	112.8%	121.9%	123.9%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	75,482		71,400		79,987		72,009		75,280	
国・県	44,156		41,769		46,193		41,585		43,474	
利用者負担金										
その他	16,606		15,708		18,397		16,562		17,314	
一般財源	14,720		13,923		15,397		13,862		14,492	
人件費(千円)	11,778	人工	6,661	人工	6,996	人工	8,758	人工		人工
正規	10,382	1.35	5,691	0.74	5,998	0.78	8,132	1.07		
嘱託	1,397	0.49	971	0.34	998	0.35	626	0.21		
合計コスト +	87,260		78,061		86,983		80,767		75,280	
前年度比	-		89.5%		111.4%		92.9%		-	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	権利擁護事業
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	介護保険
予算中事業名	権利擁護事業費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取り組み
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標
			松本版総合戦略

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

< 事業の狙い >	事業計画年度	30~
高齢者への虐待防止や認知症高齢等への成年後見制度の活用・支援等を進め、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活ができるようにする。		

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 高齢者・障害者虐待防止ネットワーク協議会の運営

概要
虐待防止のための周知・啓発や、関係者間の連携協力体制の強化を図る。

今年度活動内容

 - ア 協議会の開催(2回)
 - イ 事例検討
 - ウ 街頭周知啓発活動
 - エ 市民啓発講演会(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)
- 成年後見センターとの連携(2市5村による運営費補助)

高齢者等の権利擁護のため、成年後見制度の啓発活動や相談・手続き等の支援

相談件数 781件(H30年度750件)
支援回数12,337回(H30年度11,802回)
- 成年後見制度利用促進に関する関係市村及び社会福祉協議会との打合せ会議の開催

< 現状に対する認識 >

成年後見制度の必要性は高まる一方、本人の資力がなく、弁護士等へ依頼することができないため、法人後見制度を利用する案件も増加する傾向にあることから、今後は市民後見人養成等、受任の体制整備を充実させることが必要。
また、成年後見制度利用促進のため、中核機関の設置等関係市村と引き続き検討を行う必要がある。

< 指標の達成状況 >	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	法人後見受任件数				
指標の設定理由	成年後見制度の利用拡大を図る直接的な数値のため				
目標値	76	75	75	75	75
実績値	76	75	75	87	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	116.0%	-
成果指標(指標名)	市民後見人受任件数(単独受任)				
指標の設定理由	成年後見制度の利用拡大を図る直接的な数値のため				
目標値	2	4	6	8	10
実績値	1	3	7	7	
達成度	50.0%	75.0%	116.7%	87.5%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	14,238	17,513	16,250	77,833	81,550					
国・県	79	81	99	35,166	34,771					
利用者負担金										
その他	29	30	39	14,005	13,848					
一般財源	14,130	17,402	16,112	28,662	32,931					
人件費(千円)	2,256	人工	1,598	人工	1,353	人工	5,175	人工		人工
正規	1,999	0.26	1,366	0.18	1,154	0.15	4,788	0.63		
嘱託	257	0.09	232	0.08	200	0.07	387	0.13		
合計コスト +	16,494		19,111		17,603		83,008			81,550
前年度比	-		115.9%		92.1%		471.6%			-

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	地域包括ケアシステム構築事業
-------	----------------

< 予算上の位置付け >

会計名	介護保険
予算中事業名	地域包括ケアシステム構築事業費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
主な取組み		地域ケア体制の整備で医療・介護不安の解消
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
松本版総合戦略		成熟型社会の都市基盤づくり

< 事業の狙い >

事業計画年度

高齢者が住み慣れた住まいや地域で、尊厳のある生活を可能な限り継続できるように、「医療・介護」と、「生活支援・介護予防」の連携により実現を目指す。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 地域ケア会議等の開催
開催地区数: 32地区 開催回数: 71回 (地区 38回・個別 33回)
- 地域包括ケア協議会等の開催
松本市地域包括ケア協議会 1回 (他1回は新型コロナのため書面決裁)
在宅医療・介護連携委員会 2回 (連携推進事業の検討等)
生活支援体制整備委員会 2回 (生活支援コーディネーター設置等)
庁内推進会議及び幹事会 2回 (庁内推進会議 0回・幹事会 2回)
- 在宅医療・介護連携の実践に向けた多職種連携等
全市レベルの多職種連携研修会
開催回数 1回 参加者数 128人
12地域包括支援センターごとの多職種連携研修会 計 43回
入退院連携ルール・松本市版リビングウィル(事前指示書)の運用
入退院連携ルール運用状況調査の実施(市82.1%・圏域82.4%)
- 市民への周知
市民啓発講演会
開催回数 1回 参加者数 320人
地域包括ケア取り組み事例の周知
地域ケア会議後に、取り組みがすすんだ地区の活動をまとめた事例集(vol.4)を作成、関係職員や民生・児童委員、市民等へ周知
(3) 医療・介護資源マップの公表 市ホームページへ掲載中
- 介護と医療の連携支援室へ医療コーディネーターを配置(医師会へ委託)

< 現状に対する認識 >

令和元年度、地区支援員(第2層生活支援コーディネーター)が7地区に配置され、地域づくり部が地域包括ケア協議会の事務局に加わった。また、三師会や介護事業者も参加する地域ケア会議、多職種連携研修会等を通じて、地域と医療・介護関係者の連携や意見交換の場が来ている。今後、入退院連携ルールや多職種シート等情報共有ツールの更なる普及啓発が必要。情報共有ツールの活用により、切れ目のない医療介護の連携推進が期待される。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	地域ケア会議の開催回数(回)				
指標の設定理由	地域包括ケアシステムを構築するうえで一つの手法であるため				
目標値	50	60	70	70	70
実績値	48	74	117	71	
達成度	96.0%	123.3%	167.1%	101.4%	-
成果指標(指標名)	入退院連携ルールの活用状況(%)				
指標の設定理由	入院医療機関と居宅介護支援事業所等との連携状況を確認できるため				
目標値	未実施	未実施	80	85	90
実績値			83.6	82.1	
達成度	-	-	104.5%	96.6%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	5,058	5,056	4,986	4,938	5,850					
国・県	2,958	2,957	2,879	2,851	3,378					
利用者負担金										
その他	1,112	1,112	1,146	1,135	1,345					
一般財源	988	987	961	952	1,127					
人件費(千円)	778	人工	476	人工	365	人工	334	人工		人工
正規	692	0.09	408	0.05	308	0.04	304	0.04		
嘱託	86	0.03	69	0.02	57	0.02	30	0.01		
合計コスト +	5,836		5,532		5,351		5,272			5,850
前年度比	-		94.8%		96.7%		98.5%			-

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	包括的・継続的ケアマネジメント事業
-------	-------------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取組み		地域ケア体制の整備で医療・介護不安の解消
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
			松本版総合戦略		成熟型社会の都市基盤づくり

< 予算上の位置付け >

会計名	介護保険
予算中事業名	包括的・継続的ケアマネジメント事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

高齢者が住み慣れた地域で安心した生活を継続できるよう、高齢者の変化に応じたケアマネジメント(介護保険サービスを利用するためケアプラン作成等)を行うため、ケアマネジャーとの相互の連携をはかる。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

包括的・継続的ケアマネジメント支援事業(介護保険法)

1 地域包括支援センター介護予防ケアマネジメント実施状況
 介護予防サービス計画 27,448人
 ケアマネジメントA 13,515人
 ケアマネジメントB 959人

2 地域ケア会議等開催
 地域包括ケアシステムを構築・推進するためのひとつの手段として、個別課題や地域課題等を検討する地域ケア会議を開催するもの
 地域ケア会議(30地区 38回開催)
 ア ケアマネジャーの参加回数 21回(欠席により不参加を除く)
 イ ケアマネジャー延べ参加者数 74人
 個別地域ケア会議(16地区 33回開催)
 ア ケアマネジャーの参加回数 22回(欠席により不参加を除く)
 イ ケアマネジャー延べ参加者数 27人

3 ケアマネジャー勉強会の開催
 開催回数 8回 参加者数 1,353人

身の周りの動作(ADL)は自立しているが、買物や調理などの生活行為の一部が行いにくくなっている(IADL)人の、生活援助を行うためのマネジメントが適正に行えるよう、継続してケアマネの資質の向上を図る取組みが必要

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	ケアマネジャー勉強会への事業所参加率				
指標の設定理由	適切なケアマネジメントを実施するためケアマネジャーへの研修を実施する(事業所数)%				
目標値	76	75	75	75	76
実績値	68	69	70	71	
達成度	89.5%	92.0%	93.3%	94.7%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	60,543		61,688		110,179		71,551		72,420	
国・県	35,417		36,087		63,628		41,320		41,822	
利用者負担金										
その他	13,319		13,571		25,342		16,456		16,656	
一般財源	11,807		12,030		21,209		13,775		13,942	
人件費(千円)	9,494	人工	5,760	人工	9,596	人工	4,766	人工	0	人工
正規	8,382	1.09	4,922	0.64	8,228	1.07	4,408	0.58	0	0
嘱託	1,112	0.39	839	0.29	1,368	0.48	358	0.12	0	0
合計コスト +	70,037		67,448		119,775		76,317		72,420	
前年度比	-		96.3%		177.6%		63.7%		94.9%	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	介護給付費等費用適正化事業
-------	---------------

< 予算上の位置付け >

会計名	介護保険
予算中事業名	介護給付費等費用適正化事業費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

< 事業の狙い > **事業計画年度**

介護保険事業を持続可能なものとするため、利用者に対する適正な介護サービスを確保し、適正な介護給付を行う。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- ケアプランの点検
居宅介護支援事業所等への訪問や、介護支援専門員と保健福祉関係課職員等が出席する検討会の開催により、介護支援専門員が作成したケアプランの点検を行う。
(訪問による点検: 45件 ケアプラン検討会による点検: 18件)
- 介護給付算定相談票による介護給付算定内容の確認
居宅介護支援事業所の介護支援専門員から、原則は算定不可となっている給付費の算定について、介護給付算定相談票の提出を受け、適切な介護給付であるかを確認する。
(確認件数: 75件)
- 介護保険派遣相談員の派遣
公募によって委嘱した8名の介護保険派遣相談員を介護保険事業所に派遣する。利用者への相談活動を行い、事業所のサービス等に対する不平や不満などを聞き取り、事業者及び保険者に橋渡することで、それらが苦情となることを未然に防ぎ、介護サービスの質の向上を図る。
(派遣回数: 1,380件)

< 現状に対する認識 >

介護保険給付の適正化に一定の効果を発揮しているものと考えながら、より効果的、効率的に事業を実施するため、介護支援専門員向けのケアプラン作成研修の実施について検討したり、介護保険派遣相談員の派遣先事業所の拡大に取り組み等実施方法、内容について見直しを図っていく。

< 指標の達成状況 >

		総合評価		A	
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	適正な請求がされた介護保険の保険給付				
指標の設定理由	事業者がルールに従って適正に請求することが制度の信頼性を高めるため				
目標値	100%	100%	100%	100%	100%
実績値	100%	100%	100%	100%	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
事業費(千円)	4,766	4,530	5,704	5,030	6,720			
国・県	2,788	2,650	3,294	2,904	3,881			
利用者負担金								
その他	1,049	997	1,311	1,156	1,546			
一般財源	929	883	1,099	970	1,294			
人件費(千円)	22	人工 15	人工 23	人工 76	人工			
正規	22	0.0028	15	0.002	23	0.003	76	0.01
嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0
合計コスト +	4,788	4,545	5,727	5,106	6,720			
前年度比	-	94.9%	126.0%	89.2%	-			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	訪問給食サービス事業
-------	------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	介護保険
予算中事業名	訪問給食サービス事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H2 ~

高齢者等に訪問により給食サービスを提供し、食や栄養の確保による健康維持や疾病予防を図るとともに、配食の際に安否確認を行い、ひとり暮らし高齢者の孤独感の解消に努める。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 対象者
市内に居住する、おおむね65歳以上の高齢者、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者のみで構成される世帯に属するもの。
- サービス内容
旧松本市、奈川地区、波田地区 週2回を上限に配食
四賀地区、安曇地区、梓川地区 週6回を上限に配食
- 利用料
1食当り 400円
- 元年度実績
利用者数 延べ 3,397人 配食数延べ 28,498食
- 根拠条例
松本市高齢者等訪問給食サービス事業実施要綱

< 現状に対する認識 >

在宅で、健康に安心して暮らすための事業として機能している。サービスの改善点を探るため、令和2年度利用者アンケートを実施予定。また、8期計画を見据え、見守り体制の強化として、食数の変更を検討。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	年間利用食数(前年度、当年度実績の増減比等より算出)				
指標の設定理由	食の確保及び見守り体制の強化				
目標値	31,361	32,100	32,100	32,000	30,000
実績値	32,129	30,603	31,256	28,498	
達成度	102.4%	95.3%	97.4%	89.1%	0.0%
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	23,731		22,805		23,605		23,117		26,860	
国・県	7,117		6,896		7,133		6,767		7,870	
利用者負担金	11,566		11,017		11,252		11,399		13,200	
その他	2,676		2,594		2,843		2,696		3,140	
一般財源	2,372		2,298		2,377		2,255		2,650	
人件費(千円)	1,159	人工	1,487	人工	1,555	人工	1,805	人工		人工
正規	846	0.11	1,344	0.17	1,384	0.18	1,596	0.21		
嘱託	314	0.11	143	0.05	171	0.06	209	0.07		
合計コスト +	24,890		24,292		25,160		24,922		26,860	
前年度比	-		97.6%		103.6%		99.1%		-	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	家庭介護用品支給事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	介護保険
予算中事業名	家庭介護支援事業費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

< 事業の狙い >

事業計画年度

高齢者の自立支援や介護者の介護負担軽減を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

家庭介護用品支給事業 住民税非課税世帯で要介護4・5の高齢者を在宅介護している介護者に 対し、紙おむつ等の購入費用を助成するもの (～令和元年度) 年間50,000円が上限 (令和2年度～) 年間48,000円が上限
--

< 現状に対する認識 >

・事業に対する需要があり、引き続き事業を継続して高齢者の自立支援や介護負担軽減に寄与する。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	家庭介護用品支給事業延べ利用者数(人)				
指標の設定理由	在宅介護支援の指標となるため				
目標値	225	246	254	251	250
実績値	248	252	279	277	
達成度	110.2%	102.4%	109.8%	110.4%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	10,965		10,442		10,715		10,589		10,030	
国・県	6,415		6,109		6,188		6,115		5,792	
利用者負担金	0		0		0		0		0	
その他	2,412		2,297		2,464		2,435		2,307	
一般財源	2,138		2,036		2,063		2,038		1,931	
人件費(千円)	10,562	人工	8,915	人工	10,909	人工	9,528	人工		人工
正規	7,706	1.00	6,161	0.80	7,787	1.01	7,144	0.94		
嘱託	2,856	1.00	2,754	0.97	3,122	1.10	2,384	0.8		
合計コスト +	21,527		19,357		21,624		20,117		10,030	
前年度比	-		89.9%		111.7%		93.0%		-	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名 軽度生活援助事業

< 予算上の位置付け >

会計名	介護保険
予算中事業名	家庭介護支援事業費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取り組み
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標
			松本版総合戦略

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

< 事業の狙い >

事業計画年度

高齢者の自立支援や介護者の介護負担軽減を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

軽度生活援助事業
草取りなどの軽度な生活支援を必要とする高齢者世帯へ、無料で生活援助員を派遣するもの(月1回 1時間以内)
・委託先 松本地域シルバー人材センター、松本市社会福祉協議会

< 現状に対する認識 >

・事業に対する需要があり、引き続き事業を継続して高齢者の自立支援や介護負担軽減に寄与する。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	軽度生活援助事業延べ利用者数(人)				
指標の設定理由	在宅介護支援の指標となるため				
目標値	2,230	2,344	2,103	1,884	1,668
実績値	1,868	1,658	1,574	1,459	
達成度	83.8%	70.7%	74.8%	77.4%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	1,761		1,576		1,550		1,476		1,780	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,761		1,576		1,550		1,476		1,780	
人件費(千円)	1,696	人工	1,363	人工	1,313	人工	1,240	人工		人工
正規	1,238	0.16	930	0.12	896	0.12	912	0.12		
嘱託	459	0.16	433	0.15	417	0.15	328	0.11		
合計コスト +	3,457		2,939		2,863		2,716		1,780	
前年度比	-		85.0%		97.4%		94.9%		-	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	徘徊高齢者家族支援サービス事業
-------	-----------------

< 予算上の位置付け >

会計名	介護保険
予算中事業名	家庭介護支援事業費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	市長公約	主な取り組み
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

< 事業の狙い >

事業計画年度

高齢者の自立支援や介護者の介護負担軽減を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

徘徊高齢者家族支援サービス事業
徘徊のおそれがある高齢者のいる世帯に徘徊検索端末機を貸与して、行方不明になった場合に位置情報を提供して早期発見に役立てるもの
(利用料:月額500円 住民税非課税世帯は月額150円)

< 現状に対する認識 >

・事業に対する需要があり、引き続き事業を継続して高齢者の自立支援や介護負担軽減に寄与する。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	徘徊高齢者家族支援サービス事業利用者数(人)				
指標の設定理由	在宅介護支援の指標となるため				
目標値	24	19	19	15	17
実績値	17	17	15	19	
達成度	70.8%	89.5%	78.9%	126.7%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	623	625	645	725	730					
国・県	338	344	347	396	398					
利用者負担金	46	37	45	40	40					
その他	127	129	138	158	159					
一般財源	113	115	116	132	133					
人件費(千円)	60	人工	534	人工	738	人工	605	人工		人工
正規	44	0.01	369	0.05	527	0.07	456	0.06		
嘱託	16	0.01	165	0.06	211	0.07	149	0.05		
合計コスト +	683	1,159	1,383	1,330	730					
前年度比	-	169.6%	119.4%	96.2%	-					

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	成年後見制度利用支援事業
-------	--------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	介護保険
予算中事業名	成年後見制度利用支援事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

親族等による法定後見開始審判の請求が期待できない高齢者について、市が申立てを行ない権利擁護を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 対象者
身寄りのない認知症の高齢者等
- 事業内容
審判申立費用負担(裁判所手数料)
後見人に対する報酬支払の補助

< 現状に対する認識 >

・老人福祉法に基づく制度であり、引き続き事業を実施して福祉の増進に寄与する。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	成年後見制度利用支援事業利用者数(人)				
指標の設定理由	権利擁護の指標となるため				
目標値	15	18	20	23	25
実績値	14	12	19	13	
達成度	93.3%	66.7%	95.0%	56.5%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	83	60	90	250	620
国・県	6	17	13	352	352
利用者負担金	73	30	67	10	10
その他	2	7	5	140	140
一般財源	2	6	4	117	117
人件費(千円)	105	人工 31	人工 62	人工 212	人工
正規	77	0.01 31	0.004 62	0.008 152	0.02
嘱託	29	0.01 0	0 0	60 0.02	
合計コスト +	188	91	152	462	620
前年度比	-	48.2%	166.9%	304.6%	-

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	認知症地域支援推進事業
-------	-------------

<予算上の位置付け>

会計名	介護保険
予算中事業名	認知症地域支援推進事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
主な取組み			〇地域ケア体制の整備で医療・介護不安の解消
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
松本版総合戦略			

<事業の狙い>

事業計画年度

国の定める「認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)」及び「認知症施策推進大綱」に基づき、認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて、本市の認知症施策の具体的な取組みを行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 松本市認知症施策推進協議会(年2回)
- 2 認知症初期集中支援チーム
開催回数:10回 新規対象者:10人 訪問対象者:13人(前年度3人含む)
ケース終了者:11人 訪問回数:177回
- 3 認知症思いやり相談
開催回数:5回 相談件数18件 相談者数30人
- 4 認知症サポーター養成講座
開催回数:122回 養成人数:4,007人 延べ人数:26,232人
- 5 周知・啓発活動
 - (1) 認知症研修会(認知症施策推進大綱をふまえて)
開催日:1月29日 参加者数:200人
 - (2) 各包括支援センターもの忘れ相談会
開催回数:155回 相談者数:93人
 - (3) 認知症思いやりパスブック(認知症ケアパス)
 - (4) 思いやりあんしんカルテ
登録件数129件(累計146件 うち死亡等17件) 活用件数5件
- 6 認知症地域支援推進員の育成及び配置(15人)
- 7 各包括キャラバン・メイト交流会(全包括で実施)
- 8 キャラバン・メイト全体研修・交流会開催(8月28日 57人参加)

<現状に対する認識>

認知症初期集中支援チームには、独居で、サービス導入が得られにくいケースや身の協力が得られにくい困難ケース、さまざまな病気が絡みあって認知症の周辺症状を増悪させているケース等が相談として上がるため、必要に応じてチーム医の同行訪問や外部チーム員を多職種に広げ、体制の強化を図りたい。また、市民への周知・啓発については、若年層や企業、小規模な単位での認知症サポーター養成講座の実施や、専門職や地域とのネットワーク化のため、地域包括支援センター等小規模単位で企画し、大綱に定められたチームオレンジの設置に向けて検討を行う。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	認知症サポーター養成講座受講者数(延数 人)				
指標の設定理由	市民の理解の向上と、支え手を増やしていくため				
目標値	18,000	20,000	22,500	25,000	27,500
実績値	16,031	19,909	22,225	26,232	
達成度	89.1%	99.5%	98.8%	104.9%	
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	613		1,490		1,387		1,041		1,560	
国・県	358		871		801		601		900	
利用者負担金	0		0		0		0			
その他	134		327		319		239		358	
一般財源	121		292		267		201		302	
② 人件費(千円)	85	人工	77	人工	77	人工	334	人工	0	人工
正規	85	0.011	77	0.01	77	0.01	304	0.04	0	0
嘱託	0	0	0	0	0	0	30	0.01	0	0
合計コスト①+②	698		1,567		1,464		1,375		1,560	
前年度比	—		224.6%		93.4%		93.9%		—	

事務事業評価票

事務事業名	生活支援体制整備事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	介護保険
予算中事業名	生活支援体制整備事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度	R1 ~
--------	------

介護保険法で配置が義務付けられている、第1層・第2層の生活支援コーディネーターを配置することで、地域の助け合いの活動の促進や高齢者の自立支援体制の構築を目指す。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

平成30年に第1層の生活支援コーディネーターを地域包括支援センターに、令和元年より第2層の生活支援コーディネーターを地域づくりセンターへ配置を進めている。
 1層と2層が連携をし、地域の通いの場や、ゴミ出し、買い物支援など身近なサービスの立ち上げ支援を行う。

(介護保険法)
 1 第2層生活支援コーディネーターの配置
 令和元年度 7地区
 令和2年度 9地区 合計16地区

2 通いの場の数
 地域の高齢者の介護予防や閉じこもりの防止のため、通いの場づくりに取り組むもの
 令和元年度 サロン 200町会 (月1回以上は117町会)
 いぎいき百歳体操 34カ所 (週1回)
 ひろば事業 36カ所
 合計 270カ所

< 現状に対する認識 >

第2層生活支援コーディネーターが配置されたことで、通いの場の把握、立ち上げ支援等が進んだ。今後も地区における住民や民間などの取り組みを支援し、高齢者が担い手としても参加できるよう、活動を広げていきたい。

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
主な取り組み		地域ケア体制の整備で医療・介護不安の解消
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	第2層生活支援コーディネーターの配置数				
指標の設定理由					
目標値				5	8
実績値				7	
達成度				140%	-
成果指標(指標名)	通いの場の数(目標値:世帯数51以上の全町会数)				
指標の設定理由	生活支援コーディネーターが立ち上げ支援を行っているため				
目標値				380	380
実績値				270	
達成度				71.1%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)				83,245	120,050
国・県				48,074	69,328
利用者負担金				0	0
その他				19,146	27,611
一般財源				16,025	23,111
人件費(千円)		人工	人工	人工	人工
正規				5,168	0.68
嘱託				417	0.14
合計コスト +				88,830	120,050
前年度比				-	-

事務事業評価票

事務事業名	地域リハビリテーション活動支援事業費
-------	--------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	介護保険
予算中事業名	地域リハビリテーション活動支援事業費

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
主な取組み			地域ケア体制の整備で医療・介護不安の解消
5つの重点目標		1	健康ときずなづくり
松本版総合戦略			

< 事業の狙い >

事業計画年度 H28 ~

地域における介護予防の取組みを機能強化するため、通所系サービス、訪問系サービス、地域ケア会議、サービス担当者会議、住民主体の通いの場等へリハビリテーション専門職の関与を促進するもの。
(介護保険法に定められた介護予防・日常生活支援総合事業一般介護予防事業)

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 介護予防・生活支援サービス事業所研修会の開催
介護職員等への自立支援・重度化防止に関する指導、職員の健康管理、離職防止等を目的に平成29年度から開催しているもの
対象事業所の種類 通所型サービス
開催回数と参加者 1コース3回・延141人
リハ職の指導等 理学療法士・作業療法士 10人
- 自立支援型個別ケア会議の開催
地域包括ケア協議会、地区ごとの地域ケア会議の他、今年度から自立支援型個別ケア会議を新設し、リハ職等が専門的な視点で助言を行う。
回数 6回
リハ職等の助言 理学療法士・作業療法士 12人
歯科衛生士・管理栄養士 11人
薬剤師 6人
- 地域ケア会議等へのリハ職の参加
地域包括ケア協議会(全市レベルの地域ケア推進会議)、地域ケア会議等へ理学療法士・作業療法士が参加
- 住民主体の通いの場や地区介護予防講座等へリハ職が出向き、指導、助言、実技指導等を実施(地域包括支援センターの職員等が仲介)
- リハ職との懇談会の実施
理学療法士・作業療法士等との懇談を1回実施

< 現状に対する認識 >

介護予防・重度化防止の観点を、ケアプラン作成側とサービス提供側で、研修会や自立支援型個別ケア会議等で共有していく仕組みが徐々にできている。
今後は、高齢者本人が自らが介護予防の必要性を理解し、地域の住民主体の通いの場において、専門職の関与のもと継続的に介護予防ができる体制づくりが必要である。そのための事業展開と、リハビリテーション専門職等が地域へ出やすい環境づくりを検討すると共に、新たな評価指標を設定する必要がある。

< 指標の達成状況 >

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	サービス事業所研修会の開催回数(回)				
指標の設定理由	サービス提供者に対し、介護予防・重度化防止について共通理解の促進				
目標値		3	3	3	3
実績値		3	3	3	
達成度	#DIV/0!	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)		40	22	34	50
国・県		15	8	12	18
利用者負担金					
その他		20	11	17	25
一般財源		5	3	5	7
人件費(千円)		人工	人工	人工	人工
正規		1	0.0001	2	0.0002
嘱託		0	0	0	0
合計コスト +	0	41	24	57	50
前年度比	-	-	57.7%	241.6%	-

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	介護認定審査会共同設置負担金
-------	----------------

< 予算上の位置付け >

会計名	介護保険
予算中事業名	介護認定審査会共同設置負担金

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

各種介護保険サービスを利用するために必要な、要介護・要支援認定について、審査判定業務を、保険者からの委託を受けた松本広域連合が実施しています。
構成市村からの負担金を運営の財源としています。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

松本広域連合規約による均等割り及び実績割り(前々年度審査件数割合)により定められた金額を負担金として支出します。

< 現状に対する認識 >

適正かつ公平な介護認定を行うために必要

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	48,193		43,361		39,122		38,248		46,870	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	48,193		43,361		39,122		38,248		46,870	
人件費(千円)	154	人工	154	人工	154	人工	154	人工		人工
正規	154	0.02	154	0.02	154	0.02	154	0.02		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計コスト +	48,347		43,515		39,276		38,402		46,870	
前年度比	-		90.0%		90.3%		97.8%		-	

西部福祉課

課長 林 裕子

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	西部福祉課	課CD	05270000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	梓川福祉センター管理事業
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち	主な取組み	市民一人ひとりの健康づくりを支援	
基本施策(個別目標)	112	心の健康づくりの推進	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>	
会計名	一般会計
予算中事業名	梓川福祉センター管理運営費

<事業の狙い>	事業計画年度	~
市民の福祉、健康及び体力の推進を図る。		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>	
1 事業の実施内容	管理運営 松本市社会福祉協議会に指定管理委託 現在の利用状況 ア 貸館関係 民生・児童委員協議会、高齢者クラブ連合会、梓川ボランティアの会、健康づくりサークル(太極拳、詩吟の会)、子育てサークル等 イ 社会福祉協議会関係 地区社協(給食サービス、子育てサロン等)、梓川居宅会議支援事業所、梓川ヘルパーステーション等 施設改修 トイレ洋式化他 7,203千円
2 活動指標	貸館関係 平成30年度 利用者数 8,856人 令和元年度 利用者数 8,003人

<現状に対する認識>
・子どもから高齢者まで幅広い年齢層に利用され、地域の福祉拠点となっている。
・築30年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいる。今後は公共マネジメント計画に基づき、規模を縮小した集約の検討を進める。

<指標の達成状況>	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	利用者数				
指標の設定理由	施設の維持、拡充の指標として				
目標値	4,800	7,000	7,000	7,000	7,000
実績値	7,089	7,904	8,856	8,003	
達成度	147.7%	112.9%	126.5%	114.3%	
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	4,000	4,961	5,867	11,523	4,400
国・県					
利用者負担金	4	13	5	14	10
その他					
一般財源	3,996	4,948	5,862	11,509	4,390
人件費(千円)	1,054	1,048	1,050	1,058	
正規	769	759	755	760	
嘱託	285	289	295	298	
合計コスト +	5,054	6,009	6,917	12,581	4,400
前年度比	-	118.9%	115.1%	181.9%	-

事務事業評価票

事務事業名	保健センター管理
< 予算上の位置付け >	
会計名	一般会計
予算中事業名	保健福祉センター管理費

部局名	健康福祉部	課名	西部福祉課	課CD	05270000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け > < 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち	市長公約	主な取り組み
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	市長公約	5つの重点目標
			市長公約	松本版総合戦略

< 事業の狙い > 事業計画年度 ~

保健と福祉の一体的な活動拠点として市民に対し各種保健及び福祉サービスを総合的に行い、地域住民の健康づくりと福祉の推進を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 事業の実施内容
 安曇・波田の保健福祉センター及び奈川の保健センターの維持管理施設内で実施されている各種事業(指定管理を含む)
 福祉ひろば(福祉計画課)(安曇、奈川、波田)
 デイサービスセンター(高齢福祉課)(安曇、波田)
 障害者就労支援センター(障害福祉課)(波田)
 西部保健センター(健康づくり課)(波田)
 地域活動支援センター児・者(シェイクハンズひかり:民間)(波田)

主な施設改修
 ア 安曇保健福祉センター外部改修 21,560千円
 イ 波田保健福祉センター屋根防水改修 11,770千円

2 活動指標
 各センターの利用者数
 平成30年度 安曇 7,822人 令和元年度 安曇 8,788人
 奈川 1,852人 奈川 1,602人
 波田 50,545人 波田 44,874人
 計 60,219人 計 55,264人

< 現状に対する認識 >

・福祉複合施設として地域住民に利用されている施設
 ・安曇・波田保健福祉センター共に築20年以上が経過し、施設が老朽化してきており、安心安全に利用を続けるには、計画的な改修が必要となっている。
 ・奈川保健センターは、築30年以上が経過し、施設や設備の劣化が目立っている。今後は、奈川地区内の施設集約化を検討する中で、施設のあり方を考えていきたい。

< 指標の達成状況 >		総合評価		A	
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	利用者数				
指標の設定理由	施設の維持、拡充の指標として				
目標値	25,150	55,000	55,000	55,000	55,000
実績値	59,462	59,227	60,219	55,264	
達成度	236.4%	107.7%	109.5%	100.5%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	33,212	38,061	34,949	73,524	34,330
国・県					
利用者負担金	71	72	68	77	110
その他	11,428	11,866	11,739	11,410	12,210
一般財源	21,713	26,123	23,142	62,037	22,010
人件費(千円)	8,588	8,511	8,500	8,561	
正規	7,306	7,211	7,173	7,220	
嘱託	1,283	1,301	1,328	1,341	
合計コスト +	41,800	46,572	43,449	82,085	34,330
前年度比	-	111.4%	93.3%	188.9%	-

保險課

課長 清水口 功

事務事業評価票

事務事業名	後期高齢者医療事業
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	後期高齢者医療特別会計
予算中事業名	

< 事業の狙い >

事業計画年度

20 ~

75歳以上の後期高齢者等が安心して医療を受けられるよう、後期高齢者医療制度を運営するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 事業内容	障害認定に関する申請の受付 資格の取得・喪失に係る届出の受付 被保険者証の交付・再交付の申請の受付、引き渡し、返還の受付 基準収入額適用に係る申請書の受付 一部負担金減免に係る申請書の受付 限度額証の交付・再交付・返還の受付 療養費、高額療養費、高額介護合算療養費の支給申請書の受付 第三者行為による被害の届出の受付 葬祭費の支給に係る申請書の提出の受付 保険料額決定通知書の引き渡し 保険料の徴収 保険料の減免・徴収猶予に係る申請の受付
2 活動指標(元年度値、()内は30年度値)	被保険者数 36,392人(35,880人) 保険料収納額 2,456,185千円(2,381,419千円) 保険料収納率(現年度・普通徴収) 99.0%(98.9%)

< 現状に対する認識 >

1 被保険者数	被保険者数は増加し続けています。
2 保険料	被保険者数の増加に伴い、保険料総額も増加している。収納率は特別徴収は100%であり、普通徴収は98%代で推移している。

部局名	健康福祉部	課名	保険課	課CD	05300000
-----	-------	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	後期高齢者医療保険料収納率(現年度・普通徴収)				
指標の設定理由	事業の安定運営の目安となるため				
目標値	99.6	99.6	99.6	99.6	
実績値	98.5	98.8	98.9	99.0	
達成度	98.9%	99.2%	99.3%	99.4%	
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	2,768,428	2,876,616	3,003,177	3,043,680	
国・県			5,283		
利用者負担金	2,182,654	2,270,744	2,381,419	2,426,470	
繰入金	506,176	521,501	533,435	525,570	
その他	79,598	84,371	83,040	91,640	
人件費(千円)	25,920	人工 25,660	人工 25,920	人工 25,780	人工
正規	23,070	3 22,770	3 23,070	3 22,800	3
嘱託	2,850	1 2,890	1 2,850	1 2,980	1
合計コスト +	2,794,348	2,902,276	3,029,097	3,069,460	
前年度比	-	103.9%	104.4%	101.3%	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	保険課	課CD	05300000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	国民健康保険事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け> <市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち		主な取組み
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	国民健康保険(事業勘定)
予算中事業名	

<事業の狙い>	事業計画年度	~
国民健康保険法に基づき、市民が医療を受けられるように、資格管理や給付、保険税の賦課・徴収を行います。		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 事業内容	資格の取得・喪失 被保険者証、高齢受給者証、限度額適用・標準負担額減額認定証等の 交付 保険給付(療養の給付、療養費、出産育児一時金、葬祭費等) 高額療養費の支給及び貸付 高額介護合算療養費の支給 保健事業(データヘルス計画実施、健康フェスティバル等) 医療費適正化対策事業(レセプト点検、医療費通知等) 第三者行為求償、不正不当利得徴収 国民健康保険運営協議会 国民健康保険税の賦課・徴収
2 活動指標 ()は前年度(H30)	国保加入世帯数 30,411世帯(31,065人) 国保加入者数 47,724人(49,412人) 保険給付費総額 16,243,758千円(16,180,816千円) 国保税収納額 5,175,300千円(5,349,243千円)

<現状に対する認識>

1 一人あたり医療費の増加	国保加入者の高齢化や医療の高度化により、一人あたり医療費が増加しています。
2 保険税収入の確保	保険税の軽減を受ける世帯が半数以上という現状のため、保険給付費に見合う収入の確保が課題です。

<指標の達成状況>	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	国民健康保険税現年度収納率				
指標の設定理由	事業の安定運営の目安となるため				
目標値	92.00%	92.75%	93.50%	94.25%	95.00%
実績値	91.69%	92.18%	92.93%	92.63%	
達成度	99.7%	99.4%	99.4%	98.3%	
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	28,730,186	28,748,691	24,112,799	23,857,115	22,997,040
国・県	7,269,195	6,932,322	16,281,724	16,382,558	16,312,060
利用者負担金	5,664,426	5,475,916	5,349,243	5,175,300	4,986,190
繰入金	2,176,214	2,078,761	1,434,513	1,421,059	1,397,950
その他	13,620,351	14,261,692	1,047,319	878,198	300,840
人件費(千円)	322,440	316,590	314,750	313,680	
正規	276,840	273,240	269,150	266,000	
嘱託	45,600	43,350	45,600	47,680	
合計コスト +	29,052,626	29,065,281	24,427,549	24,170,795	23,311,790
前年度比	-	100.0%	84.0%	98.9%	-

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	保険課	課CD	05300000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	糖尿病性腎症重症化予防事業
-------	---------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にするまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	国民健康保険(事業勘定)
予算中事業名	糖尿病性腎症重症化予防事業

<事業の狙い> 事業計画年度 H27 ~

糖尿病は進行すると様々な合併症を引き起こすとともに、患者の生活全般に大きな影響を及ぼすため、重症化を予防し、患者のQOLを維持するもの
また、糖尿病性腎症から透析が必要となった場合、1人年間500万円の医療費がかかると言われており、国保財政の健全化を保つ面からも、医療費の適正化対策として重要です。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 実施内容
2型糖尿病性腎症で治療中の人工透析導入前の国民健康保険被保険者に対し、重症化予防を目的とした保健事業を実施しています。 患者が通院する医療機関と連携し、薬局薬剤師が指導を行うもので、服薬・栄養・運動指導等の生活習慣や自己管理について6カ月間支援します。
2 状況(実績)
(1) 協力医療機関 平成27年度 6施設、平成28年度 6施設、平成29年度 12施設、平成30年度 17施設 令和元年度 36施設(協力薬局:48)
(2) 重症化予防プログラム実施者 平成27年度 16人、平成28年度 13人、平成29年度 10人、平成30年度 6人、令和元年度 7人 令和元年度は、5年間の参加者の累積データから、委託にて経済評価を実施

<現状に対する認識>

協力医療機関は増えてきたものの、未だ限定されていること、先生方の糖尿病や腎症の治療への考え方・認識も様々であることから、参加者が減少傾向医師会と協力しながら、協力医療機関を増やす取り組みを継続する。
令和3年度から、後期高齢者の医療・介護・健診データを含めた分析、課題の検を行っていく。現在の保健事業の評価等も並行して行っていきたい。

<指標の達成状況>	総合評価		B		
	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
成果指標(指標名)	糖尿病性腎症の腎症ステージの維持				
指標の設定理由	重篤化への進行を抑制できている状態が確認できるため				
目標値	13	10	6	7	20
実績値	13	10	6	7	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)	服薬率の向上				
指標の設定理由	指導の有効性が確認できるため				
目標値	99%	99%	100%	100%	100%
実績値	97%	99%	100%	98.6%	
達成度	98.0%	100.0%	100.0%	98.6%	-

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	3,675	4,051	3,924	2,735	5,486					
国・県	3,675	4,051	3,924	2,735						
利用者負担金										
その他										
一般財源										
人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工	2,307	人工	2,280	人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,307	0.3	2,280	0.3		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	5,982		6,328		6,231		5,015		5,486	
前年度比	-		105.8%		98.5%		80.5%		-	

事務事業評価票

事務事業名	後発医薬品利用促進事業
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	国民健康保険(事業勘定)
予算中事業名	後発医薬品利用推進事業

< 事業の狙い >

事業計画年度 25 ~

後発医薬品の利用を促進することで、医療費適正化を図り、国保財政の安定化を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 実施内容
 後発医薬品がある先発医薬品の利用で、その差額が一定額以上ある被保険者へ後発医薬品を利用した場合の自己負担額の差額を通知し、後発医薬品選択の情報提供を行うことで医療費の適正化を図っています。
 また、後発医薬品について周知・啓発する広報等を行うことで、後発医薬品の利用を進めています。

2 状況(実績)
 (1) 利用差額通知数
 平成28年度 2,271件、平成29年度 6,780件、平成30年度 4,744件
 令和元年度 4,060件
 (2) 広報まつもと
 平成28年度 1回、平成29年度 1回、平成30年度 1回、
 令和元年度 1回

< 現状に対する認識 >

平成29年度から通知対象とする利用差額を引下げ(300円以上 100円以上)るとともに、対象となる医薬品分類を拡大(11分類 13分類)し、通知対象を拡充し、後発医薬品の更なる利用推進を図っています。

部局名	健康福祉部	課名	保険課	課CD	05300000
-----	-------	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価 A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	効果額実績				
指標の設定理由	後発医薬品への切り替えによる医療費の削減効果額のため				
目標値	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
実績値	3,220	3,717	9,286	4926	
達成度	80.5%	92.9%	232.2%	123.2%	-
成果指標(指標名)	後発医薬品の数量シェア				
指標の設定理由	後発医薬品の数量シェアは国が目標値を定めているため				
目標値	80	80	80	80	80
実績値	63.3	67.6	72.4	76.3	
達成度	79.1%	84.5%	90.5%	95.4%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	247	788	566	488	540
国・県	247	788	566	488	
利用者負担金					
その他					
一般財源					
人件費(千円)	85.5	86.7	85.5	228	
人工				人工	
正規	0	0	0	228	0.03
嘱託	85.5	86.7	85.5	0	
0.03		0.03	0.03		
合計コスト +	333	875	652	716	771
前年度比	-	263.1%	74.5%	109.9%	-

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	保険課	課CD	05300000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	スポーツクラブ連携事業
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち		主な取組み		
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進		5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
				松本版総合戦略		健康・医療産業の創出・育成

<予算上の位置付け>

会計名	国民健康保険(事業勘定)
予算中事業名	健康増進対策事業費

<事業の狙い>	事業計画年度	01 ~
生活習慣に関心を持ち、若い頃から運動を続けていくことは、市民の健康づくりに欠かせません。そこで、市内のスポーツクラブと連携し、体力づくり、運動継続を意識した取組みを支援するものです。		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 実施内容	具体的な健康指標を把握する国保体力測定(国保加入者無料) 運動継続支援として6カ月のスポーツクラブでの継続取組(被保険者負担) 6カ月の運動継続の達成によりスポーツクラブと共同でプレゼントを提供
2 状況(実績)	事業参加者数 国保体力測定 令和元年度 15件 運動継続支援 令和元年度 1件(継続中2件) 関連事業 ア 国保体力測定会 8月6回、10月2回、1月2回 総参加者25名 イ 握力選手権 12月7日松本山雅FCホームゲーム「ホームタウンデー」 248人

<現状に対する認識>

スポーツクラブからは、6カ月継続の際のプレゼントにあまりメリットを感じず、参加に至らなかったことなどが課題として提示されました。 連携するスポーツクラブも、初月無料や特別価格の提示、プレゼントの上乗せをしていますが、6カ月間の会費負担が大いため参加に結びつけることができませんでした。 参加に係る経費も重要ですが、令和2年度からは、医師からも運動を進めていただくことで、運動を始めるきっかけとなるようにしていきたい。
--

<指標の達成状況>	総合評価	E			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	取り組み始めた被保険者				
指標の設定理由	運動継続に取り組み始めた被保険者を把握する				
目標値				1,000	400
実績値				2	
達成度				0.2%	-
成果指標(指標名)	参加者				
指標の設定理由	国保体力測定で自身の体に関心を持ってもらった被保険者数				
目標値				1,000	500
実績値				15	
達成度				1.5%	-

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)				100	1,460
国・県				2,500	2,500
利用者負担金					
その他					
一般財源				-2,400	-1,040
人件費(千円)		人工	人工	人工	人工
正規				0	
嘱託				89.4	0.03
合計コスト +				189	1,546
前年度比				-	-

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	保険課	課CD	05300000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	データヘルス計画推進事業
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	国民健康保険(事業勘定)
予算中事業名	データヘルス計画推進事業

<事業の狙い>

事業計画年度

R1 ~

500万/年もの医療費がかかる人工透析、脳血管疾患や虚血性心疾患等の循環器疾患の発症を予防するため、糖尿病患者の重症化を予防し、生活習慣病の患者を適切な治療につなげる。
 受診・服薬状況から、保健指導が必要な対象者を抽出し、適切な受診・服薬を促す保健指導を実施することで、医療費適正化を目指す。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 実施内容
 委託により、 から の保健事業を実施する。
 医療費分析
 レセプトに記載された全傷病名に対し医療費を分解・集計
 生活習慣病治療中断者への受診勧奨
 生活習慣病の治療が中断している恐れのある人を対象者とした、通知
 ・電話による受診勧奨を実施し、通院を促す。
 R1実績 受診勧奨:37名 受診率:18.2%
 糖尿病性腎症重症化予防事業
 糖尿病患者のうち、人工透析に至る可能性の高い患者への保健指導
 院外処方患者を対象とした、医薬連携による糖尿病性腎症重症
 化予防事業の対象者を拡大
 R1実績 事業参加勧奨177名 事業参加:10名
 受診行動適正化指導事業
 重複・頻回受診、重複服薬の患者に対する、電話及び訪問保健指導
 R1実績 対象者:12名(全員へ訪問指導の相談の電話を実施。)
 訪問指導に至らなかったため、電話にて保健指導を行った。
 多剤投与通知事業
 多剤投与(6剤以上)の患者の内、相互作用、重複投与などのハイリスク
 者に対し、服薬情報の通知を送付
 医師会との調整に時間を要し、R1は事業の実施を中止した。

<現状に対する認識>

令和3年度は、高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施を展開するに伴い、国保から後期まで医療・介護レセプト、健診データを突合せた分析を実施する予定。本事業の医療費分析の内容を精査する。また、現在の保健事業の評価等も並行して行っていきたい。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	生活習慣病治療中断による受診勧奨対象者のうち、通知効果があった者の割合				
指標の設定理由	未治療のハイリスク者が医療につながった状況が確認できるため				
目標値				30%	60%
実績値				18.2%	
達成度				60.7%	-
成果指標(指標名)	飲み合わせが改善された割合(R2から開始する の事業の指標)				
指標の設定理由	指導の有効性が確認できるため				
目標値					10%
実績値					
達成度					-

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)				9,034	16,360
国・県				9,034	
利用者負担金					
その他					
一般財源					
人件費(千円)		人工	人工	人工	人工
正規				2,280	0.3
嘱託				0	
合計コスト +	0	0	0	11,314	16,360
前年度比	-	-	-	-	-

医務課

課長 田堂 誠

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	医務課	課CD	05320000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	いい医療の日事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け> <市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	いつでも医療が受けられるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	121	地域医療の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	いい医療の日事業費

<事業の狙い>	事業計画年度	H23～R1
市民と医療従事者が信頼関係を築く事業を実施し、医療を取り巻く環境の向上を図るとともに、イベントを開催し、地域医療について考える機会とする。		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

11月の第2土曜日を「いい医療の日」として定め、より良い医療環境をめざして事業を実施する。

- 講演会、パネルディスカッションの開催
 地域医療、在宅医療をテーマに私たち市民は何ができるか、医療関係者を招きパネルディスカッションを開催(11月16日(土))
 パネルディスカッション
 コーディネーター 松本市医師会副会長
 パネリスト 佐久総合病院 北澤彰浩氏 四賀の里クリニック院長
 中核市推進室長
 参加者 100名
- ありがとうメッセージの募集
 当日資料に「ありがとうメッセージ」を掲載

<現状に対する認識>

平成28年度までは、市民と医療従事者とが「ありがとう」の気持ちを伝えあう意見発表の場としていたが、手法を変え、29年度から講演会、パネルディスカッションを開催し、広く市民や関係者の呼びかけ、地域医療や在宅医療について考える機会とした。令和元年度はより議論が深まるようパネルディスカッションを開始しました。
 今後も、講演会やパネルディスカッションを開催していきたいが、会場の選定やイベントの手法や構成を考え、多くの方が出席できるよう周知していきたい。

<指標の達成状況>	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	イベント参加者数				
指標の設定理由	参加者人数によりどのくらい周知できているか把握できるため				
目標値		200	200	200	
実績値		120	120	100	
達成度		60.0%	60.0%	50.0%	
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
事業費(千円)	447	314	365	268		
国・県						
利用者負担金						
その他		269	273			
一般財源	447	45	92	268		
人件費(千円)	670	人工 669	人工 670	人工 670	人工	
正規	385	0.05	380	0.05	385	0.05
嘱託	285	0.1	289	0.1	285	0.1
合計コスト +	1,117	983	1,035	938		
前年度比	-	88.0%	105.3%	90.6%		

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	医務課	課CD	05320000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	小児救急講座事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	いつでも医療が受けられるまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	122	緊急医療・周産期医療の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	緊急救急医療等推進費

<事業の狙い>

事業計画年度

H21~

乳幼児、小児等の初期医療の啓発、二次救急病院の負担軽減のため、子育て世帯を対象に医師、薬剤師等により学習会を開催するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 小児科医出前講座
松本市医師会の小児科医が講師を務め、市内の保育園等を会場にこどもの初期医療に関して、周知啓発を図るもの
31年度(令和元年度)は保育園等、2会場で実施
- 看護師による出前講座
夜間急病センターの看護師が講師を務め、こどもが急病になったときの対応など具体例に基づき、日常的な乳幼児の初期医療について、周知啓発を図るもの
31年度(令和元年度)は、児童館など 会場で開催
- 子育て支援講座
夜間急病センターのスタッフ(小児科医師、薬剤師、看護師)、管理栄養士や救急救命士が講師となり、こどもが急病になったとき、けがをした時などの対応について講座を開催するもの
31年度(令和元年度)は3回連続の講座を開催

<現状に対する認識>

講座を通じて、子育て世代の子育ての対する不安の解消や小児の初期医療の周知啓発に一役買っていると思う。しかし、講座回数が減ってきているため、講座の開催周知を工夫していくことが必要であり、テキストとなる「お子さんが急病になったとき」の改定を予定している。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	講座開催回数				
指標の設定理由	出前講座等の回数によりどのくらい初期医療の周知できているか把握できるため				
目標値	17	17	17	17	17
実績値	17	12	14	11	
達成度	100.0%	70.6%	82.4%	64.7%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	151		145		128		97		0	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	151		145		126		97			
人件費(千円)	769	人工	759	人工	769	人工	769	人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	769	0.1	769	0.1		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計コスト +	920		904		897		866		0	
前年度比	-		98.3%		99.2%		96.5%		-	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	医務課	課CD	05320000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	初期救急医療事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け> <市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	いつでも医療が受けられるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	122	緊急医療・周産期医療の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	緊急救急医療等推進費

<事業の狙い>

事業計画年度

~

必要な時に必要な医療が安心して受けられることができる初期救急医療体制を整備するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

初期救急医療体制を整備するため、平日(夜間)・休日(昼夜間)に在宅当番医師業務を松本市医師会へ委託等するもの

1年366日(令和元年度)、切れ間なく初期救急として在宅当番医体制をとっている。

平日夜間(287日)、休日昼夜間(79日)、土曜午後(50日)

<現状に対する認識>

いつでも、誰もが、必要な時に、安心して医療を受けられる環境を今後も整備するため、事業の継続は必要である。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	初期救急件数(年間)				
指標の設定理由	必要な時に医療を受けられる体制が整えられているかを直接的に把握できる				
目標値					
実績値	18,939	19,380	19,939	20,789	
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	14,853		14,852		14,852		14,949		0	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	14,853		14,852		14,852		14,949			
人件費(千円)	769	人工	759	人工	769	人工	769	人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	769	0.1	769	0.1		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	15,622		15,611		15,621		15,718		0	
前年度比	-		99.9%		100.1%		100.6%		-	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	医務課	課CD	05320000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	災害医療事業
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け> <市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	いつでも医療が受けられるまち	市長公約	主な取り組み
基本施策(個別目標)	122	緊急医療・周産期医療の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	緊急救急医療等推進費

<事業の狙い>	事業計画年度	H18~
大規模地震等の災害発生時に、防災・保健・医療・福祉に関する諸団体が効率的に連携を図り、迅速・円滑な医療救護活動を実施するための体制の整備を図るもの		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

災害時の医療救護活動を円滑の行うため、活動に必要な医薬品等の整備を行うとともに、松本市総合防災訓練の一環として、関係団体が連携し、医療救護訓練を行うもの
1 総合防災訓練会場内に臨時医療救護所を2カ所設置し、地域住民参加による実践的な訓練を実施
2 トリアージを中心とする急性期の訓練に加え、亜急性期を想定した災害弱者対策訓練の実施
3 建築士会による建物の安全・利用確認を実施し、余震等による2次被害を防止する訓練を実施
4 各医療救護所では、医師や柔道整復師が中心となり処置訓練を実施するとともに、事務員以外の者も防災無線等による情報伝達訓練を実施した。
5 医療救護活動に必要な備品、医薬材料、消耗品の整備を行った。

<現状に対する認識>

災害時に医療救護所が迅速に設置され、円滑な運営ができるよう、関係団体が連携し訓練を重ねることは重要なことであるので、事業の継続は必要である。訓練を通じて、検証を重ね、次の訓練に活かしていくことが必要である。

<指標の達成状況>	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	訓練回数				
指標の設定理由					
目標値	1	1	1	1	
実績値	1	1	1	1	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	567	127	69	9,088	0
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	567	127	69	9,088	
人件費(千円)	3,076	3,036	3,076	5,383	
正規	3,076	3,036	3,076	5,383	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	3,643	3,163	3,145	14,471	0
前年度比	-	86.8%	99.4%	460.1%	-

事務事業評価票

事務事業名	松本地域出産・子育て安心ネットワーク事業
-------	----------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	松本地域出産・子育て安心ネットワーク事業費

部局名	健康福祉部	課名	医務課	課CD	05320000
-----	-------	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	いつでも医療が受けられるまち
基本施策(個別目標)	122	緊急医療・周産期医療の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取組み		市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり	
松本版総合戦略			

< 事業の狙い >

事業計画年度

H20～

安心・安全に出産ができる産科医療体制を確保するため、松本保健福祉事務所、松本医療圏構成市村、医療団体及び医療機関が連携して、「松本地域出産・子育て安心ネットワーク協議会」を設立し、分娩従事医師の負担軽減を図る等の事業を実施するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

分娩従事医師の負担軽減と離職防止のため、松本保健医療圏域市村等で協議会を運営しているもの(各市村負担金等により運営)

- 1 分娩医療機関と健診協力医療機関の役割分担と連携体制の構築
- 2 両医療機関で利用する共通診療ノートの作成及び配布
- 3 連携強化病院従事医師への研究奨励金の支給
令和元年度実績
・信州大学医学部附属病院産婦人科・小児科医師のハイリスク分娩等の診療行為に対する支援 39人 451件
・長野県立こども病院医師へ学会・研修会会費、出席経費、学術書購入費等への助成 16人
- 4 地域住民への広報活動(公開講座の開催)
令和元年度実績
・11月2日、「未来へつなく、未来とつながる 地域で支える出産・子育て環境」をテーマに松山三四六さん等を講師に講演会・相談会を開催 参加者130人

< 現状に対する認識 >

医療機関の役割分担の推進により、妊娠初期に分娩医療機関を利用する妊婦は減少し、分娩医療機関の医師等の負担軽減が図られており、今後も安心して出産・子育てができる医療体制を維持するため、事業の継続は必要と考える。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	6,041	5,970	5,886	5,877	0
国・県					
利用者負担金	0	0	0	0	
その他					
一般財源	6,041	5,970	5,886	5,877	
人件費(千円)	1,538	1,518	1,538	1,538	
人工	0.2	0.2	0.2	0.2	
正規	1,538	1,518	1,538	1,538	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	7,579	7,488	7,424	7,415	0
前年度比	-	98.8%	99.1%	99.9%	-

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	医務課	課CD	05320000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	夜間急病センター事業
-------	------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	いつでも医療が受けられるまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	122	緊急医療・周産期医療の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	夜間急病センター事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

初期救急医療体制の整備、二次救急の負担軽減し、本来の二次救急医療に専念できる体制の整備と子育て支援の充実を図るため、小児科・内科夜間急病センターを運営するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

市民が安心して安全に医療を受けることができるよう、平成17年4月1日設置されて以来、松本市医師会をはじめとする関係機関の連携し、運営をしている。

- 1 診療科 小児科・内科
- 2 診療日 年中無休(365日) (令和元年度は366日)
- 3 診療時間 19:00~23:00
- 4 職員体制 医師 2名(小児科・内科)、薬剤師 1名、看護師 2名
医療事務 2名、事務 1名

< 現状に対する認識 >

今後も、運営上の課題の検討と、利用者の声を運営に反映させながら、初期救急医療機関として、市民の安心と安全を図っていきたい。

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	年間受診者数				
指標の設定理由	夜間に安心して医療を受ける体制が整えられているか直接的に把握できる				
目標値					
実績値	9,390	9,187	9,121	8,533	
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	106,393		106,685		105,010		99,623		0	
国・県	2,407		2,315		2,227		2,269			
利用者負担金	79,486		79,174		77,099		71,043			
その他	4,740		3,857		3,390		3,165			
一般財源	19,760		21,339		22,294		23,146			
人件費(千円)	4,415	人工	4,373	人工	4,415	人工	4,800	人工		人工
正規	3,845	0.5	3,795	0.5	3,845	0.5	4,230	0.55		
嘱託	570	0.2	578	0.2	570	0.2	570	0.2		
合計コスト +	110,808		111,058		109,425		104,423		0	
前年度比	-		100.2%		98.5%		95.4%		-	

事務事業評価票

事務事業名	錦部歯科診療所事業
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	錦部歯科診療所事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H17～R1

四賀地区住民等に対し、地域医療(歯科)を提供するため、歯科診療所を運営する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

地区住民が安心して安全に医療を受けることができる地域医療体制を確保するため、四賀地区において歯科診療所を運営し、地区住民の健康管理及び地域医療を行うもの

- 診療科 歯科
- 診療日数 95日
- 診療日 火・金曜日(9:30～17:00)
- 職員体制 医師 1名、歯科助手 2名

< 現状に対する認識 >

施設、医療機器の老朽化や受診者の減少に伴い、診療所の用途廃止について、地元町会へ打診し、了解を得たことから、令和2年3月31日を目標として診療所を廃止するもの。

地区内や隣接する地区に複数民間の歯科医院があるため、現在受診している受診者には、次の主治医につなぐまで丁寧に説明を行ってきた。

部局名	健康福祉部	課名	医務課	課CD	05320000
-----	-------	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	いつでも医療が受けられるまち
基本施策(個別目標)	121	地域医療の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	年間受診者数				
指標の設定理由	安心して医療が受けられる体制が整えられているか直接的に把握できる				
目標値					
実績値	779	708	545	666	
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	9,537	7,945	7,315	7,745	0
国・県					
利用者負担金	5,368	4,489	3,471	4,120	
その他				41	
一般財源	4,169	3,456	3,844	3,584	
人件費(千円)	670	820	900	977	
人工					
正規	385	531	615	692	
嘱託	285	289	285	285	
合計コスト +	10,207	8,765	8,215	8,722	0
前年度比	-	85.9%	93.7%	106.2%	-

事務事業評価票

事務事業名	大野川診療所事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	大野川診療所事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H17~

安曇大野川地区住民等に対し、地域医療(医科、歯科)を提供するため、診療所を運営する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

地区住民が安心して安全に医療を受けることができる地域医療体制を確保するため、安曇地区において診療所を運営し、地区住民の健康管理及び地域医療を行うもの

- 診療科 内科・歯科
- 診療日数 内科 139日、 歯科 139日
- 診療日 内科 月曜日(13:30~15:30)、水・金曜日(時間 9:00~11:00)
歯科 月・金曜日(9:00~16:30)、水曜日(時間 9:00~12:00)
- 職員体制 内科 医師 1名、看護師 1名、事務 1名
歯科 医師 1名、歯科衛生士(歯科助手) 1名

< 現状に対する認識 >

今後も、引き続き、地区住民が安心して安全に医療を受けることができる地域医療体制の充実を図っていくことが必要である。

部局名	健康福祉部	課名	医務課	課CD	05320000
-----	-------	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	いつでも医療が受けられるまち
基本施策(個別目標)	121	地域医療の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	年間受診者数(内科)				
指標の設定理由	安心して医療が受けられる体制が整えられているか直接的に把握できる				
目標値					
実績値	1,558	1,601	1,485	1,427	
達成度					
成果指標(指標名)	年間受診者数(歯科)				
指標の設定理由	安心して医療が受けられる体制が整えられているか直接的に把握できる				
目標値					
実績値	646	1,116	1,371	928	
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	20,313	22,526	23,755	21,432	0
国・県	3,593	3,366	3,310	3,613	
利用者負担金	16,720	19,160	20,445	17,819	
その他					
一般財源					
人件費(千円)	1,823	1,807	1,823	1,823	
正規	1,538	1,518	1,538	1,538	
嘱託	285	289	285	285	
合計コスト +	22,136	24,333	25,578	23,255	0
前年度比	-	109.9%	105.1%	90.9%	-

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	医務課	課CD	05320000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	沢渡診療所事業
-------	---------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	いつでも医療が受けられるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	121	地域医療の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	沢渡診療所事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H17~

安曇沢渡地区住民等に対し、地域医療(医科)を提供するため、診療所を運営する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

地区住民が安心して安全に医療を受けることができる地域医療体制を確保するため、安曇地区において診療所を運営し、地区住民の健康管理及び地域医療を行うもの

- 診療科 内科
- 診療日数 48日
- 診療日 水曜日(14:00~15:30)
- 職員体制 医師 1名、看護師 1名、事務 1名

<現状に対する認識>

今後も、引き続き、地区住民が安心して安全に医療を受けることができる地域医療体制の充実を図っていくことが必要である。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	年間受診者数				
指標の設定理由	安心して医療が受けられる体制が整えられているか直接的に把握できる				
目標値					
実績値	290	233	213	208	
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	3,299		2,616		1,842		1,975		0	
国・県										
利用者負担金	3,299		2,616		1,842		1,975			
その他										
一般財源										
人件費(千円)	527	人工	524	人工	527	人工	527	人工		人工
正規	385	0.05	380	0.05	385	0.05	385	0.05		
嘱託	143	0.05	145	0.05	143	0.05	143	0.05		
合計コスト +	3,826		3,140		2,369		2,502		0	
前年度比	-		82.1%		75.4%		105.6%		-	

事務事業評価票

事務事業名	稲核診療所事業
-------	---------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	稲核診療所事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H17 ~

安曇稲核地区住民等に対し、地域医療(医科)を提供するため、診療所を運営する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

地区住民が安心して安全に医療を受けることができる地域医療体制を確保するため、安曇地区において診療所を運営し、地区住民の健康管理及び地域医療を行うもの

- 1 診療科 内科
- 2 診療日数 90日
- 3 診療日 月曜日(9:00~11:00)、金曜日(時間 14:00~15:30)
- 4 職員体制 医師 1名、看護師 1名、事務 1名

< 現状に対する認識 >

今後も、引き続き、地区住民が安心して安全に医療を受けることができる地域医療体制の充実を図っていくことが必要である。

部局名	健康福祉部	課名	医務課	課CD	05320000
-----	-------	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	いつでも医療が受けられるまち
基本施策(個別目標)	121	地域医療の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	年間受診者数				
指標の設定理由	安心して医療が受けられる体制が整えられているか直接的に把握できる				
目標値					
実績値	492	443	354	399	
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	5,454		3,859		3,131		3,505		0	
国・県										
利用者負担金	5,454		3,859		3,131		3,505			
その他										
一般財源										
人件費(千円)	527	人工	524	人工	527	人工	527	人工		人工
正規	385	0.05	380	0.05	385	0.05	385	0.05		
嘱託	143	0.05	145	0.05	143	0.05	143	0.05		
合計コスト +	5,981		4,383		3,658		4,032		0	
前年度比	-		73.3%		83.5%		110.2%		0.0%	

事務事業評価票

事務事業名	島々診療所事業
-------	---------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	島々診療所事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H24～

安曇島々地区住民等に対し、地域医療(歯科)を提供するため、診療所を運営する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

地区住民が安心して安全に医療を受けることができる地域医療体制を確保するため、安曇地区において診療所を運営し、地区住民の健康管理及び地域医療を行うもの

- 診療科 内科・歯科
- 診療日数 内科 97日、 歯科 96日
- 診療日 内科 火曜日(9:00～12:00)、木曜日(時間 9:00～15:30)
歯科 月・木曜日(9:00～16:00)
- 職員体制 内科 医師 1名、看護師 1名、事務 2名
歯科 医師 1名、歯科衛生士(歯科助手) 1名

< 現状に対する認識 >

今後も、引き続き、地区住民が安心して安全に医療を受けることができる地域医療体制の充実を図っていくことが必要である。

部局名	健康福祉部	課名	医務課	課CD	05320000
-----	-------	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	いつでも医療が受けられるまち
基本施策(個別目標)	121	地域医療の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	年間受診者数(内科)				
指標の設定理由	安心して医療が受けられる体制が整えられているか直接的に把握できる				
目標値					
実績値	1,751	1,854	1,605	1,579	
達成度					
成果指標(指標名)	年間受診者数(歯科)				
指標の設定理由	安心して医療が受けられる体制が整えられているか直接的に把握できる				
目標値					
実績値	324	357	363	435	
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	23,319	25,824	23,420	21,868	0
国・県					
利用者負担金	23,319	25,824	23,420	21,868	
その他					
一般財源					
人件費(千円)	1,339	1,337	1,339	1,339	
正規	769	759	769	769	
嘱託	570	578	570	570	
人工	0.1	0.1	0.1	0.1	
	0.2	0.2	0.2	0.2	
合計コスト +	24,658	27,161	24,759	23,207	0
前年度比	-	110.2%	91.2%	93.7%	-

事務事業評価票

事務事業名	奈川診療所事業
-------	---------

< 予算上の位置付け >

会計名	国民健康保険(直診勘定)
予算中事業名	

部局名	健康福祉部	課名	医務課	課CD	05320000
-----	-------	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	いつでも医療が受けられるまち
基本施策(個別目標)	121	地域医療の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

H17~

奈川地区住民等に対し、地域医療(医科)を提供するため、診療所を運営する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

地区住民が安心して安全に医療を受けることができる地域医療体制を確保するため、奈川区において診療所を運営し、地区住民の健康管理及び地域医療を行うもの

- 診療科 内科・歯科
- 診療日数 内科・外科 198日、 歯科 145日
- 診療日 内科・外科 月・火・木4・金曜日(8:30~17:15)
歯科 月・火・木曜日(9:00~16:30)
- 職員体制 内科 医師 1名、市立病院医師 1名(第2水) 看護師 1名、事務 1名
歯科 医師 1名、歯科衛生士(歯科助手) 1名

< 現状に対する認識 >

今後も、引き続き、地区住民が安心して安全に医療を受けることができる地域医療体制の充実を図っていくことが必要である。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	年間受診者数(内科)				
指標の設定理由	安心して医療が受けられる体制が整えられているか直接的に把握できる				
目標値					
実績値	3,992	3,924	3,829	3,783	
達成度					
成果指標(指標名)	年間受診者数(歯科)				
指標の設定理由	安心して医療が受けられる体制が整えられているか直接的に把握できる				
目標値					
実績値	619	674	734	656	
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	65,675		61,574		61,469		63,024		0	
国・県	11,411		11,537		11,474		11,160			
利用者負担金	39,851		39,420		38,501		39,762			
その他	152		111		180		245			
一般財源	14,261		10,506		11,314		11,857			
人件費(千円)	2,108	人工	2,096	人工	2,108	人工	2,108	人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,538	0.2	1,538	0.2		
嘱託	570	0.2	578	0.2	570	0.2	570	0.2		
合計コスト +	67,783		63,670		63,577		65,132		0	
前年度比	-		93.9%		99.9%		102.4%		-	

健康づくり課

課長 逸見 和行

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	後期高齢者医療事業
-------	-----------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	後期高齢者医療事業

<事業の狙い>

事業計画年度

~

平成20年度から医療保険者に義務付けられた特定健康診査(法定)と同等の検査を実施し、糖尿病等の生活習慣病を早期に発見して治療に結びつけ、高齢者の生活の質を向上させるもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 後期高齢者健康診査事業 法定の必須16項目の検査に加えて、市独自追加項目として、心疾患・痛風等の早期発見のために心電図・尿酸・空腹時血糖と慢性腎不全・貧血等の早期発見のためにクレアチニン・貧血検査を実施。 ・令和元年度受診者数 16,325人(44.9%) 人間ドック受診者含む
2 後期高齢者医療人間ドック等助成事業 被保険者が、生活習慣病の早期発見及び早期治療により健康保持を図るため、人間ドック受診に要する費用に対し補助金を交付するもの。 (1)助成内容 ・人間ドック(日帰り) 15,000円 ・人間ドック(1泊2日) 20,000円 ・脳ドック 15,000円 ・簡易脳ドック 10,000円 (2)令和元年度実績 951人(簡易ドック208人含む)

後期高齢になっても引き続き人間ドックを受診するためか、後期高齢者の人間ドック受診者数が増えている。総合的な健康管理に努める後期高齢者が増えていることが伺える。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	後期高齢者健診受診率				
指標の設定理由	国保からの受診が継続することにより、高齢者の生活の質が維持できるため				
目標値	57.0%	60.0%	50.0%	50.0%	50.0%
実績値	46.2%	46.7%	46.9%	44.9%	
達成度	81.1%	77.8%	93.8%	89.8%	0.0%
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	152,970	163,110	163,670	162,160	172,650
国・県	122,190	125,440	131,410	130,170	
利用者負担金					
その他					
一般財源	30,780	37,670	32,260	31,990	
人件費(千円)	0	人工 3,469	人工 3,436	人工 3,450	人工
正規	0	2,429	0.32	2,492	0.33
嘱託	0	1,040	0.36	944	0.32
合計コスト +	152,970	166,579	167,106	165,610	172,650
前年度比	-	108.9%	100.3%	99.1%	-

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	保健センター管理
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	保健センター管理

<事業の狙い>	事業計画年度	~
市民の健康相談や各種検診等様々な保健サービスの提供の場、また住民の自主参加による保健活動の場として広く活用し、総合的な健康づくりの拠点となる保健センターを適切に維持管理するもの。		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 所管施設・年間利用者数(平成31年度)	
南部保健センター 23,221人	
北部保健センター 9,770人	
中央保健センター 8,594人	
西部保健センター 11,147人	
2 その他所管施設	
四賀保健センター(健康づくり課)	
梓川保健センター(梓川支所)	
四賀保健福祉センター(四賀支所)	()は維持管理課
3 主な修繕等	
中央保健センター空調機フィルター交換 136,080円	
西部保健センター電話回線(ナンバーD対応)工事 149,600円	
梓川保健センター空調機修理 242,000円	
四賀保健福祉センター内側自動ドア修繕 266,760円	
北部保健センター自動高圧蒸気滅菌器の購入 264,600円	

保健センター事業の周知により、利用者の拡大を図るとともに、利用しやすい運営を図る。当初設置時と保健センターの利用形態等が変わっているため、保健センターのあり方について検討が必要な施設もある。

<指標の達成状況>	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	5,672	6,384	10,429	4,500	3,680					
国・県										
利用者負担金	136	614	339	144	150					
その他										
一般財源	5,536	5,770	10,090	4,356	3,530					
人件費(千円)	6,844	人工	10,517	人工	7,599	人工				
正規	6,844	0.89	10,171	1.34	7,097	0.94	9,536	1.24		
嘱託	0		347	0.12	502	0.17	485	0.17		
合計コスト +	12,516		16,901		18,028		14,520		3,680	
前年度比	-		135.0%		106.7%		80.5%		-	

事務事業評価票

事務事業名	「健康寿命延伸都市・松本」推進事業
-------	-------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	「健康寿命延伸都市・松本」推進事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

～

「健康寿命延伸都市・松本」の創造を推進するため、この取り組みを内外に情報発信するとともに、健康寿命延伸に取り組む他都市や企業等との連携・強化を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 世界健康首都会議の開催
参加者 2日間延べ1,900名
基調講演 3講演
スポーツ庁長官
カナダ サーニッチ地区議会議員
ロシア科学アカデミー経済研究所
各種セミナー等の開催、企業ブース出展
- 健康寿命延伸都市協議会の運営・拡充
第6回総会・研修会の開催
ア 呉市で11月に開催
イ 12自治体、厚生労働省が参加
- 企業との連携による情報発信等
がん対策推進企業アクション講演会の開催(がん検診啓発)約1,100人
ローソン、月刊イクジィとの連携による健康情報の発信

市の健康寿命延伸の施策について、市民への十分な周知に努め関連施策を進める。今後も「健康寿命をのばそう!アワード」受賞自治体で構成する健康寿命延伸都市協議会へ積極的に参加して情報収集を行い、事業計画の参考とする。

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
主な取組み		市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	健康寿命延伸都市協議会構成団体数				
指標の設定理由	協議会の拡充の成果が確認できるため				
目標値	26	29	32	35	38
実績値	23	24	23	22	
達成度	88.5%	82.8%	71.9%	62.9%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	5,802	4,325	4,390	4,240	0					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	5,802	4,325	4,390	4,240						
人件費(千円)	5,998	人工	5,277	人工	4,212	人工	4,190	人工		人工
正規	5,998	0.78	5,161	0.68	4,153	0.55	4,076	0.53		
嘱託	0		116	0.04	59	0.02	114	0.04		
合計コスト +	11,800		9,602		8,602		8,430			0
前年度比	-		81.4%		89.6%		98.0%			-

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	特定健康診査等事業
-------	-----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にするまち		主な取組み
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	国民健康保険(事業勘定)
予算中事業名	特定健康診査等事業

< 事業の狙い >

事業計画年度 H30 ~ H35

平成20年度から医療保険者に義務付けられたメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した特定健康診査と、その結果により階層化して指導を行う特定保健指導により、メタボリックシンドロームを早期に発見し生活習慣病の改善を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 特定健康診査の実施
法定の必須16項目に加えて、市独自追加項目として心疾患・痛風等の早期発見のために心電図・尿酸、空腹時血糖と、慢性腎不全・貧血等の早期発見のためにクレアチニン検査・貧血検査を実施。
・平成30年度特定健康診査受診者数 15,473人(受診率45.1%)
- 特定保健指導の実施
特定健康診査の結果から、生活習慣の発症リスクが高い方に対して医師や保健師、管理栄養士等が対象者一人ひとりの身体状況に合わせて生活習慣を見直すためのサポートを実施。
・平成30年度特定保健指導実施修了者数 619人(終了率40.3%)
- 人間ドック助成事業
(1) 助成内容
・人間ドック(日帰り) 15,000円 ・人間ドック(1泊2日) 20,000円
・脳ドック 15,000円 ・簡易脳ドック 10,000円
(2) 令和元年度実績 3,172人(簡易脳ドック534人含む)

特定健康診査の経年受診率は横ばいである。未受診の理由として「定期的に医療機関を受診している」が多くを占めているため、医療機関との連携のもと、特定健診と同等の検査をしている場合データの受領に取り組んだ。今後も、被保険者に健診の必要性を啓発していくと共に、医療機関との連携を密にして受診者数増に向けて取り組み生活習慣病の発症及び重症化予防に取り組む。同じく、特定保健指導の終了率向上に取り組む。

< 指標の達成状況 >

総合評価 A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	特定健康診査受診率				
指標の設定理由	第二期松本市国民健康保険特定健康診査等実施計画の目標値(%)				
目標値	57.0%	60.0%	50.0%	50.0%	50.0%
実績値	44.8%	45.1%	45.1%	R2.10以降確定	
達成度	78.6%	75.2%	90.2%		-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	147,870	196,480	223,180	229,620	219,480
国・県	72,460	85,720	81,800	79,390	
利用者負担金					
その他					
一般財源	75,410	110,760	141,380	150,230	
人件費(千円)	0	人工 22,689	人工 24,224	人工 24,758	人工
正規	0	19,279	2.54 20,536	2.72 21,224	2.76
嘱託	0	3,410	1.18 3,688	1.25 3,534	1.24
合計コスト +	147,870	219,169	247,404	254,378	219,480
前年度比	-	148.2%	112.9%	102.8%	-

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	エイズ・性感染症予防事業
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち	市長公約	主な取り組み
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	エイズ・性感染症予防事業

<事業の狙い>

事業計画年度

~

医療関係者や関係団体からなる「松本市エイズ・HIV等性感染症予防啓発推進協議会」を中心に、性感染症の知識の普及啓発及び予防活動を実施するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- エイズ・HIV等性感染症に関する出前講座
小中学生や地域住民を対象に出前講座を開催(R1 79回 7,873人受講)
- 協議会の専門部会による課題の検討
子ども教育部会:小中学校出前講座活用及びブラッシュアップ方法を検討(R1 1回)
施設受け入れ部会:高齢者施設職員、ケアマネ向け講演会の実施(R1 2回)
- エイズ・HIV等感染症に関する周知
エイズ・HIV等感染症予防啓発街頭キャンペーン(保健所への協力)
健康フェスティバルにおける啓発活動

子ども教育部会では、アンケート調査等とおして若者の性に関する状況把握を行い、現代の若者の抱える課題に対応できるように出前講座の内容を検討する。
施設受け入れ部会では、高齢者施設職員がエイズ・HIV等の性感染症について引き続き理解を深められるように、講演会を継続的に開催していく。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	出前講座受講者数				
指標の設定理由	出前講座による性感染症予防の普及率を把握することができるため				
目標値	9,000	9,050	9,100	9,150	9,200
実績値	8,993	9,194	8,715	7,873	
達成度	99.9%	101.6%	95.8%	86.0%	-
成果指標(指標名)	エイズHIV等性感染症予防啓発講演会実施数				
指標の設定理由	協議会の専門部会の実績を把握するため				
目標値	2	3	3	3	3
実績値	2	3	1	2	
達成度	100.0%	100.0%	33.3%	66.7%	-

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	976		972		950		880		1,080	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	976		972		950		880		1,080	
人件費(千円)	3,950	人工	4,995	人工	2,098	人工	2,133.3	人工		人工
正規	3,922	0.51	4,099	0.54	2,039	0.27	2,076.3	0.27		
嘱託	29	0.01	896	0.31	59	0.02	57	0.02		
合計コスト +	4,926		5,967		3,048		3,013		1,080	
前年度比	-		121.1%		51.1%		98.9%		-	

事務事業評価票

事務事業名	健康増進対策
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	健康増進対策事業

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取組み		市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
			松本版総合戦略

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

健康づくり・疾病予防のため、第2期松本市健康づくり計画に基づいて各種検診及び事業を実施するもの
 また、市有施設へのAED配備と応急手当講習会による普及啓発により、心臓突然死の減少につなげ、市民が安心して過ごせる環境をつくるもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 健康増進検診の実施(令和元年度)
 - 健康保険未加入者健診 354人
 - 肝炎ウイルス検診 2,536人
 - 骨粗しょう症検診 3,945人
 - 緑内障検診 907人
 - 胃がんリスク検診 1,575人
- 検診の周知啓発
 - 肝炎予防デー、骨粗しょう症デー、緑内障週間等の機会を捉え広く周知啓発を行う。
 - 広報掲載
 - 骨粗しょう症デーに合わせたイベント啓発
 - 受診券の見直し(見やすく、分かりやすく)
- AED設置事業
 - AEDの新規配備 5台
 - 更新配備 13台(総数171台。本体は8年で更新。)
 - AEDの消耗品交換 パッドは2年、バッテリーは4年で交換。
 - 普通救命講習会の開催
 - 職員向け 1回・受講者20人
 - 指定管理者及び職員向け 1回・受講者15人

胃がんリスク検診を実施することで、リスク者が層別化されるが、その後の精密検診へつなぐことによりがんが発見されるため、精密検査率を上げる必要がある。
 世界肝炎デーや緑内障週間、骨粗しょう症デーなどの機会を捉えて有効な周知啓発が実施できた。
 また、市有施設のAEDを適正に管理するとともに、民間施設も含めたAEDの設置場所の周知や、心配蘇生法を含めた救命講習の普及啓発を進める。

< 指標の達成状況 >

	総合評価		A		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	胃がんリスク検診精密検査受診率				
指標の設定理由	胃がん発症リスクの低減を図るための指標となるため				
目標値		82.0%	84.0%	86.0%	88.0%
実績値	71.8%	79.4%	74.6%	58.2%	
達成度	#DIV/0!	96.8%	88.8%	67.7%	-
成果指標(指標名)	普通救命講習会受講者数(人)				
指標の設定理由	講習会の受講促進が確認できるため				
目標値		5,800	5,850	5,900	5,950
実績値	5,778	8,222	8,637	7,571	
達成度	#DIV/0!	141.8%	147.6%	128.3%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	44,375	47,107	47,289	41,880	42,095					
国・県	22,561	19,274	20,970	20,080						
利用者負担金										
その他										
一般財源	0	27,833	26,319	21,800						
人件費(千円)	27,919	人工	15,118	人工	9,785	人工	10,883	人工		人工
正規	25,838	3.36	14,193	1.87	9,136	1.21	10,228	1.33		
嘱託	2,081	0.73	925	0.32	649	0.22	656	0.23		
合計コスト +	72,294		62,225		57,074		52,763		42,095	
前年度比	-		86.1%		91.7%		92.4%		-	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	補助金(健康づくり課)
-------	-------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち	市長公約	主な取り組み
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金(健康づくり課)

< 事業の狙い >	事業計画年度	~
市の検診等を行う医師会医療センターの、老朽化が進んだ医療機器を更新することにより、更なる精度向上やがん検診の受診率向上に活用する。 また、各種がん検診の実施方法や検査結果をまとめることにより、確実に適切な検診体制につなげる。		

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 医療機器等更新事業(交付先:松本市医師会)	6,609,600円
デジタルマンモグラフィ装置	
13,219,200円 × 1/2 = 6,609,600円	
2 がん検診評価事業補助金	460,877円
過去に市が行った各種がん検診について、年度ごとに検診の実施方法、受診率、要精検率、精検結果等を報告書にまとめ、今後のがん検診に役立つもの	
胃がん検診	96,800円
大腸がん検診	109,215円
前立腺がん検診	58,276円
ABCリスク検診	123,876円
乳がん検診	72,710円

導入計画に基づく機器の更新により、早期発見、早期治療の一端を担い、市民の健康寿命延伸を進める。 がん検診評価事業を定期的に行い、今後のがん検診に役立つ。

< 指標の達成状況 >	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	15,491	11,263	7,140	7,070	0
国・県					
利用者負担金					
その他					
s	15,491	11,263	7,140	7,070	
人件費(千円)	0	人工	0	人工	378
正規	0		0		378
嘱託	0		0		0.05
					385
					0.05
					0
					0
合計コスト +	15,491	11,263	7,518	7,455	0
前年度比	-	72.7%	66.7%	99.2%	-

事務事業評価票

事務事業名	健康増進対策（歯科検診）
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	健康増進対策事業

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち		主な取組み	市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

生涯にわたる口腔ケアの意識づけや歯周疾患の予防をはかるため、第2期松本市健康づくり計画に基づいて、歯科検診および健康教育事業を実施するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 健康増進事業(受診者数)
 歯周疾患を予防するため、歯周組織の状態について健診する。20歳については、
 親知らずの状態を調べるためにパノラレントゲン撮影を行う。
 歯周疾患検診(30・40・50・60・70歳) 1,143人
 妊婦歯科検診 704人
 はたちのパノラマ健診(20歳) 221人

2 歯科健康教育
 歯科衛生士が、歯科疾患の予防、口腔機能の維持・向上に関する適切な情報を提供する。
 <実施人数> 1,414人(うち学童445人 その保護者146人)

・歯科検診受診率を上げるための、特に若い世代への働きかけとして、30・40・50歳の年度中途の歯周疾患検診未受診者へ再勧奨の実施は効果があったため、引き続き再勧奨を行っていく。
 ・身近な地域での健康教育とともに、学童およびその保護者への歯科健康教育も行うことが増えてきている。若いうちから生涯にわたる口腔ケアの意識づけになるよう、各世代に見合ったアプローチを行っていきたい。

< 指標の達成状況 >

	総合評価		A		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	歯周疾患検診受診率(%)				
指標の設定理由	市から働きかけた検診の受診状況が把握できるため				
目標値	6.0	7.4	7.8	7.8	8.0
実績値	6.6	6.4	7.4	7.5	
達成度	110.0%	86.5%	94.9%	96.2%	-
成果指標(指標名)	歯科健康教育受講者数(人)				
指標の設定理由	歯科疾患予防等を働きかけた人数が把握できるため				
目標値	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
実績値	1,134	1,270	1,489	1,414	
達成度	103.1%	115.5%	135.4%	128.5%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	8,428	6,431	7,626	9,210	8,608
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	8,428	6,431	7,626	9,210	8,608
人件費(千円)	7,198	人工	5,815	人工	8,088
正規	5,460	0.71	4,023	0.53	5,285
嘱託	1,739	0.61	1,792	0.62	2,803
					0.95
					2,736
					0.96
					0
					0
合計コスト +	15,626	12,246	15,714	17,329	8,608
前年度比	-	78.4%	128.3%	110.3%	-

事務事業評価票

事務事業名	グッドヘルス推進事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	グッドヘルス推進事業費

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち	市長公約	主な取組み	生活習慣病の予防と重症化予防の支援
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進		5つの重点目標	
				松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

生活習慣病予防のポピュレーションアプローチとして、働き盛り世代(概ね20歳~59歳まで)へ基礎知識の普及を行うことにより、対象者が行動変容をおこし、将来的に医療費削減、健康寿命延伸につながることを目的とする。

- < 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >
- 働く世代生活習慣病予防事業
 企業からの申込を受け、生活習慣病予防の観点からメタボリックシンドローム、食行動、運動、こころの健康、たばこ、歯の健康などについての出前講座を実施する。(元年度実績72回2,334人)
 商工会議所「ヘルスの日」の待ち時間に出前講座を実施する。(元年度実績38回652人)
 - 健康相談事業、訪問指導
 希望者を対象として、各保健センター、支所・出張所等で、保健師や歯科衛生士等が面接及び電話による相談を行う。
 検診の要指導者や妊産婦・乳児で支援が必要な者、その他在宅療養者で相談及び支援が必要と認められる者を保健師、看護師等が訪問し、生活習慣病の重点対策疾患の予防、介護予防及び保健・医療・福祉サービスの調整を図る。
 - 職員研修
 職員の専門性を高めるため各種研修会を計画・実施・参加
 - 「健康福祉21市民会議」健康・母子専門員会(年3回開催)
 健康づくり計画の策定、施策の検討及び助言

働く世代の生活習慣病予防事業では、平成29年度から建設業界へのアプローチを行った結果、平成30年度以降建設関係の事業所が増え参加人数が増加した。この事業は、働き盛り世代の無関心層にアプローチできる貴重な機会であることから、今後も周知・啓発していく必要がある。

< 指標の達成状況 >

		総合評価		A	
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	商工会議所健康診断・職場で健康講座 実施回数				
指標の設定理由	働き盛り世代への基礎知識普及の頻度				
目標値	90	90	90	90	
実績値	69	66	82	108	
達成度	76.7%	73.3%	91.1%	120.0%	
成果指標(指標名)	商工会議所健康診断・職場で健康講座 講座受講人数				
指標の設定理由	健康講座への参加人数を基礎知識普及の人数とする。				
目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	
実績値	1,813	1,615	2,462	2,994	
達成度	90.7%	80.8%	123.1%	149.7%	

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	5,332	3,807	3,540	3,400	0
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	5,332	3,807	3,540	3,400	
人件費(千円)	59,244	63,002	70,768	71,961	0
正規	42,372	44,477	55,870	59,136	0
嘱託	16,872	18,525	14,898	12,825	0
合計コスト +	64,576	66,809	74,308	75,361	0
前年度比	-	103.5%	111.2%	101.4%	-

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	環境保健サーベイランス事業
-------	---------------

<第10次基本計画の位置付け> <市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	環境保健サーベイランス事業

<事業の狙い>

事業計画年度	~
--------	---

地域集団の健康状態と環境汚染に関する観察を行い、必要な措置を講ずるもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 国からの委託事業
- 地域集団の健康状態の調査票の回収を行い、国へ報告し国が大気汚染との関係を観察する。
(3歳児 2,020人 6歳児 1,947人)
(1)調査内容
3歳児、6歳児とも授乳方法、居住期間、暖房の種類、呼吸器疾患に係る家族歴等大気汚染以外で呼吸器症状に影響を及ぼす可能性がある項目や、本人の呼吸器症状に関する情報について調査する。

環境省からの委託調査事業である。
松本市については、大気汚染による影響は出ていないと思われるが、引き続き、市民の健康状態と環境汚染に関する観察を続ける必要がある。

<指標の達成状況>

区分	総合評価				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	2,948		1,695		1,720		1,521		1,720	
国・県	2,948		1,695		1,720		1,521		1,720	
利用者負担金										
その他										
一般財源										
人件費(千円)	2,230	人工	3,256	人工	3,168	人工	3,728	人工	0	人工
正規	2,230	0.29	3,112	0.41	3,020	0.4	3,614	0.47	0	
嘱託	0		145	0.05	148	0.05	114	0.04	0	
合計コスト +	5,178		4,951		4,888		5,249		1,720	
前年度比	-		95.6%		98.7%		107.4%		-	

事務事業評価票

事務事業名	健康づくり体制推進事業
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	健康づくり体制推進事業

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

市内全地区に健康づくり推進員を配置し、関係機関との連携及び保健福祉事業が地域全般にいきわたるよう学習し実践すること。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 健康づくり推進員の活動 (862名)
 自らの健康のために進んで研修会等に参加し、実践(予防)する。
 連合会総会1回 役員会6回 理事会6回 全体研修会2回 地区三役研修会1回 エリア別研修会4回 他
 地域保健福祉活動の向上と健康づくりの推進のために、地域ごとの研修会や健康に関する教室を開催する。
 市の保健福祉行政がスムーズに地域全般にゆきわたるため努力する。
 地区の健康を守る担い手として、地域住民からの健康づくりに関する意見を行政に反映するとともに、支援を必要とする方を地区担当保健師や行政に連絡する。

2 各地区事業
 地区担当保健師が各地区の事務局として、推進員と共に地区の健康課題等に取り組んでいる。
 (地区総会、定例会、学習会、福祉事業等への参加協力、各種検診勧奨他)

3 地区活動への後方支援
 地区での活動を効率よく効果的に進めるため、推進員育成マニュアルや活動事例集の作成、他地区の好事例紹介等を通じ、地区活動の後方支援を行う。

地区組織や行政と連携して、保健福祉活動の啓発及び健康づくりの役割を果たしている。

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取組み		地域ケア体制の整備で医療・介護不安の解消
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
			松本版総合戦略

< 指標の達成状況 >

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	健康づくり推進員経験者数				
指標の設定理由	経験者を増やすことで、地域での健康づくり活動普及につながるため				
目標値	17,000	17,800	17,800	18,600	18,600
実績値	16,734	17,626	17,668	18,530	
達成度	98.4%	99.0%	99.3%	99.6%	-
成果指標(指標名)	任期2年間を通じた意識・行動変容の有無				
指標の設定理由	健康意識の高い市民の増加につながるため				
目標値	100	100	100	100	100
実績値	94.5	93.0	93.0	92.1	
達成度	94.5%	93.0%	93.0%	92.1%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	13,312	13,300	13,460	13,170	0
国・県	610	610	610	610	
利用者負担金					
その他					
一般財源	12,702	12,690	12,850	12,560	
人件費(千円)	29,670	30,976	35,586	34,414	0
正規	24,454	26,034	30,276	29,683	0
嘱託	5,216	4,942	5,310	4,731	0
合計コスト +	42,982	44,276	49,046	47,584	0
前年度比	-	103.0%	110.8%	97.0%	-

事務事業評価票

事務事業名	まちかど健康相談
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	まちかど健康相談事業

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市 長 公 約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち		主な取組み		市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進		5つの重点目標	1	健康とくすなづくり
				松本版総合戦略		

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

< 事業の狙い >

事業計画年度 28年度～32年度

市民が自分自身の健康に関心を持ち、若い頃からの健康づくりに取り組むきっかけづくり及び健(検)診の受診率向上につながることを目的に、市民が多く参加するイベントなどで、生活習慣病及び認知症等の予防啓発や相談を気軽にできる機会を設ける。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 連携をしている企業(ローソン)や市民が多く集まるイベントなどで、健康について意識してもらいきっかけとなるよう、短時間で行える体験型の健康チェック、健康相談等を行う。
健康チェック及び健康相談
健(検)診のPR及び申込受付
健康に関する情報配信・常設の健康相談等の紹介等

1 健康無関心層へのアプローチとして、場所により手法を検討し内容を絞り込む。
2 市民にPRできる場を設定するため、より市民が参加するイベント等の会場に出向く。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	実施回数				
指標の設定理由	PRできた実施回数(会場)				
目標値	11	9	9	9	9
実績値	11	9	9	15	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	166.7%	-
成果指標(指標名)	来場者数(延)				
指標の設定理由	健康に関する情報提供等働きかけた(PRできた)人数				
目標値	1,100	1,000	1,000	1,000	1,000
実績値	1,144	1,142	1,060	5,643	
達成度	104.0%	114.2%	106.0%	564.3%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	128		170		160		330		280	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	128		170		160		330		280	
人件費(千円)	4,438	人工	3,860	人工	4,763	人工	5,186.7	人工		人工
正規	4,153	0.54	3,340	0.44	4,379	0.58	4,844.7	0.63		
嘱託	285	0.1	520	0.18	384	0.13	342	0.12		
合計コスト +	4,566		4,030		4,923		5,517		280	
前年度比	-		88.3%		122.2%		112.1%		-	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	がん検診推進事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	がん検診推進事業

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取組み		市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
			松本版総合戦略

< 事業の狙い >

事業計画年度 H28 ~ R2

松本市の死亡原因の1位であるがんによる死亡を減少させるため、各がん検診の受診率の向上に取り組み、がんの早期発見・早期治療につなげるもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 各がん検診受診者数(受診率)(令和元年度)

(1)胃がん検診 2,985人	(4)子宮頸がん検診 9,284人
(2)大腸がん検診 17,244人	(5)乳がん検診 10,929人
(3)肺がん検診 16,921人	(6)前立腺がん検診 6,331人
- 無料クーポン事業
 定期受診促進のため、各がんの発症が多くなる年齢または検診受診きっかけ年齢の者に対して無料検診を実施(子宮頸がん:21歳女性、乳がんマンモグラフィ:41歳女性、大腸:40歳、肺CT:50歳・60歳の者に対して実施)
- 個別の受診再勧奨
 再勧奨通知の他に、電話による個別勧奨も行い検診受診を促した。他にメディアを活用した啓発にも取り組んだ。
- 受診しやすい環境整備
 女性のがん罹患率1位が乳がんであり、35歳女性には乳がん超音波検診無料クーポン事業を41歳女性には乳がんマンモ検診無料クーポン事業を実施している。
- 精密検査未受診者に対する受診再勧奨
 要精密検査者に対して、確実に精密検査を受診するよう勧奨した。

平成元年度からは、大腸がん検診の受診料をワンコインにして受診しやすい体制づくりを周知活動を行い、受診率向上を図ったほか、女性のがん死亡の第1位である大腸がん検診を、乳がん検診及び子宮がん検診とセット検診できるようにした。乳がん検診受診率は伸びているが、大腸がん検診受診率は横ばいのため、今後も周知活動を工夫し継続する。

< 指標の達成状況 >

総合評価 A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	がん検診受診者数				
指標の設定理由	市の実施するがん検診全体の進捗状況を確認できるため				
目標値	65,304	71,827	74,889	77,294	79,755
実績値	62,696	63,343	65,170	63,694	
達成度	96.0%	88.2%	87.0%	82.4%	-
成果指標(指標名)	がん検診受診率(乳がん検診)				
指標の設定理由	受診率を確認できるため				
目標値	16.8%	22.0%	23.8%	24.8%	
実績値	20.2%	22.1%	23.7%	23.5%	
達成度	120.2%	100.2%	99.5%	94.8%	

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	248,307	261,481	270,230	268,400	281,520
国・県	1,144	511	430	430	
利用者負担金	6,926	5,834	6,420	5,970	
その他					
一般財源	240,237	255,136	263,380	262,000	
人件費(千円)	32,472	31,572	33,418	34,119	
正規	27,684	26,717	27,105	27,992	
嘱託	4,788	4,855	6,313	6,128	
合計コスト +	280,779	293,053	303,648	302,519	281,520
前年度比	-	104.4%	103.6%	99.6%	-

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	受動喫煙防止推進事業
-------	------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します	
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち		主な取組み	市民一人ひとりの健康づくりを支援		
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標				
			松本版総合戦略				

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	受動喫煙防止「松本スタイル」推進事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

喫煙及び受動喫煙による健康被害の防止のため松本市受動喫煙防止に関する条例を制定し、禁煙及び受動喫煙防止に係る周知・啓発、教育、健康相談・保健指導等に取り組むもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 禁煙に向けた環境整備
受動喫煙防止に関する条例の施行・たばこ対策推進協議会(会議2回)
禁煙エリア「受動喫煙防止区域」の指定及び「指定喫煙所(禁煙啓発所)」の設置(松本駅お城口広場周辺市街地)
受動喫煙防止啓発パトロールの実施及び街頭啓発(街頭啓発23回・2,083人)
イベント会場などでの啓発の実施(まちかど健康相談・信金講演会等 6回・約4,160人)
- 家庭や職場等での受動喫煙の防止
乳幼児や妊婦・家族への対策の徹底
妊娠届出時の啓発1,834人、園児等の喫煙防止教育の実施26園、子育て出前講座(80回 延べ1,485人)35地区での啓発活動(289回 延べ6,332人)(1月末現在)
職場での受動喫煙防止の徹底
働く世代への啓発 2,256人、働く世代たばこ健康講座(3回 145人)
パートナーシップ(2回25人) 商工ヘルス(38回 延べ652人)
その他
健康づくり推進員理事会 タクシー協会理事会 消防団分団長会など(14回 470回)
- 青少年へのたばこの害に関する教育の強化
小中学生(喫煙防止講義39校、ポスター作品募集23名・作品展45日間)
成人式参加者へ啓発資料の送付(1,950人)
PTA向け受動喫煙防止啓発講演会開催
- 禁煙へ導く各種体制の充実
禁煙相談の実施等(4保健センターでの相談、肺がん検診時の指導等)特定保健指導49人
禁煙へ導く具体的な事例紹介等(禁煙指導ガイドライン作成 薬局での禁煙指導開始 健診機関との連携)
指定喫煙所(禁煙啓発所)におけるデジタルサイネージを活用した禁煙啓発の開始

現状に対する認識

健康増進法の改正や受動喫煙防止条例ができ受動喫煙の観点からの環境は整いつつある。今年度は無関心層への働きかけを多く実施した。引き続き、特定健診での喫煙率が減らない現状があり、働く世代、子育て世代への禁煙に向けた働きかけ、更には初めの一本を吸わせない環境づくりに取り組む。
・育児期間中の両親の喫煙率 父 31.5% 母 3.6% 特定健診受診者の喫煙率の推移(H28年12.5% H29年12.0% H30年12.0% R1年11.8%)
・妊娠中～乳児期の母の喫煙率(妊娠中1.8% 4カ月2.6% 1歳半3.5% 3歳4.7%)

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	育児期間中(3歳以下)の両親喫煙率(父親)				
指標の設定理由	家庭への喫煙防止教育の効果が測定できるため。				
目標値	32.0%	31.5%	31.0%	30.5%	30.0%
実績値	32.0%	32.7%	31.2%	31.5%	
達成度	100.0%	103.8%	100.6%	103.3%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	607	844	1,180	36,590	0					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	607	844	1,180	36,590						
人件費(千円)	5,901	人工	9,339	人工	17,483	人工	16,991	人工		人工
正規	5,844	0.76	7,894	1.04	17,365	2.3	16,872	2.22		
嘱託	57	0.02	1,445	0.5	118	0.04	119	0.04		
合計コスト +	6,508		10,183		18,663		53,581			0
前年度比	-		156.5%		183.3%		287.1%			-

事務事業評価票

事務事業名	身体活動維持向上事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	身体活動維持向上事業

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち	市長公約	主な取組み		市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進		5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
				松本版総合戦略		

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

松本市の要介護の主原因は、「高齢による衰弱」と「骨折転倒」が多く、からだの機能の衰えをが引き金となっている。
 からだの機能の衰えを防ぐため、ロコモティブシンドロームの予防啓発を広く行い、地域で自主的かつ継続的に運動に取り組める仕組みを作る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 体力健診事業 40歳以上市民に対し、身近な場所で体力測定を実施し、運動を行うきっかけづくりを行う。 ・健康づくり推進員等、各種団体 35回 ・がん検診受診者 12回(松本大学委託) ・ふれあい健康教室での実施 25回 ・その他高齢者対象の実施 19回
2 体力づくりサポーター育成事業 (1) 新規体力づくりサポーター育成のため、講座の実施 2講座(南部・北部保健センター) 新規登録者数 37名 ・全登録者数 444名 (2) 地区活動支援と活動内容 ア 各地区での地区集会の実施(R1 116回)、男性会員集会 1回 イ 各種研修会の実施(R1 全体研修会1回・リーダー研修会1回) (3) 体力づくりリーダーサポーター育成 2年以上経過したサポーターの方に対し、ステップアップ研修を実施し、受講後はリーダーサポーターとして登録し、地区での運動支援を積極的に行う人材を育成。 新規登録者数 50名、全登録者100名
3 骨粗しょう症予防事業 (1) 骨粗しょう症検診後のフォロー講座 3講座 参加実数57名 (2) 骨粗しょう症予防の周知啓発(世界骨粗しょう症デーに合わせて、チラシ配布・イオンモールでの啓発等)、乳児検診等でのチラシ配布
4 市民歩こう運動推進事業 健康づくりのために日常生活に歩くことを積極的に取入れるための周知、啓発 (1) ウォーキングマップを活用したウォーキングイベントを35地区で実施309回 参加延数5,861人 (2) 10月の強化月間での周知啓発(広報まつもと特集ページ・健康標語の階段掲示等) (3) ウォーキング講座の実施(体力づくりサポーターに対して2講座)
5 自主運動サークル支援事業(今年度新規) 運動を取入れたサークルの立ち上げ支援をし、住民主体の通いの場を創出する。 (1) 地区分析等を活用し、様々な機会でも周知啓発(156回 3,018人) (2) 自主サークル育成のため、講座の実施(全4回) (R1 28ヵ所 実人数 524人)

体力健診では、できるだけ若い世代、無関心層へのアプローチとして、がん検診と同時間開催した。来年度は、特定健診結果説明会でも実施し、運動習慣の定着へとつなげる。

令和元年度から、自主運動サークル支援事業を行い、市内32ヶ所で「いきいき百歳体操」を週1回実施するサークルを立ち上げた。来年度も引き続き、周知啓発を行い、高齢者の1割が、何らかの集いに参加することを目標に、サークル立ち上げを支援する。

< 指標の達成状況 >

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	体力づくりサポーター登録者数(2月末時点)				
指標の設定理由	自主的かつ継続的に運動に取り組む仕組みができてきているかの指標				
目標値	454	525	525	525	525
実績値	421	485	483	444	
達成度	92.7%	92.4%	92.0%	84.6%	-
成果指標(指標名)	自主運動サークル数(いきいき百歳体操サークル数)				
指標の設定理由	住民主体の通いの場に高齢者の1割が参加しているかの指標				
目標値				10	47
実績値				32	
達成度				320.0%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
事業費(千円)	2,586	1,587	1,466	2,342	1,610				
国・県									
利用者負担金									
その他	653	510							
一般財源	1,933	1,077	1,850	2,560					
人件費(千円)	24,011	人工	17,503	人工	24,267	人工	人工		
正規	23,070	3	16,319	2.15	23,103	3.06	23,070	3	
嘱託	941	0.33	1,185	0.41	1,269	0.43	1,197	0.42	
合計コスト +	26,597		19,090		25,838		26,609		1,610
前年度比	-		71.8%		135.3%		103.0%		-

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	こどもの生活習慣改善事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	こどもの生活習慣改善事業

< 事業の狙い >

事業計画年度

28 ~ 32

こどもの時期から、望ましい運動習慣及び食習慣の重要性を意識づけることにより、将来の生活習慣病を予防するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 学校出前講座(「生活習慣」・「運動」・「栄養」等の保健指導プログラムの実施
 対象 主に小学校4年生・中学2年生・保護者
 (令和元年 小学校40回 2,896人 中学校4回 355人)
- 親子運動あそびプログラムの実施
 親子で、運動遊び等を通じ、からだを動かす楽しさを体験し、運動習慣の定着を図る。
 (令和元年 会場 松本大学 参加数延べ 子ども144人 保護者100人)
- 啓発・情報提供事業
 小4児童・中2・中3生徒及びその保護者に、意識啓発・情報提供を目的として年3回健康情報通信配布

・こどもの時期からの望ましい運動習慣及び食習慣の重要性を意識づけることにより、健やかな心と体の発達を促し、体の土台を作ることにより、将来の生活習慣病を予防するもの。
 ・学校保健指導プログラムの見直しを実施した。学校担当保健師は今までどおり配置し、学校の養護教諭等、と連携して地域の健康課題を共有・連携して予防活動に取り組んでいく。
 ・親子運動遊びプログラムについても見直しを実施した。より身近な地域での実施について地区公民館等と連携していく。
 ・子どもの将来の健康について当課だけではなく、保育課、学校、公民館等の関係課とともに課題の共有・連携して取り組んでいく。

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取り組み		生活習慣病の予防と重症化予防の支援
		5つの重点目標	
		松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	学校出前講座 受講者数				
指標の設定理由	過去5年間の出前講座受講者数の平均				
目標値		7,600	7,600	7,600	7,600
実績値	8,166	7,215	4,689	3,251	
達成度	#DIV/0!	94.9%	61.7%	42.8%	-
成果指標(指標名)	朝食をとる割合				
指標の設定理由	望ましい食生活習慣の定着を図る				
目標値		95.0%	96.0%	97.0%	100%に近づける
実績値	94.2%	95.4%	95.4%	95.4%	
達成度	#DIV/0!	100.4%	99.4%	98.4%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	774		837		770		625		0	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	774		837		770		625			
人件費(千円)	15,817	人工	10,929	人工	14,576	人工	13,909	人工		人工
正規	14,534	1.89	9,108	1.2	12,835	1.7	12,227	1.59		
嘱託	1,283	0.45	1,821	0.63	1,741	0.59	1,682	0.59		
合計コスト +	16,591		11,766		15,346		14,534		0	
前年度比	-		70.9%		130.4%		94.7%		-	

事務事業評価票

事務事業名	食育推進事業
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	食育推進事業費

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取組み		市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
			松本版総合戦略

< 事業の狙い >

事業計画年度

平成28年度～平成32年度

「第3期松本市食育推進計画」に基づき、市民一人ひとりが自主的に豊かな食習慣を育み、より実践しやすい食育の取り組みを推進するもの。
 第2期計画に引き続き「1日2食は3皿運動」を推進するために、「おいしく食べよう具だくさんみそ汁運動」及び「よくかむ30かみかみ運動～飲み込む前にあと5回～」を取組みの柱として、これまでの運動をより実践につなげるよう展開する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 食生活改善栄養指導事業
 望ましい食生活を実践する人を増やすため、食生活改善推進員と協働で、健康づくり推進員や市民を対象に、栄養講話、調理実習を実施する。
 ・統一テーマ 35回745人 ・地区独自テーマ 53回1,229人
- 食生活改善推進員養成事業
 地域で食生活改善に関するボランティア活動をする人を増やすため、市内2会場において食生活改善推進員養成教室を実施
 ・修了者数 20名 ・新規加入者 22名(加入率75.9%)
- 周知啓発活動
 ・具だくさんみそ汁コンテストの実施
 応募数: 子どもの部18件 一般の部79件
 ・働く世代へのPR 「労政まつもと」へ掲載
 ・図書館食育テーマ展示 市内全11館において2回
 ・食育啓発しおり配布(3,000枚)
 ・食育パネル展及びイベント
 イオン南松本店(1週間) 八十二銀行ウインドギャラリー(2週間)
 学都松本フォーラム:
 具だくさんみそ汁試食(200食) クイズラリー(100名) 食育体験(60名)
- ライフイベントに応じた情報提供(レシピ集配布)
 ・中学卒業 2,499冊 ・高校卒業 2,845冊
 ・新社会人、成人 272冊 ・退職者 100冊

第3期計画に基づき、豊かな食習慣を育み、健全な食生活を実践することができる人を増やすため、より手軽に取組みやすい方法を通し、個人の実践に結びつくような食育を広げていくため、庁内関係課、関係団体、企業等と連携し、さまざまな事業を展開する。

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	食生活改善推進協議会の新規入会者数(前年度教室修了者対象)				
指標の設定理由	地域での食育推進のため、地域資源となる会員の増加を測る。				
目標値	25	30	30	30	30
実績値	38	21	23	22	
達成度	152.0%	70.0%	76.7%	73.3%	-
成果指標(指標名)	食生活改善栄養指導教室の参加者満足度(生活の参考になった率)				
指標の設定理由	健康増進に関わる人や市民の食生活改善に対する意識の変化を測る。				
目標値	95.00%	95%	100%	100%	100%
実績値	96.90%	97.50%	98.60%	97.5	
達成度	102.0%	102.6%	98.6%	97.5%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	1,480		3,534		3,110		2,250		0	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,480		3,534		3,110		2,250			
人件費(千円)	16,713	人工	24,567	人工	26,831	人工	26,829	人工		人工
正規	12,381	1.61	19,279	2.54	19,102	2.53	19,533	2.54		
嘱託	4,332	1.52	5,289	1.83	7,729	2.62	7,296	2.56		
合計コスト +	18,193		28,101		29,941		29,079		0	
前年度比	-		154.5%		106.5%		97.1%		-	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	自殺予防対策事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち		主な取組み		
基本施策(個別目標)	112	心の健康づくりの推進		5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
				松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	自殺予防対策事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H29～R5

自殺予防に関して、市民の啓発、相談体制の強化、身近な地域での見守り体制の構築等、総合的な対策を推進する

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 普及・啓発・教育の推進
 広報の掲載(9月)
 自殺予防街頭キャンペーン(3月)
 青少年への教育・啓発
 ・市内中学2年生へのパンフレットの配布
 ・市内中学3年生と高校3年生に配布する新生活応援レシピ集にコラム掲載
- 相談・支援体制の充実
 自殺予防専用相談「いのちのきずな松本」の開設
 令和元年度 実人数 55人
- 気づき・見守る地域づくり
 地域支援者養成講座:民生児童委員、健康づくり推進員等へ情報提供
 令和元年度 2,371人
- 関係団体との連携
 自殺予防対策推進協議会の開催
- 第2期自殺予防対策推進計画の策定

平成29年度策定の第2期自殺予防対策推進計画に基づき事業を展開するとともに、より一層若年者及び働き盛り世代への対応の強化を進める。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	地域支援者の養成				
指標の設定理由	身近な地域で支える人の増加を図るため				
目標値	2,000	2,100	2,400	2,500	2,550
実績値	2,043	2,352	2,888	2,371	
達成度	102.2%	112.0%	120.3%	94.8%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	8,831		10,200		9,970		10,340		0	
国・県	4,501		5,382		5,610		5,985			
利用者負担金										
その他										
一般財源	4,330		4,818		4,360		4,355			
人件費(千円)	19,952	人工	25,072	人工	19,341	人工	19,541	人工		人工
正規	19,610	2.55	24,668	3.25	19,253	2.55	19,456	2.53		
嘱託	342	0.12	405	0.14	89	0.03	86	0.03		
合計コスト +	28,783		35,272		29,311		29,881		0	
前年度比	-		122.5%		83.1%		101.9%		-	

事務事業評価票

事務事業名	認知症予防対策事業
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	認知症予防対策事業

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち	主な取組み		生活習慣病の予防と重症化予防の支援
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	1	健康とくすなづくり
			松本版総合戦略		

< 事業の狙い >

事業計画年度	H28 ~ R2
--------	----------

若いときからの生活習慣が、将来の認知症予防につながることを幅広く啓発する。
市民及び市内在勤者が、生活習慣病と認知症の関係に気づき、予防のための行動を継続して行うことができるきっかけとする。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 生活習慣病と認知症の関係の啓発を行う。
(1)パンフレットを用いた啓発(地区事業、課事業、庁内事業等での周知)
(2)連携企業従業員への周知・啓発
(3)連携事業参加者、施設利用者への配布
(4)ホームページ、イクジイへの掲載
- より若い世代、子育て世代、働き盛り世代にターゲットをあて、在勤者も含め、健康無関心層への周知啓発のため、協賛企業等からの景品提供等により抽選でインセンティブを付与する。
(平成30年度 参加者のうち20～50代の割合 36.9%)
- 生活習慣病と認知症の関係を知ったうえで、自身の健康目標を立て30日間継続して実践した方が応募するというステップにより、努力した方へのインセンティブの付与とする。

- 生活習慣病と認知症との関連を知る市民が増えるという底辺の拡大は継続。
- 認知症予防について学んだうえで、健康目標を自身で設定し、30日間継続して実践した方が応募するというステップにより、努力した方へのインセンティブの付与とすることは継続。
- 健康無関心層である若い世代(学生等)、子育て世代、働き盛り世代の事業参加を促す。
- 生活習慣病予防のための生活を継続し、習慣化できているかの効果検証を行う。

< 指標の達成状況 >

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	参加者のうち、若い世代(20～50代)の割合				
指標の設定理由	若い世代の参加率をはかるため				
目標値	35.0%	40.0%	42.0%	44.0%	46.0%
実績値	39.8%	38.6%	36.9%	43.0%	
達成度	113.7%	96.5%	87.9%	97.7%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	1,047	1,280	1,100	1,230	1,310
国・県					
利用者負担金					
その他				250	262
一般財源	1,047	1,280	1,100	980	1,048
人件費(千円)	5,449	7,658	8,347	9,074.7	
正規	5,306	6,907	7,550	8,305.2	
嘱託	143	751	797	769.5	
人工	0.69	0.91	1	1.08	
人工	0.05	0.26	0.27	0.27	
合計コスト +	6,496	8,938	9,447	10,305	1,310
前年度比	-	137.6%	105.7%	109.1%	-

事務事業評価票

事務事業名	母子健康対策
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	母子健康対策費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

安心して妊娠・出産でき、子育てに喜びを感じ、心にゆとりを持って子育てができる環境づくりをめざすもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 母子健康手帳の交付
妊娠・出産・育児に関する母子の健康状態を記録するものとして、妊娠届の際に交付。
併せて、保健師が全数面接を行い相談・支援を実施。
(妊娠届出者数 1,732人)
(子育て支援アプリの登録数 725件)
- 妊産婦・新生児訪問
児の心身の健全な発育と保護者の育児支援を行うため、訪問により身体測定、発達観察、育児・健康相談を実施。
(訪問数 妊産婦1,161人 新生児訪問1,143人)
- 母子関係機関との連携
切れ目なく健全な子育てを支援するため、健診・分娩病院や他市町村との情報共有、ケース検討等実施。(連携数 608件)

少子化・核家族化・疾病を抱える保護者の増加等により、育児に不安を持つ親が増えていることから、安心して育児ができるよう事業の充実を図るとともに、関係機関との連携等妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行い、相談・支援体制の強化を図ります。

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		松本地域で協力した出産体制を維持
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	子育てに負担を感じた時に対処法がある母親の割合(%) 3歳児健診時				
指標の設定理由	子育てに負担を感じる母親へのサポート状況を把握できる				
目標値	100	100	100	100	100
実績値	76.9	74.0	74.2	78.1	
達成度	76.9%	74.0%	74.2%	78.1%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	4,876	4,272	4,798	5,910	0
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	4,876	4,272	4,798	5,910	
人件費(千円)	32,036	33,436	37,673	36,235	
正規	26,992	25,806	31,861	30,991	
嘱託	5,045	7,630	5,812	5,244	
人工	3.51	3.4	4.22	4.03	
	1.77	2.64	1.97	1.84	
合計コスト +	36,912	37,708	42,471	42,145	0
前年度比	-	102.2%	112.6%	99.2%	-

事務事業評価票

事務事業名	母子健康対策
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	母子健康対策費

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		松本地域で協力した出産体制を維持
5つの重点目標		
松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

安心して妊娠・出産でき、子育てに喜びを感じ、心にゆとりを持って子育てができる環境づくりをめざすもの。(疾病・障害等の早期発見や成長・発達の確認、育児相談を通じ、母子に寄り添った育児支援を行うもの。さらに、幼児期のむし歯予防を通じ、生涯にわたる健康増進と歯周疾患予防を図るもの。)

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 乳児健診(4か月、10か月)
問診、身体測定、発達観察、医師診察、育児相談を実施するもの
4か月:60回1,778人(96.4%) 10か月:60回 1,759人(94.5%)
- 幼児健診(1歳6か月、3歳)
問診、身体測定、発達観察、医師診察、歯科診察、育児相談(3歳のみ尿検査、視聴覚検査、絵本読み聞かせ)を実施するもの。
1歳6か月:60回 1,782人(97.3%) 3歳:60回 1,927人(95.4%)
- 二次乳幼児健診
発達における要経過観察児のフォローと育児支援、安心して子育てができる為の援助
小児神経科医師による個別相談 34回 受診者延数 162人
心理相談 51回 受診者延数 92人
言語発達相談 30回 受診者延数 105人
発達相談 44回 受診者延数 183人
- 精神科医師による個別相談
適切な精神科医医療やサポートが受けられるよう、精神科医師による相談及び治療の見極め等を行い、こころの健康が保たれるように支援するもの。
12回 受診者延数23人
- 幼児歯科管理登録事業
歯科医師会に事業委託し、希望者の口腔内状況を管理し、児の健康増進とむし歯予防をおこなうもの。 420名登録 登録率 22.9%
- 私立保育園歯科集団指導
私立保育園における健康増進とむし歯予防を行うもの。13園実施

< 現状に対する認識 >

少子化・核家族化・疾病を抱える保護者の増加等により、育児に不安を持つ親が増えていることから、安心して育児ができるよう事業の充実を図るとともに、関係機関との連携等妊娠前から子育て期までの切れ目のない支援を行い、その子とその親に寄り添った育児支援が行えるよう相談・支援体制の強化を図ります。
また、幼児期のむし歯予防を通じ、生涯にわたる健康増進と歯周疾患予防を行います。

< 指標の達成状況 >

区分	総合評価				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	乳幼児健診の受診率(4か月、10か月、1歳6か月、3歳の平均)(%)				
指標の設定理由	安心して育児ができるために、健診の場で支援を受けられている状況				
目標値	100	100	100	100	100
実績値	97	97.4	98.4	95.9	
達成度	97.0%	97.4%	98.4%	95.9%	-
成果指標(指標名)	3歳児歯科健診時のう歯保有児数				
指標の設定理由	幼児期にむし歯のある児の状況が把握できる				
目標値	10	10	10	10	10
実績値	9.3	9.4	8.4	7.2	
達成度	107.5%	106.4%	119.0%	138.9%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	33,621		32,985		31,889		29,583		0	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	33,621		32,985		31,889		29,583			
人件費(千円)	55,036	人工	60,215	人工	66,268	人工	60,600	人工		人工
正規	44,833	5.83	46,603	6.14	52,446	6.82	47,063	6.12		
嘱託	10,203	3.58	13,612	4.71	13,823	4.85	13,538	4.75		
合計コスト +	88,657		93,200		98,157		90,183		0	
前年度比	-		105.1%		105.3%		91.9%		-	

事務事業評価票

事務事業名	母子健康対策
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	母子健康対策費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

妊娠期から育児に関する不安の解消のための適切な情報提供や、母子の愛着形成を促すことにより、健やかな子育てを支援する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 両親学級
妊娠期から母性、父性をはぐみ子育ての孤立化を予防する
平日コース 2回コース×6回
休日コース 2回コース×29回 計 延べ 35回 参加者延べ数 1,249人
- 離乳食教室(初期 中期)
離乳食の適切な情報提供と育児支援
初期(5~7カ月) 38回 参加者数 688人
中期(7~8カ月) 30回 参加者数 471人
- 1歳児教室
一歳児における生活習慣の基礎づくり 26回 参加者数 468人
- 子育て出前講座
乳幼児期の成長発達における適切な情報提供と育児支援
79回 参加者数 1,485人
- 多胎児教室
多胎児を育てている妊婦や保護者の子育て不安の解消と多胎児親子の交流
年4回 参加延べ数 104人
- 母子支援教室
タッチケアを通じ早期からの母子愛着形成を促し虐待を予防する
23回×4保健センター 92回 参加者延数 596人

< 現状に対する認識 >

少子化・核家族化・疾病を抱える保護者の増加等により、育児に不安を持つ親が増えていることから、妊娠期から産後も安心して育児ができるよう事業の充実を図るとともに、関係機関との連携等妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行い、相談・支援体制の強化を図ります。
妊娠期から子育て期までの情報提供、親子の交流の場を提供し子育て支援を行ないます。

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		松本地域で協力した出産体制を維持
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	育児不安解消率(両親学級)(%)				
指標の設定理由	妊娠期の育児不安解消は、母子の愛着形成をより促す				
目標値	100	100	100	100	100
実績値	99.3	99.5	99.1	93.9	
達成度	99.3%	99.5%	99.1%	93.9%	
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	5,551	3,133	2,636	2,862	0
国・県			512	509	
利用者負担金					
その他					
一般財源	5,551	3,133	2,124	2,353	
人件費(千円)	25,269	26,815	33,116	38,601	0
正規	20,994	21,556	27,530	33,528	
嘱託	4,275	5,260	5,586	5,073	
合計コスト +	30,820	29,948	35,752	41,463	
前年度比	-	97.2%	119.4%	116.0%	-

事務事業評価票

事務事業名	少子化対策事業
-------	---------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	少子化対策事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

～

妊娠の希望をかなえ、安心して妊娠・出産でき、子育てに喜びを感じ、心にゆとりを持って子育てができる環境づくりをめざすもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 育児ママヘルプサービス
育児不安等、育児困難者支援のため、助産師が訪問し、育児支援や相談を実施するもの。(利用者数 22人)
- 2 産後ケア事業
育児不安等、育児困難者のため、入院やデイケアにより産後の健康管理と育児指導、乳房管理等を実施するもの。(利用者数 デイケア 2人・7日、宿泊55人・189日、母乳・育児相談501人・1,490回)
- 3 母子保健コーディネーター配置事業
子育てを包括的に支援するため、子ども子育て安心ルームを設置。母子保健コーディネーターを配置し、子育てコンシェルジュ、保育コンシェルジュを始め庁内・外の関係機関と連携することにより、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援体制を構築するもの。(健康づくり課に専任で1名配置)
- 4 産婦健診事業
産婦の身体的機能の回復や精神状態を把握し、産後うつや早期発見や新生児への虐待防止を図るもの。(2週間健診 1,311人 1か月健診 1,488人)
- 5 不妊・不育症治療費助成事業
不妊・不育症治療を行っている夫婦の経済的負担の軽減を図るため、治療費の一部(補助率3分の2、上限30万円)を助成金として交付するもの(不妊症 262人 33,976千円 不育症 1人 172千円)

少子化が進む中で、育児に不安を持つ親が増えていることから、安心して育児ができるよう事業の充実を図るとともに、関係機関との連携等妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行い、相談・支援体制の強化を図ります。

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取り組み		松本地域で協力した出産体制を維持
5つの重点目標		
松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	子育てに負担を感じた時に対処法のある母親の割合(%) 3歳児健診時				
指標の設定理由	子育てに負担を感じる母親へのサポート状況を把握できる				
目標値	100	100	100	100	100
実績値	76.9	74.0	74.2	78.1	
達成度	76.9%	74.0%	74.2%	78.1%	0.0%
成果指標(指標名)	合計特殊出生率				
指標の設定理由					
目標値	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56
実績値	1.5	1.5	-	-	
達成度	96.2%	96.2%	-	-	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	42,529	39,850	47,330	62,730	0
国・県	3,090	2,248	4,350	11,830	
利用者負担金	80	151	150	120	
その他					
一般財源	39,359	37,451	42,830	50,780	
人件費(千円)	13,675	17,200	17,599	17,919	
正規	11,766	16,015	16,006	16,380	
嘱託	1,910	1,185	1,593	1,539	
合計コスト +	56,204	57,050	64,929	80,649	0
前年度比	-	101.5%	113.8%	124.2%	-

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	妊婦一般健康推進事業
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち		主な取り組み	松本地域で協力した出産体制を維持
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実	5つの重点目標	2 次世代を育むまちづくり	
				松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	妊婦一般健康推進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

~

母子の健康を保持増進するため、最低限必要となる健診を公費により支援し、経済的負担軽減を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 妊婦一般健康診査
妊娠中の異常を早期に発見し、母子の健康保持・増進を図るもの。
(受診者延数 20,835人)
- 妊婦一般健康診査県外受診
里帰り等で県内で妊婦健康診査を受診できない方や登録外の助産所で受診された方に妊婦健康診査の費用の一部を助成するもの。
(助成者数 185人)

妊娠中の妊婦の健康を維持し、安心・安全な分娩・出産ができるよう健診の必要性を丁寧に説明し、受診率の向上に努めます。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	健診受診率(基本健診受診券発行枚数(14枚)に対する利用数の割合(%))				
指標の設定理由	安全、安心な出産を支える健診受診割合を把握できる。				
目標値	85	85	85	85	85
実績値	86.2	80.6	79.7	82.6	
達成度	101.4%	94.8%	93.8%	97.2%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	214,137		213,988		237,390		223,670		0	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	214,137		213,988		237,390		223,670			
人件費(千円)	4,905	人工	8,149	人工	8,485	人工	8,555	人工		人工
正規	3,537	0.46	5,693	0.75	5,889	0.78	6,075	0.79		
嘱託	1,368	0.48	2,457	0.85	2,596	0.88	2,480	0.87		
合計コスト +	219,042		222,137		245,875		232,225		0	
前年度比	-		101.4%		110.7%		94.4%		-	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	各種予防接種事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち		主な取組み	市民一人ひとりの健康づくりを支援	
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標			
			松本版総合戦略			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	各種予防接種事業

<事業の狙い>

事業計画年度

~

予防接種法に基づく定期予防接種の実施、及び任意予防接種への本市独自の助成制度をとおして、感染症の発生及びまん延の防止を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1	定期予防接種事業 予防接種法に基づき対象者個人に通知を送り、県内医療機関における個別接種を行う。(R1接種率99%) 里帰り出産等で県外で接種した際の償還払い制度(H28から開始)を推進する。 (R1実施数44件)
2	任意予防接種事業 任意予防接種(おたふくかぜ、B型肝炎)のワクチン接種費用の一部助成を行い、対象者のワクチン接種を促す。 (R1接種数 おたふく 1,654件) (R1接種数 B型肝炎 474件)
3	新型インフルエンザ等対策 松本市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、新型インフルエンザ発生時における市内の医療体制や予防接種体制の対策検討をした。 新型コロナウイルス感染症対策に取り組んだ。

子どもの定期予防接種率はほぼ横ばい状態で、現在感染症の蔓延はない。より多くの子どもたちがワクチン接種できるように、適切な時期に勧奨し接種率向上を目指す。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	子どもの定期予防接種率(定期全体)				
指標の設定理由	子どもの定期予防接種全体の実施率を把握することができるため				
目標値	100%	100%	100%	100%	100%
実績値	93.60%	96.46%	98.30%	99.06%	
達成度	93.6%	96.5%	98.3%	99.1%	0.0%
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	654,134		642,229		628,170		661,140		720,530	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	654,134		642,229		628,170		661,140		720,530	
人件費(千円)	26,031	人工	21,422	人工	24,458	人工	25,535	人工		人工
正規	18,764	2.44	13,966	1.84	17,290	2.29	18,610	2.42		
嘱託	7,268	2.55	7,456	2.58	7,169	2.43	6,926	2.43		
合計コスト +	680,165		663,651		652,628		686,675		720,530	
前年度比	-		97.6%		98.3%		105.2%		-	